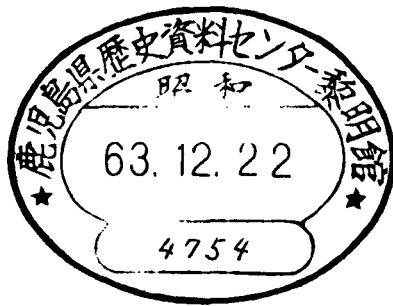


210
力 89
1

鹿児島県史料

鎌田正純
日記 一



題
字

鎌 鹿
田 兒
要 島
人 県
知
事

解 題

「鎌田正純日記」を鹿児島県史料として三巻に分けて刊行する。同日記は天保三年（一八三二）十二月朔日から、安政五年（一八五八）八月二十四日までの約二十六年間にわたるもので、正純十八才の終りから四十四才までのものである。今回刊行の第一巻は、そのうち天保三年から天保十年まで、すなわち正純十八才から二十五才までの青年期の分を収めた。それに正純の父正昌（あきら）までの「鎌田氏系図」を加えた。

底本としたのは東京大学史料編纂所本と、財団法人石川文化事業財団お茶ノ水図書館本及び石室秘稿本である。はじめ東大本を底本として刊行計画を進めていたが、それには別表にみるごとく、天保四年以下十年にわたり欠本のあることがわかった。ところがそのうち天保四年、十二年、十五年、嘉永二年、三年、四年、安政二年、三年の八年分は、前記お茶ノ水図書館に所蔵されていることが、また安政四年、五年分は「石室秘稿」に含まれていることがわかった。

鎌田正純日記底本分布一覧表

年 代	東大本	石川本	秘稿本	備 考	年 代	東大本	石川本	秘稿本	備 考
天保 三	○			二二・朔日より 二二・晦日まで	弘化 三	○			
同 四		○			同 四	○			
同 五	○				嘉永 一	○			
同 六	○				九・二八〜二二・二九は「東行日記」				

峰の収集品であることは明らかである。しかしこの日記がなぜ東大本（それは旧島津家編集所の分を譲り受けたものである）と両方に分散したのかはわからない。

両者の記述年代が両者合わせて完全に続くこと、また筆跡から見て、東大本・お茶ノ水図書館本は同一系統のものと思われる。そしてこれは旧島津家編集所で筆写したものではないかと考えられるが、他の写本にあるような、写本末尾に原本所蔵者や筆耕者の氏名年月日等を記した奥書がないことから、確認はできない。

「石室秘稿」は市来四郎の収集編纂した史料集である。市来は藩主島津斉彬時代オランダ技術などを学んで、集成館事業等に関係した人物で、若い頃から史料集収に志していたが、明治に入り島津久光のもとで史料収集に当たった。その自叙伝は「史談会速記録」第百二十四輯（明治三十六年）から第百四十輯（明治三十七年、ただし第百三十五輯は記載を欠く）に十七回にわたって分載されており、その全文がこの鹿児島県史料集の一つである「忠義公史料」第七巻に収載されているので、それを参照されたい。

「石室秘稿」については、速記録収載の自叙伝冒頭に掲げられた「付記」の中に

幸に市来氏は壮年以來一日も怠りなく日誌を記し、内外の事故悉くこれを類記し、石室秘稿と名付け、数百巻を貯ひらる。

とある。単なる日記でなく内外の事例について「類記」、すなわち関連事項を記載したもので、その中に多くの史料類があるわけで、「鎌田日記」もその一つである。

その後明治二十一年宮内大臣から島津家を初め、毛利家（長州）・山内家（土佐）・徳川家（幕府）の四家に、嘉永六年から明治四年に至る間の旧藩の事蹟を記録して提出せよとの命がでた。幕末維新史上の功業を賞揚しよ

うとの趣旨である。

そのため島津家では編集所を作って、組織的に史料の収集を行うようになり、市来四郎もその一員としてこれに従事することになったが、その際市来は自家収集の記録類もその史料の一にしようと考えたようである。今日「石室秘稿」に「島津家国事執筆史料」の印のあるものが多いことは、そのことを示している。

しかしそれはあくまで市来家の私的資料で、今日その現存部分が全て国立国会図書館憲政資料室の所蔵となっていて、東大史料編纂所の島津家史料とは全く無関係であることは、そのことを物語るものといえよう。

この「鎌田正純日記」にも「島津家国事執筆史料」の印が押してあるが、その収載は天保十年から安政五年までで、しかも全文がすべて忠実に筆写されているというわけでもない。「石室秘稿」の性格上当然であろう。

ところがどういふわけか幸いにも、東大本・お茶ノ水図書館本が共に欠いている安政四年・五年分については、全文が筆写されている。もちろん全文筆写と明記はないが、記載された月日に欠けた日が一日もないことから、全文と判断しても差し支えないのではなからうかと理解している。

そして安政五年分は、八月二十四日帰国のための正純の京都出発で終わっている。その前七月十六日藩主斉彬は鹿児島で急死するが、その報を得た正純は京都で発病、鹿児島に急送されたが、病勢はつりの遂に十二月八日不帰の客となった。したがってそれ以後の日記は書けなかったと思われる。すなわちこの八月二十四日までで鎌田日記は終わっていると考えてよさそうである。

ではその初めはどうか。天保三年十二月朔日から始まっているが、その前に

正月より記しおくれ候に付き、十二月朔日より二十九日まで記す

と一種の断り書きが記されていて、天保三年は明らかに十二月分だけしかなく、十二月朔日からつけ始めていることは明白である。

ではその前例えば天保二年、元年はないのかどうか。もちろん明確には判断できないが、天保三年について、一、二か月記しおこなっているというのならともかく、十一月もつけていないということは、この断り書きが単なるこの年の怠慢を断るといいうのではなく、この年から日記をつけ始めるが、十一月までの分はないものの、十二月朔日から記すという意味と理解してもよさそうである。すなわち十八才の十二月から日記をつけ始めたものという解釈も、必ずしも不当ではなからう。

もちろんそれ以前の少年時代の日記があれば、極めて貴重なものといえるが、藩政史上等からすればむしろ後年のものほど重要度がますので、若年時代のものが欠本であったとしても、ある意味ではそれほどの欠陥とはなるまい。しかしともかく今回三巻に分かって刊行する「鎌田正純日記」は、ほぼ全文を網羅していると考えて決して誤りはなからう。

以上底本に關してあらましを記したが、原本の行方は不明である。例えば「鎌田正純履歴」には、最後に記された「島津家臨時編輯所」と刷り込みのある様式の「台本出処、種別、数量」の欄に、「警視庁消防部長官舎緒方雄一郎氏方鎌田正夫未亡人所蔵原本巻冊」と記入されている。そしてその筆耕着手大正十年九月十六日、同完了同年九月二十一日、校正終了同年十月三日、検定終了大正十一年一月二十六日となっていて、大正十年ごろ正純の嫡子正夫の未亡人が履歴原本を所蔵していたことがわかる。「鎌田氏系図」も同様で、筆耕者や時期等が少し違うだけである。

とするとこのころまで日記の原本などが、正夫未亡人の手元に所蔵されていたことも考えられる。ともかく島津家編集所ではいつの時代か鎌田家から原本を借用して、筆写したと考えられるが、相当部分が蘇峰の手に渡っていることなどから、筆写の時期は大正時代より古いかわからない。いずれにしても現在原本の行方は明らかでない。

次に鎌田正純については「鎌田正純年譜」があるので、これによりその略歴を記しておく。もちろん日記を通読することによって、明らかにすることであるが、分割刊行であること、及び天保三年以前は全く不明であること等から、略歴をここでもまとめておくことが便利であろう。

鎌田氏は系図に示す通り藤原氏の出といい、直接の祖は藤原通清で、通清が初めて鎌田を称し、正純は通清より数えて三十代目の当主に当る。十九代政近は天正十九年家老になり、近世に入り二十二代政統は寛永十四年、二十三代正勝も明暦二年家老職を勤めた。しかも正勝は藩主島津家久の庶子で、鎌田家に養子入りし、正統の三女に妻会わされたものである。また二十四代正長も藩主光久の庶子というごとき名門である。

「薩摩銘鑑」によると、鎌田藏人（正純）は「高千百四十二石余、一所持格、持切肝付郡之内大始良之南村」とある。石高については「薩陽明鑑」その他で相違があるものの、他はほぼ同様である。家格一所持格で、当時肝属郡大始良郷南村を持切名として支配していたものである。日記の中に南村の支配関係がしばしば出てくる。

正純は文化十三年（一八一六）四月十五日正昌の嫡子として生まれた。母は桂太郎兵衛久郷の女で名は半という。桂家からは幕末の家老久武（実際は日置家島津久風の五男で桂家に入る）が出ており、久武の妻は正純の娘鼎である（安政二年十二月七日結婚）。

正純は幼名仙千代、のち藤四郎と称す。文政四年八月十二日父正昌が死去するが、時に正純七才、翌五年正月十五日家督を継ぎ、文政八年十才の時元服して藏人と改名した。十年御連衆となるが、同年島津家々伝の犬追物の稽古を、川上十郎左衛門について伝授をうけるように命じられた。

天保三年（十七才）正月詰衆となり、二月藤馬と改名する。この年十二月から日記が始まるわけである。

天保九年正月十一日当番頭に進み、翌年正月二十七日奏者番兼務、この兼務は十一年正月二十一日御免となるが、同十三年三月十三日再び兼務を命ぜられる。

その間天保九年十一月十二日祖父正峰が死去する。また天保十一年五月十九日娘が生まれ、母すなわち正純の妻を「島津織江久純女」（日記）とするが、その結婚は天保八年十二月十九日である。ところが正純はその前一度結婚歴がある。天保七年（二十一才）二月二十九日結婚しているが、日記文面によると、不本意な結婚であったらしい。それが同年三月二十日から四月十一日までの私領南村初巡視の後、留守中母親に対して不孝な行爲があったとして四月十八日離縁している。その先妻がどこからきているのかはわからない。

正純はその後天保十三年八月二十四日御小姓組番頭に役替え、奏者番兼務これまでの通りと命ぜられる。次いで天保十五年八月朔日刑部と改名、翌弘化二年十一月十五日には御用人となり、依然奏者番兼務を命ぜられる。

このころになると調所広郷の財政改革もいよいよ大詰めを迎え、軍制改革の段階に進むと、正純も弘化四年七月海岸防禦掛、御流儀大砲掛、さらに十月御軍役掛、十二月給地高取扱掛を命ぜられる。

次いで嘉永元年（一八四八）八月十七日図書と改名、同年九月江戸勤務のため鹿兒島を出発、十一月着府、嘉永三年九月七日御側御用人となり、さらに翌四年正月十一日大目付に進んだ。そして公辺他所向きは若年寄格、

表向き書付けなどは御家老名前をもって取扱うように命ぜられた。その直後二月にお由良騒動の結末もついで、斉彬が藩主に就任、四月国元に初入部を行ったが、正純は、九月帰国を命ぜられ、十九日江戸発十月二十日鹿児島に帰着した。

安政三年十月には再び江戸勤務を命ぜられて二十三日鹿児島をたち、十一月十九日江戸芝邸に着く。次いで十二月七日出雲と改名、同月二十日若年寄に進む。もちろん家老名前で諸事取扱い、月番も勤めるように命ぜられた。諸書に家老に進んだような記述があるが、若年寄が正純の役職としては最高位で、正式な家老就任はない。しかし早くから家老待遇であったので、そのような誤解が生じたものであろう。

そして安政五年八月帰国のため二十四日京都を出発するが、その日をもって日記本文が終る。そしてその年十月二月八日正純は鹿児島で死去する。

この安政五年は条約勅許及び將軍後継問題をめぐり国論が沸騰、混沌としていた江戸の形勢は、井伊直弼の大老就任によって急変するが、その動きを察した斉彬は鎌田正純に帰国を命じた。そこで正純は七月江戸を出発八月京都に入った。

その時近衛家では外夷の近海来航に備え、禁闕守衛の兵を出せとの朝意を僧月照を通じて正純に密示した。それに対して正純は次のような請書を提出した。

方今内憂外患至而不容易御時節柄ニ付、極密之事件蒙尊命、誠ニ以て武門之冥加難有仕合、感佩奉畏候、万
一非常之儀到来之節は

朝廷御警衛向は勿論、殊更於尊殿も別段之御由緒柄ニ付、御為筋之儀必死ニ奉尽精忠度格護ニ御座候間、内

外嫌疑無之猶平常勤弁を加へ、早々穩便ニ手当仕、御配慮不被為在御威光相立候様、三位殿（齊興）へも遂披露、聊以無手技処置可仕、不取敢此段乍恐御請奉申上候、以上

八月二十日

鎌田正純（「履歴」）

このように京都で種々画策していた折、正純は斉彬急死の報に接し、

喪心遂ニ病ヲ発ス、仍テ夜間大阪留守居平田伊平衛ト云ヘル藩吏ヲ伏見ノ旅宿ニ呼ビ、近衛家ノ密命ヲ伝へ後日ノ措置ヲ托シ、急装シテ国ニ歸ル、病日々重リ再ビ事ヲ見ル能ハズ、屬吏市来正之丞ヲシテ国老新納駿河ニ京都ノ密命ヲ伝ヘシム、駿河荏苒果サズ

（「履歴」）

新納駿河とは本史料で前回刊行した「新納久仰雑譜」の筆者その人である。こうして正純は十二月八日遂に鹿兒島に死去した。

前述の如く今回刊行分は正純青年時代で、その役職もほとんど詰衆時代で、天保九年に当番頭、翌年奏者番兼務となることで、藩政上の重要記事を見ることはできない。

特に当時調所広郷の財政改革進行の真最中であつたが、今回刊行分にはそれに関する記事は余りでてこないものの、多少関連のあるものが幾つかある。ただ調所の名前がでてくるのは、天保六年一月一日の年始挨拶に行つた時と、同十年六月一日に、昨日調所が帰着したので祝儀に寄つたという二回だけである。年始挨拶はともかく、帰国祝儀など余りないのに天保十年それがあるのは、調所が天保九年家老に就任してから、はじめての帰国だったせいかもしれない。

また天保十年（亥）十月十一日の条に、重出米等減免のことが出てくる。それによると去る成年（天保九年）重出米三升のほか二升の重みを申渡されていたが、諸人困窮の折二升重みを免除、また来る子年（天保十一年）から人別並に牛馬に至るまで、一匁出銀を命ぜられていたのも免除したとある。調所改革と関連のあるものといえるが、海老原宗之丞がこれらの免除を天保四、五年かとしているのと、どう関連するのか謎である。

梅雨時における洪水記事も毎年というぐらいいしばしば出てくる。鎌田家は「新上橋ノ向」（「薩陽武鑑」）にあり、例えば天保四年五月九日は終日大水が出て、屋敷内は水の出ないところはなかったという。その翌十日の帰りには新上橋を舟で渡ったといい、新上橋・西田橋・武之橋は流失したとある。後年調所が肥後の石工岩永三五郎を招いて、これらの橋を石橋に架け替える前段階の状況を教えてくれる。

天保五年五月二十六日の左近死去の記事や、九月十九日の「寅年御貸上金」の記事等も、調所改革と関連がある。左近は重豪の子で、江戸経費節減をねらう調所は、天保四年重豪の死後、嫌がる左近を説得して強引に帰国させたものである。

同年九月十九日の「去寅年御貸上金」は天保元年斉興の参勤費用の調達について、領民に差上金を命じたことを指す。たまたま調所の財政改革発足間もないころで、鹿児島への下国費用は出雲屋孫兵衛の出銀で賄ったものの、参勤費用の目当てがつかなかったのである。鎌田家の支配地南村の家来たちも差上金を行ったらしく、この天保五年その賞詞を受けたものである。

また同五年十二月柏家の能見物人の中の「西郷吉兵衛殿、同嫡子殿」は、西郷南洲一家とは無関係と思われる。当時南洲は八才、父の名は九郎で吉兵衛への改名は十六年後の嘉永二年であり、祖父竜右衛門は吉兵衛を称した

ことはないはずである。しかしもし竜右衛門が吉兵衛を称したことがあるとすると、どうかかわからない。

天保八年三月十一日大阪町与力大塩平八郎の乱のニュースをキャッチ、「珍敷事故設置者也」とし、四月十四日には「昨日申来候由承候也」として、大塩自害のニュースを記している。正しくジョッキングなニュースであったらう。

同年七月十一日には「佐多江異国舟相見得候由」と、モリソン号来航のニュースを掲げ十六日「異国舟は此方より鉄砲打掛ニ相成候処立退候由」と、同船退去のことを記している。これらは変化の少ない薩摩武士の日常を刺激する大ニュースであったらう。

その後平穏な日記が続くが、やはり洪水はかれらの生活を掻き乱す大事件であった。天保九年も閏四月十七日は昼一寸ばかりという床下浸水があり、隠居屋敷は畳の上まで浸水したという。この年になるといよいよ調所も甲突川改修計画を具体化するのである。

天保十年には前記の重出米二升減免等のほか、八月十九日の秩父事件関係者赦免の記事が目をひく。秩父事件とは文化五年（一八〇八）隠居島津重豪の怒りにふれた家老樺山主税・秩父太郎らが処分された事件で、近思録崩れなどともいう。その関係者の赦免がこの天保十年に行われたもので、鎌田は同日堀四郎左衛門の名代として慎重赦免の申渡しを受けたのである。鎌田の記すところによると、この時秩父事件の関係者合計百人余りが赦免されたという。事件後三十二年目、重豪の死から六年目のことである。

鎌田正純日記の中の最初の七年余の中から、以上幾つかの注目を引く記事を列記した。しかしこのほか今回刊行分で最も注目すべきことは、毎日毎日の変化のない記述の中に出てくる、青年武士鎌田のたゆみない文武修業

の姿である。恐らく当時の青年教育を知る上に、これほど克明貴重な史料はなからうと思われる。

まずその記述は毎日毎日誠に几帳面である。その日の天候や、起床・就寝の時刻、また出勤・退庁の時刻（ほぼ四つ時・午前十時から八つ時・午後二時まで）、それに出勤その他外出時の供連れの名前、さらに来訪者の名前等々が毎日克明に記される。そして例えばある日の来訪者名の記入洩れがあったりすると、後日の条に「記しおくれ候」として追加記入しておく。

そして最後の就寝時刻を記す前に、その日の文武修業の状況を記す。例えば

今日中近思録素読二十四五枚、同便蒙一説（節）、学部通弁七枚位、続太平記六七枚、

右之通相学候、宅ニ而剣術七八篇、立木百篇内外致稽古候（天保九年四月二十二日）

の如くである。「右之通相学候」「致稽古候」とその日どういう本を読んだか、どういう武術の稽古をしたかを記している。

しかしこれは自分一人での学習稽古で、これ以外に式日・式夜を定めてグループで会読をしたり、講義を聞くなどのこともよく行っている。例えば天保九年の最初には、式日・式夜の一覧表が掲げられている。

そこで青年時代正純が式日・式夜または個人での自宅学習を問わず、この七年間に読んだ書名のうち、気付いたものを列挙すると次のようになる。

大学、中庸、論語、論語大全、孟子、易经、書経、春秋、礼記、小学、史記、唐鑑、孫子、孫子国字解、近思録、近思録説略、近思録便蒙、太極図解、太極図解聞書、五常五倫名義、伝習録、唐詩選、玄宗軍談、宋元軍談、通書、道体気記、新学異見、天狗芸術論、鬼神論、畸人伝、学部通弁、十二朝軍談、心経附註、文武弁論、

延平答問、拘幽操附録、伊勢貞昌教訓書、靖猷遺言、集義外書、集義和書、保健大記、続太平記、梧窓漫筆、桂園一枝、詩俳書、古今集解、新古今集、後撰集、大岡政要、西山遺事、西行草紙、新斎夜語（双紙）、銀台遺事、義経勲功記（絵入）、中山大納言関東下向之記、勸農固本録、大脇自栄覚書、見聞雜書、敵打宇都宮金清水、出雲松江城主仰出し、日光れんたんの枕草子、曾我物語、関ヶ原古闘録、義臣伝

このほかに洩れたものがある可能性もあり、また鎌田は当て字をよく使うので、書名の間違ったものもあるかもしれない。しかし和漢の書を真面目に学ぶ薩摩の青年武士の実態を知ることができる。これは武術の面でも同じである。

またいろいろ当て字を使っているので気付いたものを列記してみる。

騒動―走働、葬式―喪敷、儀式―儀敷、風聞―風分、諸所―諸々、史記―支記、楮―梶、玄関―玄館・玄喚、留守―留主、泊る―留る、香典（奠）―香点、精進―精身、余計―余慶、

また鹿児島方言もいくつか見られる。例えば雨が降るの「降る」を「あゆる」と書くが如きである。

（芳 即正）

例言

一本書は、東京大学史料編纂所蔵本「鎌田氏系図」・「鎌田正純日記」（天保三、同五、十年）、お茶の水図書館（石川文化事業財団）所蔵本「鎌田正純日記」（天保四年）を底本とし、これを「鹿児島県史料鎌田正純日記一」として刊行するものである。

一「鎌田氏系図」については、東京大学史料編纂所編「読史備要」で修正または補充した。その場合、修正字句および補充部分に●の記号を付した。

一地名と人名については底本のままとし、それ以外の漢字については、原則として常用漢字を使用した。

一仮名は、底本の体裁のとおりとした。変体仮名は普通の仮名に改めたが、江・茂・而はそのまま用いた。

一平出・擡頭・鬨字および但書は、原則として底本の体裁によった。

一原編者による傍注および注記は、原則として底本の体裁によった。新に注を付す場合は（ ）を付して原編者注と区別した。

一人名および地名については、適宜傍注を付した。

一本文には適宜読点「、」および並列点「・」を付した。

一欠所部は原則として底本のままとし、虫喰のある箇所は、（虫喰）と傍注を付した。

一文意の通じない字または箇所には、（マ、）または（衍カ）・（○○カ）と傍注を付した。

一ルビは底本にあるもののみ適宜付す。

鎌田正純日記一 目次

解 題
例 言
目 次

鎌田氏系図 全……………	一
天保三年壬辰十二月より……………	三三
天保四年癸巳正月より……………	三八
天保五年甲午正月より……………	一〇五
天保六年乙未正月元旦より……………	一九二
天保七年丙申正月より……………	三三四
天保八年丁酉正月より……………	四三八
天保九年戊戌正月改……………	五四四
天保十年己亥正月より……………	六九七

目 次

〔表紙〕

鎌田氏系図 全

藤原姓

鎌田氏系図

○ 大織冠鎌足

○ 推古天皇廿二年甲戌於_ニ常陸国鹿島郡_ニ誕生_ト

云云、母_ハ大伴比子_卿、女、

○ 正二位内大臣、初_ハ鎌子、

○ 不比等

大納言右大臣從二位、

○ 白雉四年癸丑誕生、母_ハ車持国子君_ノ女、
(齊明天皇五年己未)

○ 養老二年戊午任_ニ太政大臣固辭_{シテ}不_レ受、

●南家藤原氏
武智麿

○ 任_ニ太政大臣_ニ賜_フ正一位左大臣_ヲ在_カ南_ニ故_ニ世

人号_ニ南家_ト、

○ 天智天皇九年庚辰誕生、母_ハ大紫冠蘇我武羅_武

自古大臣_ノ之女、

○ 天平九年丁丑七月廿七日薨御、五十八歳、

●北家藤原氏
○ 房前

中將、大將、參議、中務卿、從二位、

○ 在_レ北_ニ故_ニ世人当流号_ニ北家_ト、

○ 白鳳十一年壬午誕生、母_ハ右大臣大紫冠蘇_我

我武羅自古_ノ女、娼子、

○ 天平九年丁丑四月十七日薨御、五十六歳、
(七カ)

○同年閏七月七日贈_二左大臣正一位、

鳥養

從五位下

○母、從五位下春織首老、女、

永手

式部卿、中納言、左大臣、從一位、

号_二長岡大臣_一、

○和銅七年甲寅誕生、

○宝龜二年辛亥二月廿二日薨_ス、五十八歳、

贈_二大政大臣_一、

眞楯

正二位、大納言、中務卿、氏長者、

○天平神護二年丙午六月十二日薨_ス、贈_二大政大

臣正一位、

清河

民部卿、遣唐使、参議、正三位、

○魚名

左大臣、正二位、大政大臣、

○養老六年壬戌誕生、母、清河、女、

○延暦二年癸亥七月廿五日薨_ス、六十二歳、

御楯

参議、從三位、伊賀・近江按察使、中納

言、号_二八束_一、母、永手、同、

遂竈

三直

阿波守、從五位下、

近野

宮内大輔、從五位下、

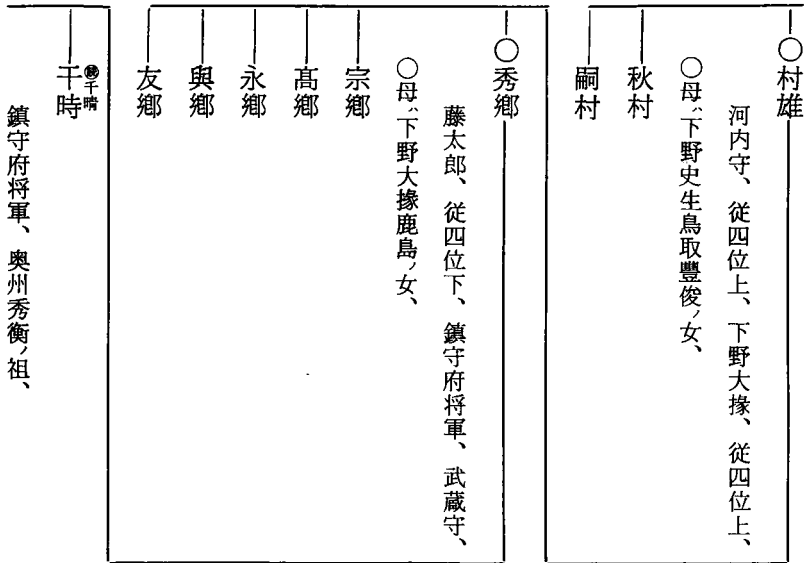
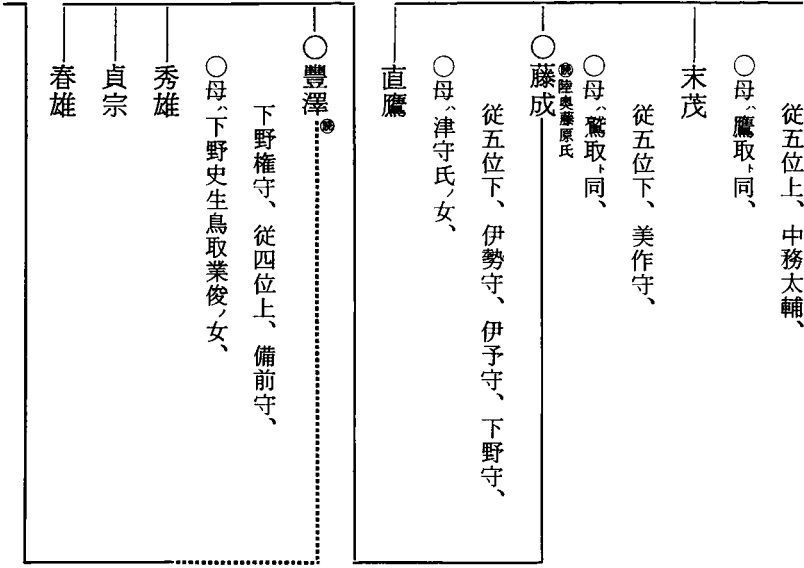
鷹取

正四位下、左京太夫、

○母、式部卿宇合卿、女、

鷲取

○安達



○干常●干

左衛門尉、從五位下、鎮守府將軍、

○母、侍從源通定、女、

○父秀郷討平將門、干、時以白羽、上箭、

射之、仍稱當家、佳例相傳、射礼、

○公備●文飾

内舍人、從五位下、鎮守府將軍、

○射礼相傳、

○文行

左衛門尉、從五位下、

○母、鎮守府將軍利仁、女、

兼光

左馬允、從五位下、鎮守府將軍、陸奥守、

○母、文行、同、

○公光

左兵衛尉、從五位下、相模守、

○母、兵衛介定文、女、

備行●備

号近藤左衛門、

出家

權律師行禪、

○公清

号佐藤、太夫判官、左衛門尉、

○射礼相傳、

經範

号波多野、左馬助、兵庫頭、從五位

下、

○母、佐伯氏、女、

公季

木工助、伊賀守、

○母、石見守大江良貞、女、

季清

左衛門尉、從五位下、

○射礼相伝、

○助清

号ハ首藤ト、主馬首、

○参河国ノ主人公光ノ継子也、依レテ之ニ改メ姓ヲ藤

原ト、本姓ハ守部氏、仍シ号ニ守藤ト、後任ニ首

馬首ト、又号ニ主藤ト或ハ首藤、旗幕ノ紋丸内用

フニ文字ヲ、

公隆

号ニ佐藤ト、

公郷

号ニ後藤ト、從五位上、尾張守、

公澄

号ニ尾藤ト、帶刀太夫、左衛門尉、

○助道

首藤、右馬權頭、

○源ノ賴義朝臣近習ノ之士、七騎ノ内其ノ一人也、

○奥州ノ住人安陪貞任・宗任、藤氏經清為朝

敵ト、伊予守源賴義蒙レ勅ヲ為三元帥ト、率ニテ数

万ノ之軍衆ヲ發ニ向ス奥州ニ、構ニ陣營ヲ平康五年

壬寅十一月廿九日敵軍敗走シテ、而斬ニ獲ス貞

任・宗任カ之首ヲ矣、同十二月十七日誅ニ經

清ヲ、其外獲コト敵ノ首ヲ殆ント一万五千余級也、

則リ其ノ一耳ヲ、而建ニ立ス於一堂及ヒ仏閣寺院

ヲ、耳納堂也、且復此戰祈ニ冥慮ヲ於男山八幡

ニ、而奉レ勸ニ請シ相州由井ノ郷ニ也、助道在ニテ戰

場ニ而抽ニ軍忠ヲ、為ニシテ其ノ勲功ノ賞ト賜フ尾張國

鳴海瀉三十三郷ニ也、

助房

下野州那須氏ノ先祖、

親清

首藤太郎左衛門、

○山内瀧口等ノ之祖、

元祖

○通清

○通清初テ号ス鎌田ト、權守、

○随テ 為義主ニ而臨テ諸所ノ戰場ニ勞ニ軍務ヲ、迨

ニ著年ニ致仕シテ而養テ老ヲ於武陽ノ之采地ニ、保

元元年丙子七月為義主会ニメ凡誅一ヲルニ、且復

聞テ於義朝主嫡男正清ノ之大変ヲ、而不レ忍レ待

ニ病卒スルヲ而同年三月自殺シ畢、後ニ崇テ通清

同正清ニ而号ニ鎌田明神ト、

定義

号ニ瀧口ト、右馬允、

二代

○正清

鎌田二郎左兵衛尉、改ニ政治家ト

○保安四年癸卯誕生、

○平治元年己卯義朝依テ軍忠ニ任テ左兵衛尉、

於レ茲ニ改テ正清ヲ称ス政治家ト矣、

○同月廿七日信賴義朝向テ六波羅ニ、挑テ闘テ

之際ニシテ忽テ義朝ノ之軍敗レテ而到ニ于尾州野間

之内海ニ、入テ于長田莊司忠致カ正清ノ之宅ニ而

越レテ年ヲ矣、平治二年庚辰正月二日義朝年三十八

為ニ忠致ニ所レレ弑シテ、政治家雖トモ力戰數回ト終ニ

被レ戮セテ年三十八也、号ニ常樂寺ト、

盛政

号ニ鎌田藤太ト、

○当ニ平家追討ノ之時ニ、隨テ 義經主ニ臨ニ諸所

ノ戰場ニ遂ニ軍務ヲ者不レ可ニ勝テ言ニ、于レ時元

曆元年甲辰二月七日於テ摂州一谷ニ遂ニ戰死

ト、

光政

初ハ政種、藤ニ、藏人太夫、

三代
○光政

号ニ鎌田藤二、藏人太夫、

○兄正清会ニ不意ノ之誅戮ニ矣、故ニ其ノ幼子或ハ為レ母ノ所レ害或ハ出家ニシテ而無ニ継子ニ、因レテ茲ニ為レ正清之後嗣ト連ニ続メ当家ヲ、

○保元平治兵乱ノ之際候ニシテ、内裏ニ奉ル警衛ニシテ、称シテ其勳賞ヲ拜ニ領メ於武藏国入間郡之内新地三千貫、地ヲ也、且後賜ニ干豊前菊地之荘ニ千五百貫ノ地ヲ也、

○源平合戦之時、随テ義經主ニ而勞ニスル軍務ヲ者也、

○文治元年乙巳二月廿日戦ニ死ス於讚州八島ニ也、

女子

母ハ長田莊司忠致女、

○建久五年甲寅十月廿五日 頼朝公賜ニ尾州

志濃幾莊、丹波国田名部莊并、兩莊ヲ矣、

正親

鎌田三郎、

○久安五年己巳誕生、母ハ同前、

○居ニ筑前州安楽寺ニ者有レ年矣、(嘉應)元年己丑遂ニ出家ヲ号ニ聖文房、在ニ京師ニ、

四代
○政佐

初ハ清重、鎌田小藤二、修理亮、

○源平合戦之際從テ頼朝卿ニ勞ニスル軍務ニ者也、

○伝ハ称ス (島津忠久) 忠久公拜ニ領シテ三州ヲ、而下国ノ之時

政佐在ニ供奉ノ之列ニ、故ニ文治二年丙午八月一日下ニ著ス薩摩国山門院ニ也、然シテ後賜ニ水田百三十五町ヲ為ニ食邑ヲ、

○文曆三年甲午八月四日卒ス、年七十三、法号

智佛、

政重

初ハ清忠、正國、鎌田藤三、加賀守彈正、

左衛門尉、

○頼朝公以薩隅日三州界於（島津忠久）忠久公、因

茲使難波氏・長野氏・石塚氏・福崎氏

三州之御家人等為平均謀、于時政重逐

而往薩摩州増勢、可同心之旨、蒙仰

而下著薩摩國、而五子相謀為一統、以

赴于關東告其言、故文治二年丙午八月

一日 忠久公入國、為供奉下著薩摩國

一、

女子

五代
○政影

兵部少輔、尾張守、刑部太輔、

○建長元年己酉卒、享年六十三、法号道了、

清時

藤二郎、号篠原、

六代
○清通

民部佐、左馬頭、

○弘安三年庚辰三月廿日卒、法号道全、

正盛

初、清盛、二郎兵衛尉、

清綱

号小森、三郎左衛門尉、

女子

清次

号字都、三郎右衛門尉、

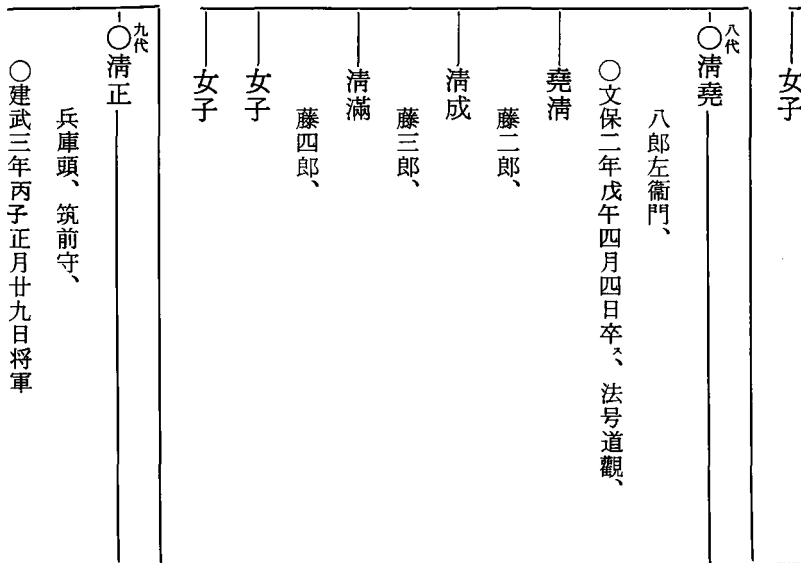
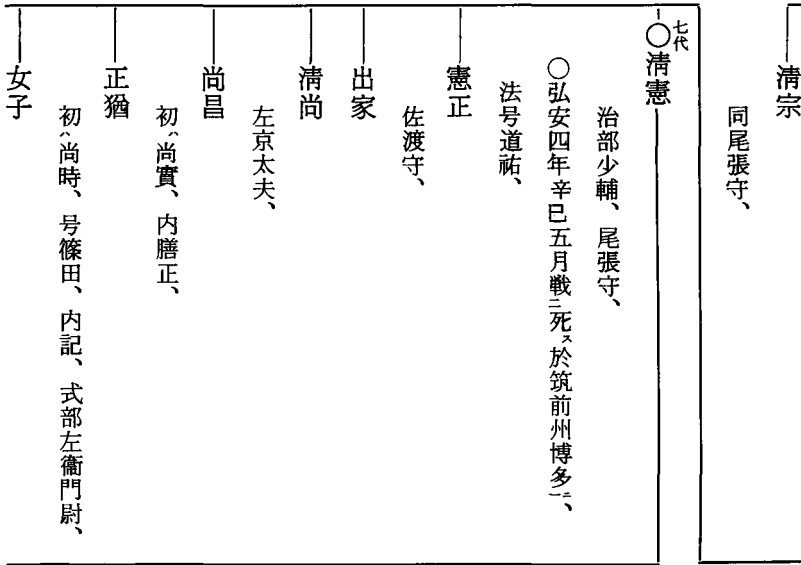
女子

女子

清家

初、清乘、藤左衛門尉、

女子



尊氏公与ニ新田義貞一會ニ戰ス洛陽一、尊氏公
戰不レテ利アラ而退去ス、九州肥後領主菊池掃
部助武俊率ニ大軍ヲ来テ、大ニ戰ス、尊氏公一
于レ時、貞久公(島津貞久)屬ニシテ、尊氏公ノ麾下ニ、軍勞
積甚也、清正父子從ニテ、貞久公ニ力戰シテ而死
ス、法号雲山守龍、

正秋

武藏守、

正幸

宮内少輔、

女子

出家

十代
○清春

右京大夫、右衛門大夫、

○建武三年丙子正月廿九日從ニ、(島津貞久) 太守貞久公、
之大旆ニ、戰ニ死ス於筑前州多々羅濱ニ、法号

芳有号ニ無庵ト、

女子

清昌

彌二郎、刑部少輔、

十一代
○春政

三郎左衛門尉、

○父祖戰ニ死ス於筑前州多々羅濱ニ矣、因レ茲ニ

賞ニテ忠死ニ而賜ニ時吉之莊・長野之莊五百貫、

之地ヲ、

○応永十九年壬辰十月廿五日卒ス、法号玉翁樂

金居士、

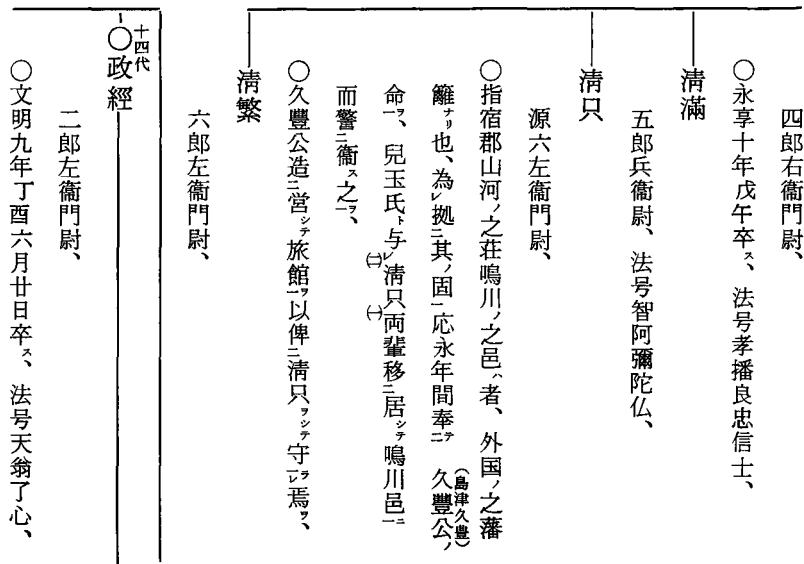
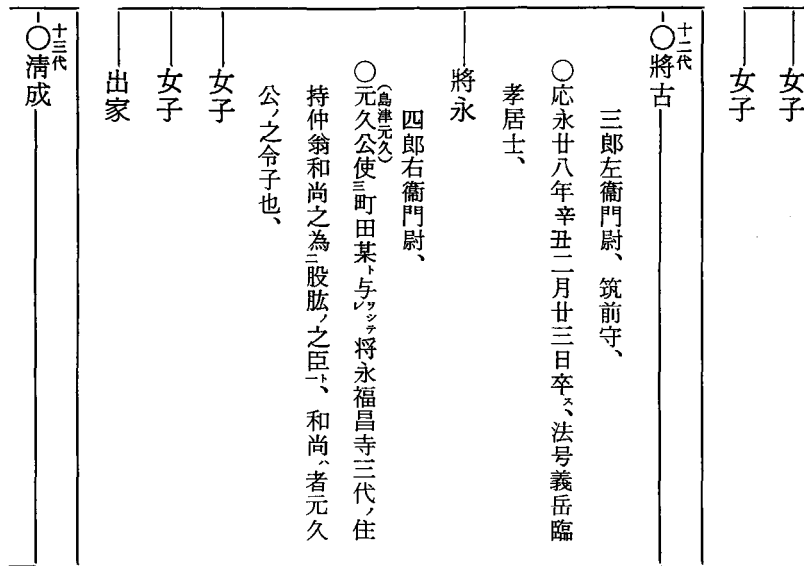
清長

藤次、

出家

女子

女子



政宗

豊前守、

政成

沓岐守、

政時

小監物、

女子

十五代
○政年

尾張守、

○太守忠國(島津忠國)公三男式部太輔久逸（者、伊作氏六代ノ之孫教久ノ一男犬安丸早世、由レ是ニ為ニ養子ト移ニ居スル）伊作（之）之城（ニ）之時、政年為ニ久逸公（ノ）之家老ト、

○文明十七年乙巳六月廿五日、於テ日州櫛間牟田迫ニ合戦之時、久逸公向シトス危急ニ、于レ時

政年名ニ謁テ伊作久逸ト而戦死シ畢マ、

政末

但馬守、次郎右衛門尉、

文龜二年壬戌四月四日卒ス、享年七十、法

号賀屋良慶居士、

政榮

又七郎、出雲守、

○長祿三年己卯誕生、

○新納近江守忠續居ニ住シ日州飢肥ニ、伊作式部太輔久逸公居ニ住ス同州櫛間ニ、雖

レトモ為ニ親類ニ不和ニシテ而有レ障者有レ年矣、

于レ時久逸ト与ニ伊東祐國・北原氏長門

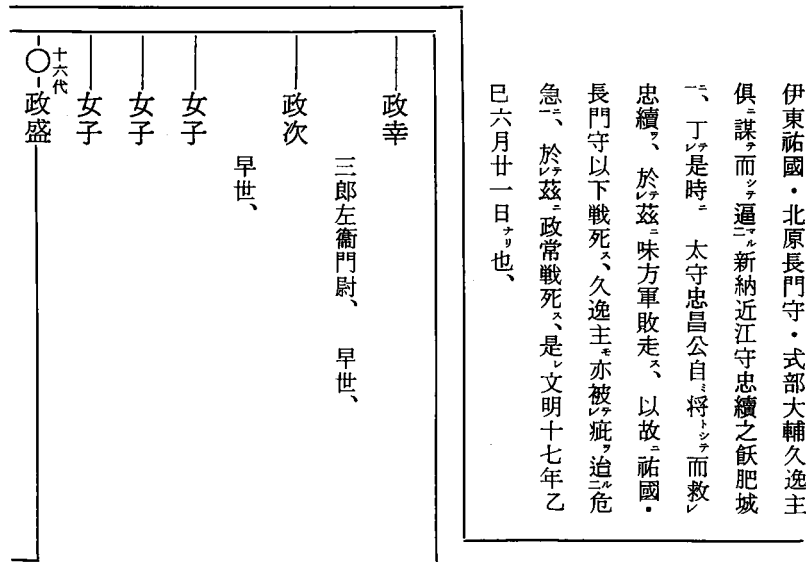
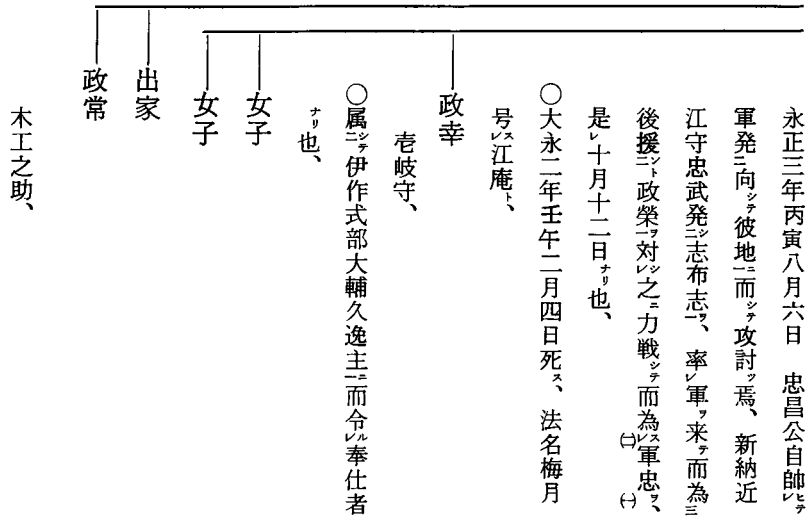
守ニ俱謀而遁ニ飢肥之城ニ、太守忠昌(島津忠昌)公欲

レシ治ニ伐ニシテ之ヲ、文明十七年乙巳六月十

二日発ニ於魔島ヲ、同十七日著ニ陣シ飢肥

ニ、同廿一日戦ヒ己ニ敵ニ政榮勞ニ軍務ニ也

○肝付氏敵ニスル 太守一者有レ年矣、因レ茲ニ



大外記、筑前守、

○亡父政年於日州櫛間一代、式部太輔久逸主之命ニ、而シテ遂レ戦死ヲ矣、感シテ其ノ忠死ヲ賜シ伊作莊永谷名ニ也、

○大永七年丁亥六月十一日島津八郎左衛門

尉實久胥ニ謀テ (島津勝久) 勝久公ニ欲レ奉レト侵シ 又

三郎貴久公ヲ、由レ是ニ候深更ヲ出レ華第ヲ微

服潜行シテ而 赴ニ田布施ニ矣、于レ時為レス供

奉ヲ者、七人山田伊予守・木脇大炊助祐兄

・川越民部左衛門尉重實・長井善左衛門

尉・鎌田筑前守政盛・伊尻九郎二郎祐宗

・其母宇多氏園田清左衛門尉扈從ヲリ也、

經ニ山谷ノ通路ヲ往レテ伊作(島津勝久) 謁ニ 勝久公ニ、而

シテ 後ニ到ニ田布施ニ者ヲ也、

僧

政繁

丹波守、

女子

筑前守政心室、

政朗

源太左衛門尉、

十七代
○政心

外記、筑前守、

○被レ補ニ日州財部地頭職ニ、

○政心從レ少壮攻城野戦ノ之功幾多ナリ也、終

ニ天正十四年丙戌七月陷ニイハル 筑紫上野介広

門城ニ之時戦死シ畢ニス、

出家

政秀

藏人進、

政郷

又七郎、勘解由、左衛門尉、凶書助、

<p>出雲守、</p> <p>○長享二年戊申誕生、</p> <p>○永正十一年甲戌九月廿二日、 <small>(島津忠治)</small> 太守忠治公張<small>ニ</small>行<small>ス</small>於犬追物、政郷在<small>ニ</small>射手 之列、</p> <p>○天文十六年丁未九月廿日卒<small>ス</small>、法名龍庵 洞雲居士、</p> <p>女子</p> <p>僧</p> <p>女子</p>	<p>政勝</p> <p>又七郎、図書頭、号齋清鏡、</p> <p>○永正十年癸酉誕生、</p> <p>○被<small>レ</small>補<small>ニ</small>新城地頭職、</p> <p>○天文九年庚子十一月廿二日同廿三日 太 <small>(島津貴久)</small> 守貴久公張<small>ニ</small>行<small>ス</small>犬追物、政勝在<small>ニ</small>射手、</p>
--	---

<p>之列、初日又七郎翌朝任<small>ス</small>図書頭、于 時廿八歳<small>ナリ</small>也、</p> <p>○政勝一世雖<small>レ</small>多<small>シ</small>雄略武功<small>ニ</small>不<small>レ</small>伝記<small>セ</small>惜<small>ヒ</small> 乎、</p> <p>○天正十三年乙酉十一月十五日卒<small>ス</small>、法名 笑翁淨山居士、</p> <p>政續</p> <p>掃部助、</p> <p>○大永五年乙酉誕生、</p> <p>○天正十二年甲申八月五日卒<small>ス</small>、法名智學 宗才居士、</p> <p>政朝</p> <p>久右衛門尉、</p>	<p>女子</p> <p>伊地知伯耆守平重秀室、</p> <p>○天文六年丁酉誕生、</p>
---	--

○寛永八年辛未六月十八日卒、享年九十五、
法名華岳妙守大姉、

女子

本田治部左衛門尉親次室、

○天文十年辛丑誕生、

^{十八代}
○政良

次郎五郎、

○天正元年癸酉誕生、

○依レ無ニ政心後嗣一為レ猶子ト、実ハ刑部左衛門

尉政廣二男也、

○政良罹レ病痾ニ不能レ奉仕スルコト矣、以ノ故ニ讓

ニ与家督、与レ系図於政近ニ、

○慶長四年己亥於ニ隅州吉松ニ卒、法名松宕玄

椿居士、

○子孫支流ノ系図ニ載レヌマ、

出家

母ハ鎌田丹波守政繁女、

女子

母同前、

^{十九代}
○政近

又七郎、図書助、出雲守、

○天文十四年乙巳六月廿六日誕生、

○政近自ニ幼年一ニ至テ耆老ニ内勞ニ政事ニ、外苦

シム軍務ニ、就レ中 太守義久公攻ニ討テ於肥・

筑・豊前後ノ之六州ヲ、且ツ朝鮮国征伐ニモ亦

供奉シテ而シテ軍務幾多也、

○転ニ補メ向島・新城・志布志・都於郡・野尻

・田布施・指宿等ノ地頭職ニ、転補ノ之年月不

レ詳ナリ故ニ併ニ記ス之ヲ、

○天正十九年辛卯ノ春被レ補メ御家老職ニ、

○次郎五郎政良病身也、故ニ得テ政良ノ之讓ニ而

為レ家ノ之統ト、

○慶長三年戊戌 ^(島津家久) 家久公加ニ賜テ於新恩ノ地ニ

千石^三、

○慶長六年辛丑ノ之春政近奉^ニ太守之使節^ヲ

赴^テ伏見^ニ矣、是^レ濃州關原役後御当家危急存

亡ノ之秋也、政近預^テ此撰^ニ而シテ勤^ニ此^ノ使節^ヲ、

誠^ニ不^ニ大義^ヲ哉、此^ノ時(島津義弘)義弘^ノ之素志政

近奉^レ之^ヲ而シテ憑^ニテ於本多佐渡守正信・井伊

兵部少輔直政、及^ヒ山口勘兵衛尉直友^ヲ而明^ニ

弁^ス之^ヲ、三人許諾^シテ而シテ達^ス、

内府公^ヲ台聽^ニ内府公召^ニ政近^ヲ、聞^キ玉^ヒ於義弘

公^ノ之素志^ヲ、忝^ク賜^テ政近^ニ於備前祐光^ノ之脇

刀^ヲ而退出^ス、且復正信・直友書^ニテ誓書^ヲ

而^シテ附^ニ与^ス旅庵^ニ、俱^ニ受^レテ之^ヲ而下^ル薩摩^ニ、

猷^ニ龍伯[・]忠恒^兩君^ニ令^レム属^セニ^テ國家^ヲ於泰山^ノ、

之安^キニ、其^ノ功不^レ違^ニ三枚拳^ニ在^ニ三世人之口

碑^ニ矣、

○慶長七年壬寅 龍伯尊君將^ニ赴^リト京師^ニ逆臣

伊集院源二郎^ノ之党再^ヒ起^ル國中^ニ、以故^ニ未^レ

決^ニ上洛^ヲ矣、伊集院下野守久治入道抱節、

比志島紀伊守國貞、喜入大炊助久正、伊勢

兵部少輔貞昌及^ヒ政近共^ニ五輩、議^リ之慮^レ焉、

龍伯公^ノ者老病大^ニ漸^シ、故^ニ忠恒公決^ス上

洛^ヲ、政近供^ニ奉^シテ 忠恒公^ヲ而赴^テ洛^ニ此行^ヲ、

之事出^ニ於五子^ノ之肺腑^ニ、

○其^ノ後供奉^シテ而在^ニノ伏見^ニ之際^ニ罹^ルニ病痾^ニ、祈

禱不^レ驗而シテ慶長十年乙巳九月朔日卒^ス、年

六十一、法名明義玄朗法印、葬^テ于泉涌寺^ニ

以^テ建^ニ立^シ石塔^ヲ畢^ル、

○隅州始良莊(南村)西侯郷者政近之食邑也、造^ニ

營^シテ妙智山玄朗寺^ヲ安^ニ置^テ父祖代々之位牌

及政近之牌^ヲ矣、

○分^レ遺骨^ヲ而建^ニ立^シ石塔^ヲ於福昌禪寺西之山中

一也、

○政近^ノ者當^テ太守公撥^レハ^テ乱^ヲ敷^キ玉^ヲ治^ル之

日^ニ而^シテ勞^ニ苦^スルコト内外^ニ記^ス別冊^ニ故^ニ略^ス于

茲二矣、

二十代
○政虎

又七郎、左京亮、

○永祿六年癸亥誕生、母、稻富丹後守長秀女、

○肥後州花山壘へ者先レ是、天正十一年癸未十

月廿八日、以テ、太守義久公ノ命ニ新築之ヲ

俾下木脇刑部左衛門祐昌ヲ補シ地頭職ニ守レ

焉、同十三年乙酉八月政虎有下往レ彼地ニ増シ

其勢ヲ与レ祐昌俱ニ可レ為レ警衛之、高命上、政

虎已ニ発シ於日州都於郡時父政近都於郡地頭也、同十日之

晩景到ニ乎花山城外ニ宿ニ于村舎ニ矣、有リ甲斐

民部入道宗運次子相模守ト云モノ、今夜催ニ阿蘇

領八千町之士卒ヲ来テ囲ニ攻メ花山ヲ、政虎破テ

囲ヲ入レ城裏ニ防禦ス、然レトモ而衆寡不レ偶レ也、

以テ故ヲ不レ得レ長ク支コトヲ与レ祐昌以下三十余

人俱ニ遂ニ戰死ヲ畢、年廿三、法名蘭室隆香

居士、此時与力鎌田與兵衛尉正由家臣石見本

角野藤兵衛尉・重久甚介、亦同ノ力戰シテ死ス也、

○為ニ政虎冥福ノ草ニ創シテ一寺ヲ於西俣ニ号シ隆香

寺ト、而シテ安置ス隆香居士之位牌ト、

廿一代
○政富

甚五郎、藏人頭、

○永祿十年丁卯十一月誕生、

○慶長二年丁酉正月六日首ニ途於谷山之宅地

ニ而渡リ朝鮮国ニ勞レル軍務ニ者ナリ也、

○慶長三年戊戌十一月十五日約ニ定メ帰陣之日

ニ矣、爰ニ小西撰津守行長以下ノ五将守ニ全羅

道順天城ヲ、大明朝鮮懸燿数百艘来リ于順

天ノ近辺ニ、密ニ邀ニ海上五将ヲ不レ得レ遁レ去ト

ヲ、義弘公問ニテ五家之安否ヲ、政富ト与ニ數

根藤左衛門尉ニ、為レ使節ヲ俱ニ解シ纜ヲ於慶尚

道泗川ニヨリ、経ニ二十余里之海程ヲ潜ニ通リ番船

中ニ到リ于順天ニ達シテ公命ヲ而シテ已ニ欲レ帰帆セント

其海上忽ニ為ニ狂風之難ノ反ニ覆シテ乗船ヲ政富

及數根氏沈ム波底ニ、是慶長三年十一月七日

也、年三十二、法名月船宗皎居士、此時与力

平田彌吉郎、且家臣浜田久藏追田監物及中間万右衛門九郎次郎共入レ水死ス也

○置ヲ骨ヲ於鹿兒島興國寺ニ而シテ建ニ立石塔ヲ也

○於テ大隅州肝付郡始良荘西保村ニ造ニ宮ヲ月船

寺ヲ安ニ置ス政富ノ位牌ヲ也、

長繼

甚吉郎、甚兵衛尉

○天正四年丙子二月廿二日誕生、母ハ同前、

○稻富丹後守藤原長秀為レ猶子ト也、

○慶長五年庚子九月十五日戰ニ死ス於濃州關原

一、年廿五、法名玄通要律居士、

女子

○天正八年庚辰誕生、母ハ土佐一條氏女、

○天正十四年丙戌夭亡、七歳、法名玄芳朝露

童女、

久政

甚七郎、長左衛門、左馬、

○天正十二年甲申三月廿九日誕生、母ハ同、

○為レ顯ニ彌ニ三郎久音之後嗣ト也、

○慶安二年己丑三月十三日死去、年六十六、

法名一翁玄忠大居士、

女子

○天正十六年戊子六月七日誕生、母ハ伊東右

馬頭女、

○初ハ嫁ニ伊勢左衛門尉ニ、後ニ嫁ニ島津豊後守

久賀ニ、

○寛文六年丙午六月廿六日死去、年七十九、

法名持山妙總庵主、

女子

佐多伯耆守忠充室、

○文祿元年壬辰誕生、母ハ伊勢雅樂助貞眞入道

任世齋女、

○正保二年乙酉正月十八日卒、年五十四、法

名梅顏清芳大姉、

女子

三原左衛門佐重饒室、

○文祿四年乙未誕生、母同、

○寛文四年甲辰十二月九日死去、年七十、法

名妙性湛然大姉、

廿二代
○政統

初、政弘、政晴、次郎丸、又七郎、出雲守

治部少輔、

○慶長二年丁酉正月七日誕生、母同、

○師三子吉田一水軒印西一相ニ伝ニテ射術ヲ以テ得

ニ免許ノ之証書ヲ、

○寛永十四年丁丑二月 太守黄門家久公使ニ

政統ヲシテ補ニ家老職ニ、同十八年依レ養レ狗不レ

得レ勤仕スルコトヲテ強ク請テ致仕ス矣、

○自ニ祖父政近ニ亡父政富至ニ政統ニ、三代補ニ

薩州指宿地頭職ニ、且後寛永十八年辛巳被レ

補ニ隅州蒲生院地頭職ニ、

○正保元年甲申八月五日卒、享年四十八、

法名春峰紹照居士、

女子

川上上野久運室、

○元和三年丁巳三月廿二日誕生、母、比志島宮

内少輔國隆女、

○寛文四年甲辰十一月廿八日卒、法名貴外貞

尊大姉、

榮政

五兵衛入道称受心齋、

○元和八年壬戌三月十五日誕生、他腹、

政利

徳千代、次郎左衛門、

○明曆二年丙申正月廿三日誕生、母、平田與九

郎宗敏女、

政員

德龜、權兵衛、

○万治三年庚子七月八日誕生、母、同前、

女子

島津安芸守久雄室、

○寛永二年乙丑正月廿一日誕生、母、比志島宮

内少輔國隆女、

○明曆二年丙申六月廿四日卒、年三十二、法

名月秋方圓大姉、

廿三代
○正勝

初、政由、政成、政昭、政直、正信、松千

代、又七郎、筑後守、藏人、

○寛永二年乙丑六月十三日誕生、

○政統依^レ無^キ男子^ニ為^レ養子^ト、妻^ニ第三^ニ女^ニ連

統^ス当家^マ、実^ハ、(島津家久)太守家久公庶子、母、牧

佐渡平胤親女、

○寛永十七年庚辰正月廿九日 太守光久公(島津光久)為

參勤武城、正勝在^ニ供奉之列、翌年辞^シ江戸

之時亦供奉四月二日帰^リ著^ス魔島、

○正保四年丁亥正月十七日首^ニ途^ニ於^テ魔島^ニ到^リ

著^ル於^テ江府、留滯之際 太守光久公張^リ行大

追物、於^テ武州王子原^ニ所^レ備^ニ於^テ將軍家(藤川家)光

公^ノ之台覽、政昭亦有三射手之列、其事

終^リ而後日登^リ城拜^シ謁 將軍家^ニ且^ツ賜^ニ衣服

五^ツ矣、同年十二月辞^シ江戸、翌年正月廿九日

下^ニ著^ル魔島、

○慶安四年辛卯五月奉^リ太守光久公^ノ命^ヲ候^ニ

評定所^ニ預^ニ政事^ノ席^ニ矣、

○承応三年甲午十二月廿八日使^シ喜入休右衛

門尉久守^ヲ伝^フ 太守^ノ高命^ヲ曰^ク俾^テ平田盛右

衛門純正^ヲ編^ニ輯^セ 御当家^ノ之^レ記録^ヲ、令^ニ

正勝為^シ其宰^ト扱^レ要枢^ヲ無^ク大小^ト共^ニ以^テ加

以下知ヲ焉、

○明曆二年丙申二月使ニ喜入休右衛門久守ヲ政昭補ニ任家老職ニ、且ツ拜ニ領ニ役料地二千石

マ、

○寛文三年癸卯三月二日 太守光久公參勤シ玉

マ、政昭供奉ス、四月廿八日 光久公登レ柳

營ニ此時正勝拜ニ謁ス于 將軍家綱公(徳川家綱)ニ延(徳川家綱)

○同年八月廿五日蒙ニ乘輿ノ之恩免マ、

○自ニ養父政統ニ至レ政直ニ補ニ浦生院地頭職ニ、

寛文三年癸卯六月転レテ浦生補ニ日州高岡地

頭職ニ、

○寛文五年乙巳三月廿九日 少将光久主參勤

シ玉、五月廿七日登レ城、此行亦正勝拜ニ謁

幕府ニ献ニ上ニ御太刀馬代マ、

○供ニ奉ニシテ 太守光久公(島津綱久)・綱久公(島津綱久)ニ往還ニ、赴レ

ト江戸ニ四度ヲリ也、寛文六年丙午ノ春在テ江府

之旅亭ニ、臥レ疾ニ故ニ賜レテ暇マ而シテ帰國、

○同六月初四日卒ニ於安藝州唐宇都津ニ、享年四十二、法名龍吟院殿義雲紹高大居士、

女子

藏人正勝室、

○寛永五年戊辰三月廿三日誕生、母、比志島宮

内少輔國隆女、

○延宝六年戊午三月廿四日卒、法名眞善院

殿觀中永應大姉、

政次

七右衛門尉、他腹早世、

○寛永七年庚午誕生、

女子

島津主膳久富室、

○寛永十九年壬午六月十七日誕生、母、池田太

郎左衛門尉平氏安滿女、

松千代丸

○正保元年甲申十一月十一日誕生、母、政統女、
○同二年乙酉四月十六日夭亡、二歳、法名觀

幼童子、葬於南林禪寺、

女子

又七郎正長室、

○慶安四年辛卯三月廿三日誕生、母同、

○元禄七年甲戌閏五月廿日卒、享年四十四、

法名聯芳院殿梅室點藥大姉、

廿四代
○正長

松千代丸、又七郎、出雲守、

○明曆二年丙申四月十九日誕生、

○正勝無_レ実子故_ニ為_レ猶子ト、実_ハ、(島津光久)太守光久公_ノ之庶子也、

○寛文二年壬寅十一月十四日長_ニ成_ル於河野湘_{ヒトナリヌ}

雪宅_ニ故_ニ遂_ニ於_レ彼宅_ニ而_{シテ}元服_ス、以_テ、太守

光久公_ノ命_ヲ而藏人政直_ヲ為_レ加冠号_ニ又七郎ト、

是_レ因_リ有_ニ猶子_ノ之約_一也、

○寛文五年乙巳正月四日為_レ猶子ト、入_ニ正勝之家_ニ嫁_{シテ}彼女_ニ連_ニ統当家_ト矣、

○寛文六年丙午十月朔日謁_ニ見_ル於

太守光久公_ニ、而獻_ニ上_ス於御太刀馬代_ニ一種

一荷_ト、是_レ所_リ謝_リ賜_ニ家督_ト之恩_ト也、

○寛文七年丁未三月三日奉_レ請_ニ、光久公_ヲ于

正長之宅_ニ矣、是_レ為_レ所_リ賀_ニ家督_ト也、

○養父正勝死去_ノ之後正長幼_{ナシ}、故_ニ辭_ニ高岡地

頭職_ト矣、寛文十一年辛亥十一月廿七日初_テ

補_ニ大隅州平松地頭職_ト、太守光久公所_レ

造_ニ營林館_ヲ於同所岩_ノ劍城_{下_ニ惟新君_ノ島津義弘_ノ林亭_ノ之跡_也、}

成_ニ土木_ノ之功_ト、光久公_ノ之渡御_ノ回数_ト也、

○寛文十三年癸丑四月三日依_ニ平松_ニ為_ニ小所_一

加_ニ帖佐城_ヲ為_レ一所賜_ニ地頭職_ト也、故_ニ不_レ

呼_レ平松_ト而_{シテ}唱_レ帖佐_ト、

○延宝二年甲寅十二月十七日被_レ補_ニ四番_ト与

頭_ト、

○延宝五年丁巳六月廿九日供_ニ奉_ス

光久公於武城_ニ、島津又十郎忠興_ハ、与_レ正長

勤_ム番頭_ヲ、

○同六年戊午夏供_ニ奉_ス 光久公_ニ赴_レ郷_ニ又從_レ

伏見使_ニ東武_ニ、是_レ依_テナリ 女院崩御_ニ也、

○天和二年壬戌ノ冬蒙_ル明春 光久公供奉_之命

ヲ雖_レ然_ト翌三年癸亥ノ春臥_レ疾故_ニ奉_テ辭_シ而蒙_レ

恩免_ラ其病終_ニ無_シテ起_{コト}而同四月十六日卒_ス、

享年二十八、法号仁雄院殿虎岑英斑大居士、

(廿五代)

○正甫

初_メ正辰中_ニ正純・正武、幼名松千代、仙

千代、隼人、出雲、藤四郎、小藤次、隠

居_シテ稱_ス正甫_ト、

○天和三年癸亥四月八日誕生、母_ハ祖父正勝、

女_ヲ、正辰誕生而纔_ニ過_ニ九箇日_ニ喪_レ父_ヲ、太

守光久公_ノ聞_ニ計_ヲ於江都_ニ則賜_ニ正長_之遺領_ヲ、

同年六月十九日町田勘解由久代奉_ニ 高命_ヲ

伝_レ之、

○貞享元年甲子六月二十四日正辰雖_レ在_ニ襦

袷_{之中}初_メヲ謁_ニ見_ス 光久公_ニ、献物省_レ繁_シ

略_ス之_ニ、

○同年十月二十六日述_レ繼目_ノ之賀儀_ヲ、献_ニ御

太刀馬代三種_ニ荷_ツ于 光久公_ニ、且_ツ献_ニ同

品於 儲君綱貴公_ニ、

○同二年乙丑十二月十三日 光久公賜_ニ名_ヲ仙

千代_ト、島津帶刀久元伝_レ命、

○元禄三年庚午十一月十五日 太守綱貴公為_レ

加冠_ヲ而_シテ元服_ス、号_ニ隼人正純_ト時賜_ニ御脇

指_ニ津田近江_ニ 守助直作、献_ニ上御太刀馬代・天井折六

合・御樽三荷_ヲ、佐多豊前久達理髮也、

○同十一年戊寅十二月十二日為_レ一番組頭且

御番頭_ト、御用人中神内藏之丞頼安伝_レ命、

○同十二年己卯三月二十七日補_ニ薩州指宿地

頭職、御用人猿渡喜右衛門信安伝之、四

月十五日献_レ上御太刀馬代、奉_レ謝_レ之、

○同十五年壬午三月三日請_テ改名_ヲ出雲、御

家老島津助之丞忠守伝_レ命、献_ニ上御太刀

馬代一拜_ニ謝_ス之_ヲ、

○同年六月二十二日 嗣君吉貴公自_ニ東都_一歸

薩府正武予_ヲ奉_シ謝使_ノ之 命、此_ノ日発_ニ

薩府_ヲ東行_ス、駟路_ヲ到_ニ江府_一、七月

二十八日奉_テ公之献物_一造_リ朝_ニ拜_ニ謁大

樹綱吉公_ニ、而勤_ニ使節_ヲ阿部飛彈守正喬_一贊_レ

之、正武亦親_カ献_ニ上御太刀御馬代御時服

三、奉_レ拜_ニ謁

台顏三宅備前守康雄_ヲ贊_レ之而后_ヲ八月二日

徵_レ朝使_ニ阿部正喬_ヲ賜_ニ御時服_三・道服_一

一、九月八日下_ニ著薩府_一、

○宝永二年乙酉十月三日転_ニ補薩州水引地頭

職_ニ、御家老肝付主殿久兼使_ニ御用人相良權

大夫長規伝_レ命、

○同四年丁亥十二月二十八日請_テ改名_ヲ藤四

郎、御用人諏訪市右衛門兼秩伝_レ命、

○同六年己丑十二月三日為_ニ四番組頭_一御番頭

御家老肝付主殿兼柄伝_レ命、是年十二月二

十八日進_ニ上御太刀馬代_一、拜_ニ謝_為組頭且

御番頭之辱_ト、

○同七年庚寅二月二日転_ニ補日州倉岡地頭職

一、御家老肝付兼柄使_ニ御用人諏訪兼秩_一伝

レ命、是年三月十五日進_ニ上御太刀馬代_一拜

ニ謝_レ之、蒲生一郎兵衛清賢執_ニ奏_之、

○正徳元年辛卯八月十五日 太守吉貴公賜_レ

告著_ニ薩府_一、正甫予奉_レ命_為謝使_ト即日

発_レ府東行_ス、九月二十八日登_レ營_ニ呈_ニ上_ニ公

之献物_ヲ拜_ニ謁

太樹家宣公_ニ本多彈正少弼忠晴_ヲ贊_レ之、正甫

亦奉_レ献_ニ御太刀一腰・御馬一匹・御時服三

一奉_レ拜_ニ謁、

台顏_ニ松平備前守正久贊_レ之、十月三日徵_ツ

レ營賜_ニ御時服_三・道服_一、松平對馬守近治

伝_レ之拜戴而退_キ、癸_ニ江府_一十二月晦日下_ニ

著薩府_一、

○同三年癸巳十二月二十九日請_テ罷_ニ四番組頭_一

御番頭
一如_レ故頃年依_ニ多病_一也、

○同六年丙申閏二月朔日有_レ請_{コト}免_ニ御番頭_一、

三月十六日罷_ニ地頭職_一、

○正甫予奉_ニ吉貴公_一之命_ニ享保四年己亥十

一月十一日癸_ニ薩府_一到_ニ江府_一、翌年正月二

日登_レ營就_ニ朽木民部少輔植昌_一呈_ニ上御太

刀一腰・御馬一匹_ニ勤_ニ歳首_一賀使_ツ、四月七

日下_ニ著薩府_一、

○享保七年壬寅十二月四日請_テ改_ニ名_一小藤次

一、御家老名越右膳恒渡使_ニ御用人中神興五

左衛門増武_一伝_レ命、

○延享元年甲子十一月十一日致仕、適子仙十

郎正芳襲_レ家、是_レ多年有_ニ病痾_一支体老瘁之

故_{ナリ}也、

○宝曆二年壬申六月十五日死、享年七十、法

名正源院殿甫道廓然大居士、葬_ニ於松原山_一、

〔廿六代〕
○一正芳

初正伴、幼名松千代、仙千代、仙十郎、

小藤次、隼人、藏人、

○享保三年戊戌十月四日誕生、妾腹木重助右衛門女

○同十三年戊申四月十五月初造_レ朝元服_一、

太守繼豊公為_ニ加冠_一、御家老姓名未詳勤_ニ理髮_一

賜_ニ折紙_一、改_ニ名_一仙十郎_ニ而退去_ス、於是_レ

進_ニ上御太刀一腰・御馬代銀一枚・御折六

合・御樽三荷_一、拜_下謝為_ニ元服_一之辱_上川上縫

殿久盤為_ニ奏者_一賜_ニ御盃及_レ脇刀一口_一波平

所造_レ父正甫亦_テ進_ニ上御太刀馬代_一拜_ニ謝_一之_一、

島津藤次郎久智為_二奏者_一、

○延享元年甲子十一月十一日繼_二家統_一御家老

北條織部時守伝_レ命、十二月十五日因_二奏

者番義岡左平太久中_二進_一上御太刀馬代三種

二荷_一、拜_レ謝賜_二家統_一之辱、時改_二名_一、小藤

次_一、又進_二上同品_一于_二嗣君宗信公_一拜_レ謝_ス

焉、

○寛延元年戊辰八月二十七日為_二御番頭_一御家

老樺山主計久初伝_レ命、九月朔日進_二上御

太刀馬代_一拜_レ謝之_二町田郷九郎久張為_一奏者

一、是月四日補_二隅州踊地頭職_一御家老島津矢

柄久富伝_レ命、

○同二年己巳六月十五日為_二四番組頭_一御番頭

御家老鎌田典膳政昌伝_レ命、

○宝曆元年辛未八月朔日進_二上御太刀馬代_一拜

下_二謝補_一地頭職_二之辱_一、桂太郎兵衛久敦奏_二

達_ス之_一、

○同三年癸酉十一月二十五日請_レ改_二名_一、隼人

一、御家老義岡相馬久中伝_レ命、

○同五年乙亥九月九日転_二大御目附_一、賜_二職田

二百石_一御家老義岡久中伝_レ命、十月二十

八日因_二澁谷喜三郎衛門貫通_一進_二上御太刀

馬代_一拜_レ謝之_一、

○同十年庚辰七月六日為_二御家老_一繼豐公公既隱居

代_二太守重豪公_一親_レ命_レ之、賜_二職田千石_一、

御家老高橋縫殿種壽贊_二正芳_一、是歳八月二

十八日就_二二階堂源太夫行端_一進_二上御太刀

馬代_一二種一荷_一拜_レ謝為_二御家老_一之辱_一、

○同年十二月四日為_二有邦院公之遺留物_一賜

御衣服麻上下及幅画寿老人狩野中央、螺螺石黒螺

戸後左衛門茂矩伝_レ命、

○同十一年辛巳正月十一日転_二補隅州高山地

頭職_一、御家老島津函書久亮伝_レ命、是月

十五日宣_レ預_二勤_一西国巡見使_二青山七右衛門成

親補保帯刀忠能

花房兵右之事、島津久亮伝 命、是歲六月二
衛門正路之境、

十二日巡見使入薩州出水之境、同月二十

八日至 城府、七月二十日出日州志布志

之境、忠能病ニ没ニ志布志ニ遷テ至ニ始終使下正芳

參知セ事務上、

○同十二年壬午正月晦日 (島津重豪) 重豪公賜目貫、小

刀柄・髮搔三器ツカ カウカヒ之ヲ三所物ト、御近習役四元

莊藏堯安伝レ之、

○同年二月朔日獻盛膳ヲ拜下謝嚮キ為レ國老

ト之忝上、時ニ就ニ四元堯安ニ進ニ上感陽宮瓦カハ

硯・高麗焼水指等サシヲ正芳為レ國老ト後、公始メテ

ノ日召ニ 御前ニ賜フ名藏人ト加之ヲス 賜ニ御時服

○同十四年甲申四月二十八日病シテ死ス、享レコト

年四十七、法名泰光院殿智運仙勇大居士葬

ニ於松原山、

丁〇一正方(廿七代)

仙千代、小藤次、藏人、

○寛保三年癸亥十一月二十一日誕生、母川上

縫殿久盤女後ニ絶

○宝曆三年癸酉十二月十五月初テ造ラ 朝見ニ

太守重年公ニ町田郷九郎久張為ニ奏者、公

手自加ニ元服(島津重年)髮ヲ人未レ詳、賜ニ名、小藤次、

於レ是進ニ上家例ノ之品ヲ拜ニ謝之、時ニ賜ニ御盃

及ヒ脇刀ニ薩州住元直所レ造、父正芳亦進ニ上御太刀馬

代ヲ拜ニ謝之、町田久張為ニ奏者、

○明和元年甲申七月二十一日賜ニ亡父ノ之遺領

ヲ御家老島津主鈴久郷伝レ命、

○同二年乙酉七月二十八日進ニ上御太刀馬代

三種ニ荷、拜ニ謁 太守重豪公ニ奉レ謝下繼ニ

家統ニ之辱上、島津求馬久利贊拜ス、是ノ日改

ニ名藏人ト、

○同九年壬辰正月十一日為ニ御番頭ニ御家老小

松帶刀清香伝_レ命、

○安永二年癸巳五月十五日進_ニ上御太刀馬代

一_ニ拜_ニ謁 太守重豪公_ニ奉_レ謝_下為_ニ御番頭_一之

辱_上島津内膳久丘贊拜、七月六日補_ニ薩州大

村地頭職_一御家老山岡齋宮久澄伝_レ命、十

一月十五日進_ニ上御太刀馬代_一拜_下謝補_ニ地頭

職_一之辱_上、島津小平太久美贊拜_ス、

○同九年庚子正月十九日為_ニ六番組頭_一 御番頭 如_レ故

御家老喜入主馬久福伝_レ命、十一月十一日

転四番組頭_一御番頭如_レ故後改_ニ御家老島津大進

久起_レ伝_レ之、

○寛政五年癸丑正月十九日転_{シテ}為_ニ御勘定奉

行_ニ御家老名越右膳恒當伝_レ命、七月二十

八日進_ニ上御太刀馬代_一拜_ニ、

太守齊宣公_ニ奉_レ謝_レ辱、北郷作左衛門久平贊

拜_ス、同日進_ニ上同品_一于 前太守重豪公_ニ拜

_ニ謝_レ之_一、

○同六年甲寅正月十一日転_ニ補隅州栗野地頭

職_一御家老菱刈大炊實邑伝_レ命、

○同十二年庚申六月二十五日卒_ス、年_シ五十八、

葬_ル於南林寺_一、法名泰心院殿義鑑隆英大居

士、

女子

名立

○明和四年丁亥四月六日生_ル、母_ハ島山數馬國歌

女、後_チ離_{シテ}嫁_ス島津頼母久英_一歿_ス于天明五年乙巳

十二月二十六日_一葬_ル奥国寺_一、法名玉樹院殿雪巖

○天明五年乙巳正月十日歿_ス、年_シ十九、葬_ル南林

寺_一、法名自芳院殿花屋妙貞大姉、

女子

名_ハ吉、堀甚左衛門起志室、

○明和七年庚寅二月七日生_ル、母_ハ島津近江久起

女、後_チ離_{シテ}卒_ス于文政二年己卯十一月七日_一葬_ル於玉龍山中龍護院_一、法名楓林院殿霜屋妙丹大姉、

○天保十五年甲辰三月七日歿ス、年七十五、葬

ニ隆盛院ニ、法名養壽院殿春保妙安大姉、

(廿八代)
正峰

小字ハ仙千代、賜ニ仙十郎ト、後ニ改ニ小藤次ト

○安永二年癸巳三月四日生、母ハ同レ上、

○天明三年癸卯十月二十八日、

太守重豪公召ニテ仙千代ヲ於 府城ニ、手ツカラ親

ヲ加レ冠ヲ使ニテ御家老島津仲久隣ヲ理髮セシム、

乃チ獻シテ公ニ御折六合・御樽三荷・御太刀一

腰・御馬代銀一枚ニ謝スレ恩、入來院隼人

定馨資^{ソウシヤ}之ヲ、於レ是

公賜ニ名ヲ仙十郎ト、又タ親觴シ玉之賜ニ脇刀一

口ヲ波平乃チ服ニ拜シテ賜フ、此日獻ニ

世子虎壽丸公ニ亦如シ之、父正方獻ニテ御太刀

一腰・御馬代銀一枚ヲ亦謝スレ恩、入來院定

馨資^{ソウシヤ}之、時ト正峰年^シ十一矣、

○寛政十二年庚申八月六日為ニ詰衆、御家老

川上久馬久致伝^レ命ヲ、○十月朔日為ニ父、

後ト御家老菱刈大炊隆邑伝^テ命許^レ之、

○享和元年辛酉二月二十一日正峰造^{イダ}リ朝献

ニ御太刀銀馬代三種ニ二荷ヲ於

太守齊宣公及ヒ

老公重兼

世子齊興公ニ、進^シテ御家老菱刈大炊隆邑

等ニ拜^スニ嗣統ノ恩ヲ、二階堂部行禮贊^レ之ヲ、時

不^ニルハ親^ク拜^セ

公位ニ皆ナ在^ニス江戶ニ故也、○八月七日改テ称

ニ小藤次ト、御家老菱刈大炊隆邑使^下田畑武

右衛門常直ヲ伝ヘ、レ命ヲ允ルサ其ノ請^上也、

○文化五年戊辰十月致^{カス}ニ詰衆^ヲ有^ニテ以^レ疾ヲ請^{コト}ニ

故也、

○六年己巳七月請^テレ命ヲ伝^ニ事ヲ正謀^ニ自^ラ老^シ

於家ニ御家老島津將監久美伝^テ旨ヲ許^レ之、

○天保九年戊戌十一月十二日歿^ス、年^シ六十六、

○正昌(廿九才アサ)

○南林寺ニ、法名春霄院殿桃林花顔大禪童女、

○天明六年丙午七月八日生々、母同レ上、

名政、

女子

○五年乙巳二月三日夭々、年五歳葬ニ南林寺、
法名榮正院殿法雲宗護大禪童子、
(ト)

○天明元年辛丑九月二十二日生々、母同レ上、

甚七郎

○請テ分ク家族ヲ別ニ自ラ有リ譜、

○安永四年乙未九月二十九日生々、母同レ上、

称ニ藤次郎ト、

政苗

士、

葬ニ南林寺ニ、法諡高穩院殿猷道泰仁大居士、

初名正謀、小字仙千代、賜テ称ニ藏人ト、

○寛政七年乙卯六月二十一日生々、母ハ島津内膳久中ノ女ニ卒ニ于文化十二年乙亥二月十六日、葬ル

ニ南林寺ニ、法名青峰院殿却外妙春大姉、

ニ南林寺ニ、法名青峰院殿却外妙春大姉、

○文化二年乙丑十一月二十八日

太守齊宣公召ニ仙千代ヲ於テ府城ニ手自ラ加ヘ玉冠ヲ、使ニシテ御家老川田伊織佐摸ヲ理髮セシム、

乃チ献シ

公ニ御折六合・御樽三荷・御太刀一腰・御馬代銀一枚ヲ拜スレ恩ヲ、畠山平太義矩賛ス

レ之、於レ是ニ

公賜ニ称ナリト藏人ト時名正謀又タ親ヲ觴ツキシ之レニ賜フ

脇刀一口ヲ安住波平乃チ服シテ拜スレ賜モラシ此日

献シテ御太刀一腰・御馬代銀一枚・三種ニ一荷

於

重豪老公及ヒ

世子齊興公ニ以テ拜ルモ思フ亦タ如シ之ノ、父正峰

亦同、獻シテ太刀馬代ヲ謝ス、レ恩ヲ、時キ正謀年シ十一矣、

○三年丙寅十二月十二日擢シテ御小姓ニ給ニ事ス於

世子、即今公左右ニ御家老頼娃信濃久喬伝命、此ノ日又命シテ明年如ニカシム江戸一

○五年戊辰正月前ハ此ヨリ正謀以テ疾ヲ辞ス職及ヒ

上邸ヲ、於レ是ニ二十日有リ、レ命免ニテ御小姓、且ッ如ニトコトヲ江戸ニ御家老島津將監久美使ニ御

側御用人讚良善助貞疑ヲシテ傳ヘ之ヲ、

○六年己巳二月為ニ御連衆一、○七月二十八日

承宗職ヲ、前ハ此ヨリ父正峰請テ傳ヘ事ヲ正謀ニ身

老中トシテ于家ニ、至レ是御家老島津將監久美召テ

以テ傳ヘ、レ命ヲ許レ所ヲ請也、○十二月二十五

日正謀造リ、レ朝ニ獻シ

太守齊與公御太刀一腰・御馬代銀一枚・三

種二荷進テ謁シ御家老島津安房久備等ニ拜ニ承

襲、恩ヲ、伊集院藏主久武贊ス之ヲ此日同、

老大公

老公 世子ニ以テ謝スルモ、レ恩ヲ亦々如レシ之ヲ、

○七年庚午十一月十五日有リ、レ命学ニテ犬追物

ヲ於川上氏ニ、御家老島津將監久美伝レ之ヲ、

○文政四年辛巳八月十二日歿ス、年二十七、葬ニ

南林寺ニ、法名ハ高章院殿英山良勇大居士、

女子

名ハ岩、堀四郎左衛門起敬室、

○文化四年丁卯十一月二日生ル、母ハ島津平馬

久道ノ女保九年戊戌六月五日ヲ卒、葬ニ南林寺ニ、法

名秀法院蘭室貞香大姉、

○嘉永五年壬子閏二月二十四日歿ス、年四十

六、葬ニ隆盛院ニ、法名春芳院殿桃林紅艷大

姉、

〔表紙〕

天保三年壬辰十二月より

日記

正純



寄話星

正月よりハ記おくれ候ニ付
十二月朔日より廿九日迄記

十二月朔日、曇天、

十二月二日、小雪、

中山次左衛門様御出、手習式日四日ニ相成候、

十二月三日、大雪、

十二月四日、曇天、

今朝黒田氏江素読江差越候、平田氏江弓江差越候、
今朝湯地助左衛門殿被参候、

十二月五日、雨天、

今朝も黒田氏江は差越候、相良七郎左衛門殿・吉利仲之
丞殿御出ニ而候、

十二月六日、雨天マ、日テル、

今朝も黒田氏江差越候得共素読無之、直ニ相帰候、
今日式日ニ而黒田氏御出、

十二月七日、晴天、

今日四ツ後より犬追物江出、夫より桂家江一刻罷出、堀家江も差越、夫より相良氏岩切氏江被差越候ニ付かの方へ差越、夜入過帰ル、

十二月八日、曇天後雨、

今日四ツ前より出勤いたし、出掛(橋)二海堂鞆負様宅江差越、八ツ後帰ル、
永山氏被参候、

十二月九日、曇天、

七ツ時より平田氏江差越、帰掛中山氏式夜江差越、四ツ時分かへる、

十二月十日、晴天、

今日より詰前ニ而出勤致し、八ツ後帰ル、出掛御隠居参候、永山氏御出、相良氏御出、

十二月十一日、曇天後雨、

四ツ時より出勤致し八ツより演武館江出席致し、夫よりすさき遠矢射ニ差越、七ツ過帰ル、遠矢射ニ差越候人数、森川孫太夫殿・伊藤壯之助殿・平田民之助殿・伊十院半之丞様右人数差越候、
上村氏御出、

十二月十二日、雨天ノチセイ、

今日茂四ツ前より致出勤、八ツより墓参致大中様江も参、八ツ過相帰ル、
(南林寺)

十二月十三日、晴天、

今日は御すゝさげニ而不出勤致、四ツ後より谷山遠馬江同席中差越、夜入時分帰ル、
鎌田賀吉殿御出、
(笹橋)

十二月十四日、雨天ノチ曇、

今日四ツ前より致出勤、八ツより寒中見舞ニ桂家兩家、
其外嶋津主殿様・川田信濃様・赤松主水様右相廻、八ツ
過帰ル、詰前今日迄ニ而相スミ相次候、上村氏御出、今
晚義臣伝ニ而七ツ時分迄相読候、人数森川孫八郎殿・同
用吉殿ニ而候、

十二月十五日、晴天、

今日は寄詰ニ而出勤致、八ツより直ニ帰ル、永山氏御出、
小森八左衛門殿今朝御出ニ而候、赤松主水様・桂權七郎
寒中見舞御出ニ而候、

八ツ後よりすさぎ江遠矢射ニ差越、大鐘時分帰ル、同道
ニ而差越候人数、新納次郎・伊知地權左衛門・平田平之
介・森川孫太夫右人数ニ而候、
上村氏御出、南より森田喜助来、

十二月十六日、晴天、

今日式日ニ而黒田新左衛門様御出、外ニ中山氏・吉利氏

・湯地氏ニ而候、十四日手習式日、今日八ツ後より中山
氏御出候而七ツ後相すミ、講しやく直ニ有之候、

十二月十七日、曇天、

今日寄詰ニ而出勤致、出掛犬追物場ニ出席致、八ツより
帰ル、夜入時分桂家江罷出、四ツ前帰ル、
吉利氏素読江御出、

十二月十八日、雨天、

今朝ハ黒田氏へ差越候、相良氏・森川孫太夫殿御出、

十二月十九日、雨天、

今朝ハ黒田江は不差越候、上村氏御出、
夜入過より森川氏へ差越、四ツ過帰ル、

十二月廿日、晴天、

今朝は黒田江差越候、七ツ時分より平田氏へ差越、夜

入時分帰ル、

今晚八ツ過時分出火有之候、永山氏御出、堀權四郎様御出、

十二月廿四日、曇天マ、雪、

今朝も黒田氏へ同、七ツ後より平田氏江差越候、今朝上村氏御出、

十二月廿一日、雨天、

今朝も黒田氏江差越候、相良氏・森川氏御出、
今晚吉利氏御出、

十二月廿五日、同天マ、雪、

今朝も黒田氏江へ同断、今朝も上村氏御出、

十二月廿二日、曇天後雨、

今朝も黒田氏へ同、
今日七ツ過より平田氏江差越候、上村氏・永山氏御出、

十二月廿六日、曇天後雨、

今朝も黒田氏江は同断、
今日四ツ前より平田氏江差越候、

十二月廿三日、曇天、

今朝も同所江右同、
今日犬追物場江出席致、おさめの犬ニ而八ツ過相すみ住
吉江参、七ツ過帰ル、

十二月廿七日、雨天、

今朝は黒田氏江は不差越候、素読は今朝迄ニ而候、
今日伊十院江遠馬有之候得共不差越候、
今日伊十院遠馬有之管候得共、雨天故明後日相成候段承
候、永山氏御出、

十二月廿八日、曇天、

今日は御祝儀日候得共不致出勤候、

上村氏御出、

小森氏江墨筆相頼置候処、昨廿七日来候、墨五挺・筆

拾対、

森川氏・相良氏一刻御出、

十二月廿九日、晴天、

今日伊十院江遠馬有之朝五ツ時分より差越、夜入前ニ帰

掛宮之原家江差越、四ツ時分帰ル、

上村氏・永山氏御出、

鎌田藤之助参候由也、

十二月晦日、晴天、

湯地氏御出、吉利氏右同、上村氏御出、永山氏御出、

〔表紙〕

天保四年癸巳正月より

日記

正純



御手長星

寄詰星

鎌田藤馬藤原正純

大 二四七九 十一 十二

小 正三五六八十

森川氏とあるハ孫太夫殿の事也、朱ニ而かたにヒとある
わるき所也、此内にかたに朱引のあるも記をくれニ而候、
此内之朱書ハ記をくれを先ニ記タル也、

正月元日、晴天、

今日四ツ前より御祝儀ニ出、夫より上方礼廻致候人数、
北郷主膳・島津宇平太・島津守右衛門・伊藤壯之助・平
田平六・正真軒・伊十院十藏・若松平十郎・福昌寺・敷
根仲太・有川壮之丞・加藤權兵衛・村橋織之丞・興国寺・
嶋津頼母・島津直江、今朝出掛日置吉左衛門・岸良清右
衛門江見舞候、右人数ニ而候、

今日此方内江参候人嶋津守右衛門様・小森八左衛門殿・
鎌田仁仲太殿・森川孫太夫殿・石神彦七殿・湯地助左衛
門殿・永山清兵衛殿ニ而候、

正月二日、晴天夜明時分雨、

今日四ツ過より下方江礼廻致候人数、森川孫六・有馬伴
左衛門・丸田喜平太・川田信濃・赤松主水・和田仲太夫・
桂宇右衛門・嶋津主殿・永山清兵衛・島津矢柄・西田次
郎太・山王宮之原式部・大迫清右衛門・平山源八・山岡
右京・黒田新左衛門・桂權七郎・二海堂主計・同親負、

右人数ニ而候、

今日内江参候人、上村半助殿・平山源八殿・永山覺右衛門殿・久保後右衛門殿・村田利右衛門殿ニ而候、

正月三日、晴天、

今日四ツ時分より御殿江出、四ツ過より下方江礼廻致候

人数、(島津貴久) 大中様墓所、夫より掘四郎左衛門・鎌田八郎左

衛門・澁谷八郎・栂山伊織・鎌田太郎右衛門・右神彦七・

徳永周左衛門・本城元次・岩下矢之助・小森八左衛門・

(彦次) 歪之介・永山覺右衛門・島津又六郎・九良賀野平八

・島津丹波・鎌田哲次郎・鎌田典膳・伊地知權左衛門・

梅田十太郎・穎娃主膳・小林外記・山澤甚五右衛門・家

村仲右衛門、右人数ニ而候、

今日内江参候人、敷根仲太殿・佐々木五右衛門殿・吉利

仲之丞殿ニ而候、

今晚東郷家稽古初ニは平六殿病氣ニ而不差越候、

正月四日、晴天、

赤松主水様・森川孫六様御出、

今日参候人、永山氏・上村氏・久保後次郎殿・森川孫太

夫殿ニ而候、

正月五日、雨天、

今日より詰前ニ而出勤致、八ツより川上家稽古初ニ差越、

夫より上村氏・福島直次郎殿宅江見舞、七ツ過帰ル、稽

古初は雨天ニ而木馬ニ而候、

正月六日、雨天ノチ曇、

今日は山岡氏江詰前相頼候、

四ツ過より平田氏病氣見舞ニ差越、八ツ後帰り直ニ永吉

江弓有之候ニ付差越、夜入過帰ル、

桂權七郎様御出ニ而候、

正月七日、晴天、

昨日平田氏ニ差越候、通掛ニ川上矢左衛門・國分一郎右衛門・伊地知清之進・新納十郎・新納徳之助・寺山四郎左衛門、帰り掛久保源之進・田上利兵衛・久保後右衛門、右人数江見舞候、

今日詰前ニ而出勤致、八ツより川上源十郎・鎌田權右衛門・比志嶋孫太郎・新納半兵衛・佐々木五右衛門、右見舞八ツ過帰ル、

三日之日出掛相良淡齋江見舞候、留をくれ候ニ付今日ニ記置候、

今日参候人数、森川孫太夫殿ニ而候、

正月八日、晴天、

今日も出勤いたし、八ツより倉山作太夫・執印傳助右見舞、八ツ後帰ル、

今日参候人、中山氏・上村氏ニ而候、

夜入前より伊勢家稽古初ニ差越、四ツ過帰ル、

正月九日、曇天、

今日も詰前ニ而出勤致、八ツより帰ル、詰前今日迄ニ而候、

今日参候人、森川孫太夫殿ニ而候、

正月十日、晴天、

今日別詰申来候ニ付九ツ前より致出勤、八ツより帰ル、今日参候人、鎌田藤之助殿ニ而候、

正月十一日、晴天、

今日御用ニ付罷出候処、去年之通不断光院火消被仰付候、四ツ過より犬追物江出席致、八ツ前帰ル、

昨夜平田平六殿病死之段申来候、

今日南より役人名代川枝源左衛門参候、吉野花棚より家来とも参候、

今日参候人、上村氏・永山氏ニ而候、

夜入前より森川氏へ差越、四ツ前帰ル、

正月十二日、晴天、

今日参候人、上村氏・永山氏ニ而候、

大鐘過より平田家江差越、五ツ過帰ル、

正月十三日、曇天、

今日参候人、上村氏・永山氏・相良氏・大河平八次殿ニ而候、

本田善七郎様御出、

四ツ時分より犬追物江出席致、不射候ニ付八ツ前帰ル、

正月十四日、晴天、

今日山岡氏より詰前頼ニ而四ツ前より致出勤、八ツより帰ル、

今日より手習式日ニ而中山氏御出、

今日参候、^(人脱カ)上村氏ニ而候、

正月十五日、曇天、

今日は御祝儀江は不出候、

濱田本學院来候、

桂式部様御出ニ而候、

今日八ツ後より矢数射之人数、森川孫太夫殿・相良七郎左衛門殿ニ而候、夜入前相すミ候、皆々四ツ時分御帰りニ而候、

正月十六日、曇天、

今日式日ニ而黒田氏御出、外ニ中山氏・吉利氏・上村氏ニ而候、

今日講読ニ而^(虚空蔵)こくうぞふ坊主濱田本學院参候、

正月十七日、雨天^{朝曇九ツ過より雨}

今日は犬追物ニ而出席致、不射候ニ付四ツ過帰候、

今日参候人、永山氏・上村氏・相良氏・森川氏ニ而候、

正月十八日、雨天、

今日参候人数、桂權七郎様、永山清兵衛殿・上村半助殿
ニ而候、外ニ森川氏・相良氏ニ而候、

正月廿二日、曇天後晴、

今日谷山宿村江同役中北郷主膳殿加世田より帰り候付差
越、夜入過帰ル、

今日参候人、鎌田藤九郎殿・上村半助殿ニ而候、

正月十九日、晴天、

今日手習式日ニ而中山氏御出ニ而候、
桂宇右衛門様御出ニ而候、

正月廿三日、曇天、

今日四ツ時より犬追物江出、九ツ過より伊勢家門弟井上
新左衛門殿せん別とし而、伊勢家屋敷へ門弟中出張ニ而
差越、夜入過帰ル、

正月廿日、曇天後二雨、

今朝素読江差越候得共無之候ニ付直ニ相帰候、
今日参候人、吉利氏・相良氏ニ而候、

今日参候人、永山氏、今朝相良氏ニ而候、

今朝桂權七郎様御出ニ而候、

今日貞宗之刀相良氏江相頼、池田金七江トキ方へ遣置候、

正月廿四日、曇天、

今日七ツ時分より北郷家弓稽古江差越、夜入前帰ル、供
おくれ候ニ付老人帰ル、

正月廿一日、曇天、

今日七ツ時分より北郷家江弓稽古有之候ニ付差越、夜入
時分帰ル、

正月廿五日、曇天後雨、

今朝黒田氏江差越候得共素読無之、直ニ帰ル、

今日四ツ後より中山氏門弟中小野伊地知何某と言人屋敷
江積書有之出張、夜入過帰ル、

正月廿六日、雨天、

今日式日ニ而黒田氏御出、外ニ吉利氏ニ而候、

正月廿七日、晴天今朝シモフル、

今日四ツ時より犬追物江出、不射ニ付四ツ後帰ル、今日
同席中伊勢家屋敷へ弓有之、四ツ後より出張、夜入時分
帰ル、

今日黒田氏素読始有之候得とも、弓江出張候ニ付不差越
候、

一昨廿五日之日堀四郎左衛門様御出ニ而候、記おくれ候
ニ付今日ニ記置也、

正月廿八日、晴天、

今日四ツ前より御祝儀江出、九ツ前帰ル、今日谷山遠馬

有之候得とも差不越候、

今日九ツ過よりいそ加治木敷江北郷主膳殿など弓有之候
ニ付出張、帰り掛北郷家式夜江差越、四ツ過帰ル、
昨日上村氏御出ニ而候、

正月廿九日、雨天、

今朝黒田氏へ素読江差越候、

今日参候人、上村氏・相良氏・森川氏ニ而候、
今日七ツ後より北郷家弓稽古江参、夜入九ツ過帰ル、

二月朔日、曇天、

今日より詰前ニ而出勤致、八ツより帰ル、

今日参候人、永山氏・相良氏・森川氏ニ而候、

二月二日、雨天後曇天、

今朝黒田氏江差越候、

今日茂出勤致、八ツより帰ル、

今日参候人、相良氏・森川氏ニ而候、

二月三日、晴天、

今朝茂黒田氏へ差越候、

今日参候人、永山氏御出ニ而候、

今日四ツ後より草牟田伊勢家屋鋪江弓有之同席中差越、

夜入時分帰ル、

二月四日、雨天、

今日茂詰前ニ而致出勤、八ツより山岡家江同席中差越、

夜入過帰ル、

昨日詰前ハ平田平太左衛門殿江相頼候、

今日参候人、上村氏・鳥丸清保ホニ而候、

二月五日、曇天、

今朝黒田氏へ差越候、

今日も詰前ニ而致出勤、八ツより帰ル、

今日七ツ後より北郷家江差越、夜入前帰ル、

詰前今日迄ニ而相住候、

今晚平田平太左衛門様一刻御出ニ而、明日詰前御頼ニ而候、

二月六日、曇天後雨、

今日ハ黒田式日候得共御断申上候、

今日平田氏御頼ニ而致出勤、八ツより北郷家江差越、夫

よりまい原江遠矢射ニ差越、帰掛北郷家へ差越、四ツ過

帰ル、

今日参候人、永山氏・上村氏ニ而候、

二月七日、曇天後雨、今夜雷、

今日四ツ前より犬追物へ出不射、馬乗江出、八ツ後帰ル、

今日参候人、大河平八次殿・相良七郎左衛門殿ニ而候、

二月八日、雨天、

昨六日式日今日黒田氏御出ニ而候、外ニ中山氏ニ而候、

二月九日、雨天後曇、

今朝ハ黒田氏へ差越候、

今日七ツ時分より平田平太左衛門殿・宮之原式部殿御出ニ而弓射候処ニ、山岡右京殿不被成御出候ニ付、夜入過より義岡藏人殿・小林外記殿・桂權七郎殿此方へ御出ニ而、五ツ時分山岡氏江差越、八ツ時分帰ル、

今日参候人、上村氏ニ而候、

二月十日、曇天、

今日四ツ後より犬追物場江木馬稽古江出、八ツ後帰ル、今日参候人、上村氏・角喜左衛門・相良氏ニ而候、

二月十一日、曇天マ、日、

今日八ツ後宮之原家へ弓有之差越、夜入五ツ過帰ル、出掛山岡家江一刻参候、

二月十二日、曇天、

今朝黒田氏へ差越候、

今日参候人、相良氏ニ而候、

今日四ツ後より森川氏江差越、八ツ後帰ル、俄ニ義岡家へ弓有之段平太左衛門殿より申来候ニ付差越、六ツ過帰り掛平太左衛門殿宅へ主膳殿・式部殿差越、五ツ過帰ル、

二月十三日、曇天、

今日四ツ時分より犬追物へ出不射、四ツ後帰ル、

八ツ後より北郷家江差越、大鐘過帰ル、

今晚森川氏へ差越候、

今日参候人、永山氏・相良氏・森川氏ニ而候、宮崎白瀧ニ而候、

二月十四日、晴天うまでけ物ニ而今日より不出、

今日参候人、相良氏ニ而候、

二月十五日、晴天、

今日参候人、上村氏ニ而候、

不快ニ有之候間相良淡齋殿江申遣候処、弟子被参候、

昨日も淡齋殿弟子久米田良仙殿被参候、

二月十六日、曇天、

今日参候人、森川氏・相良氏・中山氏ニ而候、西田山ぶ

し被参候、

今日黒田氏御出之式日候得共、不快ニ有之候ニ付断申遣

候、

二月十七日、雨天今朝雷、

今日参候人、相良氏ニ而候、

二月十八日、曇天、

今日参候人、堀四郎左衛門様・上村氏ニ而候、

今日森川氏へ差越候、

二月十九日、曇天ためしかね
射ニ而候、

今日参候人、相良氏・森川氏・永山氏・鎌田藤九郎殿・

桂權七郎様・市來清十郎殿ニ而候、

二月廿日、雨天後曇森川氏ニ而
ためしかね射ル、

今日参候人、上村氏・相良氏ニ而候、

今日森川氏へ差越候、

二月廿一日、晴天ためしかね
射ル、

今日参候人、相良氏・森川氏・伊地權左衛門殿ニ而候、
（知脱カ）

二月廿二日、晴天ためしかね
射ル、

今日参候人、相良氏ニ而候、

今日御役人中其外無役迄も御用ニ而可罷出候間、昨日通
達有之候得共、病氣ニ而得不罷出候ニ付、桂宇右衛門様

江御頼申上候処、御用は大御隠居様御逝去之段仰渡ニ而
（烏津重孝）

候由、今日より日数三十日慎居候由仰渡ニ而候、今日よ

り月代不仕候、

二月廿三日、曇天、

二月廿四日、曇天、

今日参候人、上村氏・永山氏ニ而候、

今晚森川氏へ差越、九ツ過帰ル、

今日手習式日ニ而中山氏御出ニ而候、

二月廿五日、同天ためしかな
射ニ而候

今日参候人、相良氏・森川氏・鎌田藤九郎殿・永山覺右
衛門殿ニ而候、

二月廿六日、雨天後曇、

今日黒田氏式日ニ而七ツ後より御出、外ニ中山氏・村田

長左衛門殿ニ而候、

吉利氏八ツ後一刻御出ニ而候、

今日日入時分より桂權七郎様御出、外ニ町田孫右衛門殿・

久保源之進殿御同道ニ而御出、九ツ時御帰ニ而候、

今日より詰前ニ而候得とも、病氣ニ而小林氏へ其段申遣
置候、

二月廿七日、曇天、

今日茂詰前小林外記殿江相頼置候、

昨日鎌田藤九郎殿御出ニ而候、記をくれ、

今日参候人、永山覺右衛門殿・堀權四郎殿・鳥丸清保ニ
而候、

今日大鐘時分より森川氏へ差越、よく朝五ツ時分帰ル、

二月廿八日、曇天ためしかな
射ル

今日詰前ニ而出勤致、八ツより帰ル、

今日参候人、相良氏ニ而候、

吉利氏御出ニ而候得共断候、

二月廿九日、晴天、

今日茂出勤致、八ツより帰ル、

昨朝湯地助左衛門殿御出ニ而候、記をくれ、

二月晦日、晴天ためし射候、かね

今日茂致出勤、八ツ後帰ル、詰前今日迄ニ而候、

今日参候人、相良七郎左衛門殿ニ而候、

三月朔日、晴天、

今日四ツ後森川氏へ一刻差越候、

今日参候人、森川氏・永山氏ニ而候、

三月二日、晴天後雨、

今日参候人、相良氏・上村氏・角野喜左衛門ニ而候、

三月三日、雨天、

今日四ツ前より伺御機嫌江出、四ツ後帰ル、

今日参候人、上村氏・相良氏・森川氏ニ而候、

今日山岡氏より明日の詰前頼ニ而候得共断申遣候、

三月四日、曇天、

今日参候人、森川氏ニ而候、

大鐘時分より桂七郎様御宅江参、夫より山岡氏江差越候得共、客人有之候ニ付宮之原氏へ差越、四ツ過帰ル、

三月五日、雨天、

今日王子下りニ付桂家江参、八ツ後帰ル、

今日参候人、赤松主水様・桂權七郎様・鎌田賀吉殿・鎌田權右衛門殿・上村半助殿・永山覺右衛門殿ニ而候、

三月六日、雨天、

今日式日ニ而黒田氏御出、外ニ中山氏・村田長左衛門殿・中山才之丞殿ニ而候、

今日参候人、相良氏ニ而候、

三月七日、曇天、

今日参候人、森川氏・上村氏・相良氏・永山氏ニ而候、

三月八日、曇天時々雨、

三月十二日、雨天後晴、晩雨、
今日参候人、永山氏・中山氏・上村氏・森川氏・鎌田藤太殿ニ而候、

今晚中山氏へ差越、四ッ過帰ル、

三月九日、雨天曇雨、

今日平田平太左衛門殿より詰前頼ニ而致出勤、八ッより

三月十三日、晴天、

今日参候人、上村氏・永山氏・鎌田藤次郎様ニ而候、

川上十郎左衛門殿宅江差越、夫より有川藤左衛門殿江玄(關)官迄差越、八ッ後帰ル、

三月十四日、晴天後雨、

今日手習式日ニ而中山氏御出、

今日参候人、上村氏・永山氏・鎌田權右衛門殿ニ而候、

三月十日、曇天時々雨、

今日参候人、森川氏・相良氏・上村氏・鳥丸清保ニ而候、
昨日式日ニ而中山氏御出ニ而候、
昨十一日堀四郎左衛門様御出ニ而候、留をくれ、

三月十五日、曇天後雨、

三月十一日、雨天、

今日四ッ前より御祝儀江出、四ッ後帰ル、
供角野喜之助ニ而候、

今日参候人、村田長左衛門殿ニ而候、

今日参候人無之、今晚相良氏ニ而候、

今日九ツ後より乗廻し致原良屋鋪江差越、夫より大河平八次殿宅へ差越、夫より八次殿同道ニ而不動辺江差越、大鐘過帰ル、

三月十六日、雨天講釈加言は今日迄ニ而候、

今日式日ニ而黒田氏御出、外ニ中山次左衛門殿・同才之丞殿・村田長左衛門殿ニ而候、

三月十七日、雨天、

今日参候人、森川氏・相良氏・上村氏ニ而候、

三月十八日、晴天、

今日八ツ後より桂權七郎様御出被成、外ニ鎌田權右衛門殿・上村半助殿・永山覺右衛門殿ニ而候、南より長岸喜兵衛参候事、今日参候人、森川氏ニ而候、

三月十九日、曇天、

今日参候人、鎌田甚助殿・森川氏・相良氏・大河平八次殿ニ而候、

三月廿日、曇天、

今日参候人、相良氏・森川氏・鳥丸清保・永山氏ニ而候、今日四ツ後より永吉下より此方迄遠矢射ニ森川氏同道ニ而差越、七クリニ而此方迄クリ候、森川氏ハ六クリニ而候、八ツ前帰ル、

今日夜入時分より森川氏へ差越よく朝帰ル、供川畑平之助、

三月廿一日、雨天、

今日より詰前ニ而致出勤、八ツより帰ル、今日参候人、上村氏・永山氏・相良氏・森川氏ニ而候、

三月廿二日、晴天今日迄御旗ミ十日ニ相成候ニ付月代仕候事、

今日も致出勤、八ツより帰ル、

今日参候人、上村氏・小森八左衛門殿・中山次左衛門殿

ニ而候、

今日参候人、相良氏・森川氏ニ而候、昨日本學参候、留

をくれ、

三月廿三日、曇天ためしかね射ル

今日茂致出勤、八ツより帰ル、

今日参候人、上村氏・永山氏・鎌田權右衛門殿・森川氏・

渡瀬玄伯ニ而候、

三月廿六日、晴天今日より講釈有差行ニ而候

今日式日ニ而黒田氏御出、外ニ中山次左衛門殿・同才之

丞殿・村田長左衛門殿ニ而候、吉利氏は八ツ後御出ニ而、

式日之致素読直ニ被帰候、

三月廿四日、晴天、

今日ハ詰前山岡氏へ相頼候、

今晚日置家中鎌田仙太夫と言人参候、右ニ付上村氏御出

ニ而候、

三月廿七日、晴天、

今日参候人、相良氏ニ而候、

三月廿八日、同天、

今日四ツ時より御祝儀江致登城、四ツ後帰ル、供角野喜

之助、

三月廿五日、曇天風少々ふく、

今日ハ致出勤、八ツより帰ル、

詰前今日迄ニ而候事、

今日参候人、鎌田甚助殿・相良七郎左衛門殿ニ而候、

当月廿四日南村杉山見分ニ山奉行書役山見舞并ニ鎌田權

右衛門殿・永山覺右衛門殿被差越、今日奉行被帰候ニ付、

川村六左衛門相付参候而四月二日之日帰候、

四月三日、晴天、

三月廿九日、晴天、

今日参候人、桂權七郎様・久保源之進殿、夜入過より御出候而四ツ過御帰ニ而候、

今日参候人、上村氏ニ而候、

当月朔日より大信院様(島津重豪)和泉江御入有之候ニ付、月代朔日より御中忌迄相立候事、

四月朔日、曇天今日より月代相立候、

四月四日、晴天、

今日四ツ前より御祝儀ニ致登城、夫より伊地知才吉様墓・

此方墓・桂家墓へ参、九ツ過帰ル、供前ニ同、

今日参候人、鎌田權右衛門殿・永山覺右衛門殿ニ而候、

今日参候人、森川氏・相良氏・吉利仲之丞殿ニ而候、

今日南村より被帰候事、

四月二日、雨天、

(島津重豪) 大信院様福昌寺御滞服中掛之面々迄不洗物麻袴致着用候覚

今日義岡氏頼ニ而四ツ前より致出勤、八ツより帰ル、供

様、御殿勤之面々は平日之通被仰渡候間、此旨致通達候

角野喜之助、

以上、

今日参候人、相良氏ニ而候、

右之通当番詰衆より通達有之候、

今日夜入時分より北郷主膳殿宅へ相良氏同道ニ而差越、

今晚牛根之ツル二川彦六左衛門と言人参候、是も南村江差越

九ツ過帰ル、

候ニ付参候事、

濱田本學院昨日参候、

四月五日、晴天、

今日 (島津重豪) 大信院様御入寺ニ付御殿江出江 (候カ)、四ツ時よりノ後

より金蔵下へ出、九ツ過御入寺有之候ニ付、福昌寺サク
門迄そふ御供ニ而、夫より川上孫左衛門殿宅へ同席中一
刻差越、八ツ半時分帰ル、

今日参候人、八ツ後鳥丸清保・鎌田藤次郎殿へ今晚森川
氏・相良氏ニ而候、

四月六日、雨天、

今日は講釈式日ニ而黒田氏御出、外ニ中山才之丞殿・村
田長左衛門殿・吉利仲之丞殿ニ而候、吉利氏は素読式日
ニ而八ツ後より御出ニ而候、

夜入前より桂權七郎様御出ニ而、夜入九ツ時分御帰ニ而
候、

今日参候人、八ツ後永山覺右衛門殿・濱田本學院ニ而候、

四月七日、曇天時々雨、

今日参候人、今朝相良氏、今晚茂相良氏ニ而候、

四月八日、曇天 夜入雨時
ふる

今晚 (島津重豪) 大信院様御そふノニ而、七ツ過より義岡氏へ差

越候処、皆先江被差越候付直ニ相帰候処ニ、新上橋ニ而
相良氏へ行合候ニ付、夫より致同道福昌寺さく門前より
相ワカレ、川上孫左衛門殿宅へ差越、致同道福昌寺へ差

越、脇寺へ扣夜入前より御そふ場へ出張、六ツ時御出棺
有之、四ツ前相スミ候ニ付直ニ相帰候、供角野喜之助・

後山次左衛門ニ而候、

四月九日、晴天、

今日参候人、九ツ後永山氏・濱田本學院、八ツ後相良氏、
今晚上村氏・相良氏・森川孫八郎殿ニ而候、

今日七ツ過より宮之原式部様乗廻し差越候ニ付、差越べ
く旨玄官迄御出ニ而致同道、はしの木場々より相廻せ (ん
脱カ)
ん寺下より相わかれ帰ル、供角野喜之助ニ而候、

四月十日、曇天、

今日参候人、森川孫八郎殿、今晚相良七郎左衛門殿ニ而候、

四月十一日、晴天米うゑ初候、是も記置也、

今日参候人、森川孫八郎殿、今晚大河平八次殿ニ而候、
今日八ツ前よりはしの木場々辺江乘廻し致、相良氏など
ゑび釣ニ被差越候ニ付一刻ゑび釣、夫よりたのも先より
相廻中道より帰ル、供角野喜之助ニ而候、

三月廿七日之日、七ツ後よりはしの木場々江森川用吉殿・
相良七左衛門殿致同道差越、夜入時分帰ル、供角野喜之
助ニ而候、記をくれ、

四月廿二日、晴天、

今日参候人、森川孫八郎殿、八ツ後永山氏・吉利仲之丞
殿、七ツ後森川孫太夫殿ニ而候、

四月廿三日、晴天、

今日九ツ時分赤松主水様病氣ニ而病氣見舞ニ参、夫より
（平魁）せんがん寺下より相廻田道より八ツ前帰ル、供角野喜之
助ニ而候、

今日参候人、四ツ後上村氏、八ツ後大河平八次殿、大鐘
過相良氏・森川孫八郎殿、今晚吉利仲之丞殿ニ而候、吉
利氏ハ十一日素読式夜今晚ニ致くるべく旨、今晚素読式
夜致候、

覚

（島津重豪）
大信院様御中陰御法事ニ付御手長可被相勤旨申渡置候得
共、此節は当番頭より被相勤候間左様可被相心得候、右
当番詰衆より達通有之候、

大信院様御中陰御法事ニ付、来ル十六日勤行済拜礼被仰
付候ニ付、着服のし目・麻袴、尤客殿敷より内一帖目ニ
而拜礼被仰候間、此旨致通達候、以上、

但立宿了寂軒ニ而候、只八ツ半時分拜礼之筈候間、其
考を以可被差越候、

四月十四日、晴天、

今日参候人、四ツ後森川孫八殿・杉龜太郎、八ツ後上村氏、今晚中山氏ニ而候、中山氏ハ今日日式日ニ而候ニ付今晚御出ニ而候、

今日八ツ後より大河平八次殿致同道こかき江差越、相帰候処ニ大河平氏前ニ而次左衛門殿・才之丞殿ニ行合、致同道帰ル、供角野喜之助、帰候時分ハ夜入時分ニ而候、次左衛門殿は新上橋より相わかれ御帰被成御出ニ而候、

四月十五日、晴天七ツ時分雨少々ふる、後晴天、

今日御祝儀日ニ而致登城、四ツ後帰ル、供角野喜之助ニ而候、

今日参候人、森川孫八郎殿ニ而候、

今日誕生日ニ而權七郎様七ツ後より御出、外ニ平山源八殿・鎌田權右衛門殿・上村平助殿・永山覺右衛門殿ニ而候、

四月十六日、晴天、

今日は福昌寺拝礼ニ而八ツ前より御殿江出、八ツより嶋津右膳殿・樺山小膳殿・島津久馬殿致同道了寂軒江扣居、七ツ時分拝礼有之大鐘時分帰ル、供前ニ同、

今日参候人、森川孫八郎殿、今晚相良七郎左衛門殿ニ而候、

四月十七日、晴天、

昨日講釈式日今日有之、黒田氏御出、外ニ中山次左衛門殿・同才之丞殿・上村半助殿ニ而候、

今日参候人、森川孫八郎殿ニ而候、

四月十八日、曇天今晚少々雨、

今日七ツ後より水上辺江宮之原式部殿と致同道差越、帰掛彼之方へ参、夜入九ツ時分帰ル、供前ニ同、今日参候人、森川孫八郎殿ニ而候、

四月十九日、雨天、

一昨十七日より詰前ニ而候得共、島津右膳殿くりかへくれ候様頼候而くりかへ候ニ付、当分詰前ハ不出候、五日共ニくりかへ候事、

今日参候人、森川孫八郎殿、八ツ後上村半助殿、今晚相良氏ニ而候、

昨十八日迄ニ而御慎相はれ候間、月代いたし候事、

今日手習ニ中山氏御出、今日は定通之式日ニ而は無之候、

四月廿日、晴天、

今日島津右膳殿頼ニ而致出勤、八ツより帰ル、供山次左衛門、四ツ八ツ同、

今日参候人、森川孫八郎殿、八ツ後永山氏・相良氏、今晚相良氏ニ而候、

今日より馬乗朝稽古ニ相成候、

四月廿一日、晴天、

今日参候人、森川孫八郎殿、八ツ後永山氏ニ而候、

今日より和田家稽古へ出候セシハ後立而有之由候、供角野喜之助脱カニ而候、加藤家は鎌田賀吉殿を以断申置候事、

四月廿二日、晴天、

今日参候人、森川孫八郎殿、八ツ後永山氏ニ而候、

今日大鐘過より和田家稽古へ出候、供角野喜之助、後川畑平之助、

四月廿三日、晴天、

今日参候人、森川孫八郎殿、今朝相良氏、四ツ後森川孫太夫殿、今晚大河平八次殿・相良七郎左衛門殿ニ而候、

今日も和田氏へ大鐘過より出候、供角野喜之助、後川畑平之助、

今朝より黒田氏へ素読江差越候、供重久龜次郎、

今日より犬追物有之候得共不出候、

四月廿四日、晴天夜人過より雨ふる

今朝茂黒田氏へ参候、供重久龜次郎ニ而候、今朝より春秋左伝読初候事、

今日参候人、森川孫八郎殿、四ツ後吉利仲之丞殿・相良七郎左衛門殿、八ツ後濱田本學院・上村半助殿ニ而候、今日手習式日ニ而七ツ時分より中山氏御出、大鐘時分御歸り、

大鐘時分より和田氏へ出、夜入時分歸ル、供喜之助、後平之助ニ而候、
今晚森川氏へ差越候、供平、

四月廿五日、雨天、

今日参候人、今朝相良氏、九ツ過右同人、森川氏へ和田家之稽古之事門弟中言合有之差越、七ツ後より大鐘過歸ル、供川畑平之助、
今晚平田家稽古初有之、夜入前より森川氏致同道差越、七ツ過歸ル、供角野喜之助ニ而候、

四月廿六日、晴天、

今日園田軍右衛門代り森田喜助参候事、

今日参候人、四ツ後宮之原式部様、八ツ後上村氏・永山氏・桂權七郎様、今晚森川孫太夫殿ニ而候、

今日講釈式日ニ而黒田氏御出、外ニ中山次左衛門殿・同才之丞殿・村田長左衛門殿ニ而候、
吉利氏八ツ後素読之式日ニ一刻被参候、八ツ後鳥丸清保参候、

四月廿七日、晴天、

今朝黒田氏江参候、供平之助、

今日四ツ時分より犬追物へ出、夫より頼娃主膳殿致同道、吉野馬追ニ差越、歸り掛伊十院十藏殿宅へ一刻立寄、八ツ後歸ル、供角野喜之助、中間三右衛門、
今日大鐘過より和田家江出、夜入時分歸ル、供角野喜之助、

今日参候人、森川孫八郎殿、今朝上村半助殿ニ而候、

四月廿八日、曇天後雨、

今日四ツ前より御祝儀江出、四ツ後帰ル、供角野喜之助
ニ而候、

今日参候人、上村半助殿、夜入前村田長左衛門殿ニ而候、

四月廿九日、曇天大鐘時分より
少々雨

今日四ツ時分より谷山遠馬有之同席中出張、七ツ過帰リ
掛平田平太左衛門殿宅へ立寄、夫より和田氏江出夜入前
帰ル、遠馬供山次左衛門、和田氏より川畑與八ニ而候、
今朝は黒田氏へ参候、供川畑平之助ニ而候、

四月晦日、晴天晩少々雨、

今日参候人、森川孫八郎殿、八ツ後上村氏・小森八左衛
門殿ニ而候、

今日大鐘過より和田家へ出、夜入時分帰ル、供川畑平之
助ニ而候、

五月朔日、晴天七ツ後少々雨、

今朝黒田氏へ参候、供川畑平之助、

今日参候人、森川孫八郎殿、今晚上村氏ニ而候、

今日は和田氏式日ニ而七ツ前より出、夜入時分帰ル、供
川畑平之助、

五月二日、晴天、

今日参候人、森川孫八郎殿、今晚相良七郎左衛門殿ニ而
候、

今日大鐘時分より和田家江出、夜入時分帰ル、供川畑平
之助、

五月三日、曇天、

今日より犬追物朝稽古ニ而候ニ付六時より出不射、四ツ
時分帰ル、供角野喜之助ニ而候、

今日参候人、森川孫八郎殿、今晚上村氏・相良七郎左衛
門殿ニ而候、

五月四日、曇天、

今日四ツ後より平田家門弟中宮之城濱屋敷江出張有之候
付、森川孫太夫殿致同道伊地知權左衛門殿宅へ參、夫よ
り差越大鐘過歸ル、供角野喜之助、夜入前より和田家江
出、夜入時分歸ル、供重久龜次郎、

今日參候人、森川孫八郎殿ニ而候、

五月五日、雨天、

今日四ツ時より御祝儀ニ出、夫より桂權七郎様・桂宇右
衛門様・赤松主水様、右ニ參九ツ時歸ル、供山次左衛
門・角野喜之助ニ而候、

今日參候人、四ツ後上村半助殿・相良七郎左衛門殿、八
ツ後和田龍堂殿、七ツ後永山覺右衛門殿・中山次左衛門
殿・吉利仲之丞殿、四ツ後角野喜左衛門・今晚森川孫太
夫殿・同孫八郎殿ニ而候、

五月六日、雨天夜入前よりよく朝迄大水
出ル、外戸一番目キザ迄、

今朝は黒田氏へ參候事、供重久龜次郎、

今日參候人、森川孫八郎殿、大鐘後上村氏ニ而候、
今日は講釈式日ニ而黒田氏御出、外ニ中山次左衛門殿・
同才之丞殿ニ而候、

五月七日、雨天四ツ後曇
時々雨、

今日は犬追物ニ而候得共雨天ニ而不出候事、

今日參候人、森川孫八殿、今晚上村氏・永山氏・市來清
十郎殿ニ而候、

今晚吉利氏登ニ付(ん脱カ)せ別之印致候、夜入時分より七ツ前被
歸候、相良氏茂右同、

今日は和田氏へ出夜入時分歸ル、供重久龜次郎ニ而候、

五月八日、曇天時々雨、

昨日より右膳殿くりかへ之詰前ニ而、四ツより出八ツよ
り歸ル、供角野喜之助ニ而候、昨日は平田平太左衛門殿
へ相頼候事、

今日参候人、森川孫八郎殿、今朝相良氏、四ツ後市來清十郎殿、八ツ後鳥丸清保・相良七郎左衛門ニ而候、今日茂和田氏へ出夜入時分帰ル、供川畑平之助、

五月九日、雨天四ツ後より終日大水出ル、書院エンより二寸計スキ候、

今日は(島津重豪)大信院様御法事御手長ニ而、桂宇右衛門殿致同道参、四ツ後相住島津主税殿同道いたし帰ル、供角喜之介、

今日より四十九日・五十日・百ヶ日御法事五日有之候、今日より十三日迄御慎之由、

今日参候人、森川孫八郎殿ニ而候、

今日四ツより夜入六ツ時迄終日大水出ル、書院エンより二寸計スキ候、屋敷内は水之出ル所無之候、夜中よりよく朝迄掛ひる珍ら敷事故記置候、

五月十日、晴天、

今日茂四ツより出八ツより帰ル、供角野喜之助、帰リニ

は新上橋は舟渡ニ而候、

昨日水ニかし家ニケ所流候、新上橋・西田橋・武橋も流候、

今日参候人、森川孫八郎殿、今朝相良七郎左衛門殿ニ而候、

大鐘時分山次左衛門宅へ水見舞ニ差越候、角野供ニ而候、

今日夜入前より北郷主膳殿宅江相良氏同道ニ而参、九ツ過帰ル、供角野、後川畑與八ニ而候、

五月十一日、曇天、

今日茂致出勤八ツより帰ル、供角喜之助ニ而候、

右膳殿よりくりかへ之詰前今日迄ニ而候、

今日参候人、森川孫八郎殿、今朝上村氏、七ツ後森川孫太夫殿、今晚村田長左衛門殿ニ而候、

五月十二日、雨天、

今日より自分詰前ニ而四ツより出八ツより帰ル、供角野喜之助、

今日吉利仲之丞殿昇ニ付七ツ後玄棺迄(関)暇乞ニ被参候、

今日参候人、森川孫八郎殿ニ而候、

五月十三日、雨天、

今日茂四ツより致出勤八ツより帰ル、供角喜之助ニ而候、

七ツ前より嶋津直江殿宅へ弓有之、嶋津相馬殿・嶋津久

馬殿・小林外記殿参、夜入過帰ル、供角野喜之助、

今日参候人、森川孫八郎殿ニ而候、

犬追物は雨天ニ而不出候、

御母様桂宇右衛門様御方へ大鐘時分より御出、四ツ過御帰り、

五月十四日、曇天、

今日も四ツより致出勤、八ツより二階堂主計様死去ニ付

玄棺迄参八ツ後帰ル、供山次左衛門、四ツ八ツ同人ニ

而候、

今日参候人、森川孫八郎殿ニ而候、

五月十五日、半天、

今日茂四ツより出八ツより帰ル、供角喜之助ニ而候、

今日参候人、森川孫八郎殿ニ而候、

五月十六日、雨天、

今日茂四ツより致出勤八ツより帰ル、供山次左衛門、

後角野喜之助、詰前今日迄ニ而候、

今日参候人、森川孫八郎殿、八ツ後鳥丸清保ニ而候、

昨夜

今日講釈式日ニ而黒田氏御出、外ニ中山次左衛門殿・同才之丞・湯地助左衛門殿ニ而候、

五月十七日、雨天四ツ後より大水外戸一之キザ迄出、終日掛ける、

今朝は雨天ニ而犬追物は不出候、

今日参候人、森川孫八郎殿、四ツ後濱田本學院ニ而候、

五月廿一日、雨天、

五月十八日、雨天時々雨天

今日参候人、森川孫八郎殿、七ツ後上村半助殿ニ而候、
今日は和田氏へ出候得共、出ル人無之候ニ付直ニ相帰ル、
供喜之助、

今日参候人、八ツ後永山氏、大鐘過上村氏、今晚湯地助
左衛門殿・吉田孫右衛門殿ニ而候、

今晚森川氏へ参候事、供川畑平之助、五ツ過帰ル、

昨夜

五月十九日、雨天、

今朝は黒田氏へ参候、供川畑平之助ニ而候、

今朝は黒田氏江差越候、供川畑平之助ニ而候、
今日参候人、八ツ後濱田本學院・小森八左衛門殿、今晚
中山次左衛門殿、小森氏も今晚迄、

今日参候人、森川孫八郎殿、八ツ後永山覺右衛門殿ニ而
候、
今日は大鐘時分より和田氏へ出、夜入時分帰ル、供角喜
之助ニ而候、御母様墓参被成候事、

五月廿日、晴天七ツ時分より雨、

今朝も黒田氏江参候、供川畑平之助ニ而候事、

五月廿三日、晴天八後雨、

今日九ツ時分より矢数射候人数、濱田本學院・森川孫太
夫殿、外ニ山次左衛門・森田喜助ニ而候事、

今朝犬追物へ出不射五ツ過帰ル、今日平田平太左衛門殿
詰前頼ニ而四ツより致出勤、八ツより帰ル、供角喜之助
ニ而候、犬追物供同人、

今日参候人、七ツ後相良七郎左衛門殿ニ而候、

今日も和田氏へ出ル、供角喜之助、後川畑平之助、

今晚島津東市郎様・伊十院伊膳様・桂權七郎様・平田源八殿、何の為右衛門と言人、柘之木場々江出張ニ而帰り、掛御出被成候、五ツ過皆御帰り、

五月廿四日、半天、

今日参候人、森川孫八殿、七ツ後平田源八殿、今晚相良氏ニ而候、

今日も和田氏へ出夜入時分帰ル、供重久龜次郎、

五月廿五日、半天今晚少々雨、後大雨

今朝は黒田氏へ参候、供平之助、

今日四ツ時分より同席中谷山遠馬有之候ニ付差越、大鐘時分帰り掛和田氏へ参直ニ帰り、又出夜入時分帰ル、供川畑平之助、遠馬之供角野喜之助、中間清太郎ニ而候、今日参候人、八ツ後角野喜左衛門、今晚上村氏、八ツ後

永山氏ニ而候、

五月廿六日、半天時々雨、

今日八ツ後より同席中山岡氏江池ほし有之参、夜入過帰ル、供山次左衛門ニ而候、

今日参候人、森川孫八殿、今朝相良七郎左衛門殿ニ而候、

五月廿七日、雨天今晚少々水出ル

今朝犬追物式日ニ而出席致、雨天ニ而不射四ツ前帰ル、

供角野喜之助ニ而候、

今日参候人、森川孫八殿、九ツ後森川孫太夫殿ニ而候、

昨日講釈式日今日有之、黒田氏御出、外ニ中山才之丞殿ニ而候、

五月廿八日、雨天四ツ後より大鐘時分迄大水出ル、九日之水ニ一寸計少く候

今日参候人、森川孫八郎殿ニ而候、

今日四ツ後より大鐘時分迄大水出ル、九日之水ニ一寸計

少く候、千石ばゝ方は八寸計多く出候由、よく朝迄掛ひ
る、

下人仁十夜入前より相見得ず候処、よく朝日置氏かど江
流居候事、

五月廿九日、雨天、

今日参候人、森川孫八郎殿、今朝上村半助殿、九ツ後同
人・濱田本覺院、七ツ後相良七郎左衛門殿ニ而候、
昨夜一昨夜、

六月朔日、半天今朝外戸一ノキ
ザ迄大水出ル

今日は御祝儀江は不出候事、

本覺院昨夜より泊り今朝帰ル、

今日参候人、森川孫八殿、八ツ後相良氏・角野喜左衛門
ニ而候、

六月二日、雨天後半天、

今日九ツ後川田家江くやミ江参直ニ帰ル、供角喜之助、

今日参候人、森川孫八殿、日入時分より五ツ過迄相良氏
ニ而候、

六月三日、晴天、

今日(島津齊興)太守様御着城ニ付五ツ半時分より出、八ツ時御着

有之、夫より宮之城濱屋敷へ詰衆中弓有之(符之)之参、夜入

過帰り掛義岡氏へ参九ツ過帰ル、供終日角野喜之助、

御母様宇右衛門様御方へ御出被成候、

今日参候人、

六月四日、晴天、

今日は和田家江出夜入過帰ル、供角喜之助、後川畑平之

助、

今日参候人森川孫八郎殿、

六月五日、晴天、

今日參候人、森川孫八郎殿、七ツ後市來清十郎殿、今晚相良氏ニ而候、

今日も和田氏へ出候得共出ル人無之候ニ付、桂權七郎様御方へ參、直ニ帰ル、供角野喜之助、

六月六日、晴天時々雨、

今日寄詰ニ而致出勤、八ツより帰ル、供角野喜之助、今

朝山次左衛門、今日講釈黒田氏支ニ而無之候事、

今日參候人、八ツ後永山氏、

今日茂和田氏へ式日ニ而七ツ後より出夜入時分帰ル、供

喜之助、後川畑平之助、

六月七日、晴天、

今朝六ツ過より犬追物へ出射四ツ時分帰ル、供角野喜之助、

今日七ツ後より島津右膳殿宅江弓有之參、夜入四ツ時分

帰ル、供角野喜之助ニ而候、

今日參候人、森川孫八郎殿、

六月八日、晴天、

今日より詰前ニ而四ツより致出勤八ツより帰ル、供角喜之助ニ而候、

今日大鐘過より和田氏江出夜入時分帰ル、供角喜之助、

後重久龜次郎、

今日參候人、森川孫八郎殿、八ツ後森川孫太夫殿ニ而候、

六月九日、晴天、

今日も四ツより致出勤八ツより帰ル、供角野喜之助、

今日參候人、森川孫八郎殿、今朝上村半助殿、八ツ後鳥

丸清保、今晚村田長左衛門殿ニ而候、

今日も和田氏へ出夜入時分帰ル、供角野喜之助、後川畑平之助、

六月十日、晴天時々雨、

今日も四ツより致出勤八ツより帰ル、供角野喜之助、

今日参候人、今晚宮之原式部様ニ而候、

今日も和田氏出夜入時分帰ル、

柿木場々辺江乘廻し致、夫より和田氏へ差越候事、供角

野喜之助、後川畑平之助ニ而候、

六月十一日、晴天、

今日詰前平田平太左衛門殿へ相頼候、

今日参候人、森川孫八郎殿、今晚相良七郎左衛門殿・大

河平八次殿、

今日も和田氏へ式日ニ而七ツ後より出夜入過帰ル、供重

久龜次郎、後川畑平之助ニ而候、

六月十二日、晴天詰前今日迄、

今日四ツ前より致墓参夫より出勤、八ツより帰ル、供角

喜之助ニ而候、

今日七ツ時分より肝付家弓場へ弓有之差越、夜入過帰ル、

今日参候人、今晚上村半助殿・渡瀬玄伯ニ而候、

六月十三日、晴天、

今朝犬追物犬取ニ而六ツ前より出射、四ツ時分帰ル、供

角野喜之助、

今日も和田氏江出夜入時分帰ル、供角野喜之助、後重久

龜次郎、

今日参候人、九ツ後赤松主水様、今晚相良七郎左衛門殿・

渡瀬玄伯、

六月十四日、晴天、

今日参候人、八ツ後鎌田權右衛門殿、今朝濱田本覺院、

七ツ後相良氏、夜入時分永山清兵衛殿ニ而候、

今日も和田氏へ出日入過帰ル、供重久龜次郎ニ而候、

今日手習式日ニ而今晚中山次左衛門殿御出ニ而候、

六月十五日、晴天八ツ時分少々雨、

今日より 御出座有之五ツ半時分より出候処、山岡右京

殿詰前頼ニ而八ッ過詰管候処、北郷主膳殿宅江八ッ前よ

り非是(是非)に行之旨ニ而參、八ッ過歸り直ニ山岡氏へ刀差か

へニ而差越、夜入五ッ時分歸ル、供角野喜之助、晚山次

左衛門殿ニ而候、

今日參候人、森川孫八郎殿ニ而候、

昨十四日鎌田藤之助殿被參候事、

六月十六日、雨天、

今日講釈式日ニ而中山氏・黒田氏・中山才之丞殿御出ニ

而候、

夜入過より黒田氏・中山氏同道ニ而桂家江參、四ッ過帰

ル、供川畑平之助、後角野喜之助、

今日參候人森川孫八郎殿ニ而候、

六月十七日、雨天四ッ後半天、後雨天

今日參候人森川孫八郎殿ニ而候、

六月十八日、雨天今晚少々水出ル

今日參候人、森川孫八殿、八ッ後村田長左衛門殿、今晚

相良七郎左衛門殿・森川孫八郎殿候、

六月十九日、半天時々雨、

今日參候人、森川孫八殿、八ッ後相良七郎左衛門殿ニ而候

今日は和田氏江出稽古一偏いたし、夫より雨ニ而日入前

歸ル、供重久龜次郎ニ而候、

今日參候人、

六月廿日、半天後晴、

今日寄詰ニ而四ッより致出勤、八ッより今和泉濱屋敷へ

弓場奉行帳書ニ肝付典膳殿同道ニ而參、夜入五ッ過帰ル、

供角喜之助、

今晚九ッ過北郷主膳殿・平田平太左衛門殿・宮之原式部殿・山岡右京殿宮之原氏より歸りニ御出、八ッ時分御歸

り、

相良氏も今晚被参候事、

今日参候人、森川孫八郎殿、今晚上村半助殿・永山覺右衛門殿、

六月廿一日、半天、

今日参候人、今朝湯地助左衛門殿・森川孫八郎殿ニ而候、
今日は和田氏江出候得共出人無之直ニ帰ル、供川畑平之助、

六月廿二日、晴天、

今日寄詰ニ而候処間違ニ及尋ニ御殿迄遣候処、可出之旨
ニ而九ツ前より致出勤、八ツより帰ル、供喜之助、
今日文書土用ホシ致候事、

今日参候人、森川孫八郎殿、今晚大河平八次殿、

六月廿三日、晴天土用今日迄、

今朝犬追物式日ニ而六ツ過より出不射、四ツ時より島津

内藏殿・宮之原式部殿致同道 (南林寺) 大中棟江参、四ツ過帰ル、

供角野喜之助、
昨日土用ボシ致候文書今日取納候、

今日参候人、

六月廿四日、晴天、

今日参候人、森川孫八郎殿、今晚相良七郎左衛門殿、四ツ後
濱田本覺院、

今日不快ニ有之相良淡齋殿弟子江申遣候処、(麦)ムキ生田シ
ウ軒参候、

今日荒田肝付家屋敷へ同席中弓有之参旨候処、少々不快
ニ而不参候事、

六月廿五日、晴天夕前より半天、

今日参候人、森川孫八郎殿、今朝相良氏、四ツ後濱田本覺院ニ而候、

六月廿六日、雨天、

今日は黒田氏支ニ而講釈式日無之候事、

今日参候人、森川孫八郎殿、大鐘過上村半助殿、今晚相良七郎左衛門殿・森川孫八郎殿、八ッ過吉村孫右衛門殿ニ而候、

今日は和田氏へ出夜入過帰ル、供川畑平之助ニ而候、

六月廿七日、雨天、

今朝ハ犬追物へ出雨天ニ而無之、四ッ前帰ル、供山次左衛門ニ而候、

今日参候人、森川孫八郎殿、今朝湯地助左衛門殿、今晚相良七郎左衛門殿、

六月廿八日、半天、

今日は御礼日ニ而候得共不出候事、

昨日は和田氏へ出夜入過帰ル、供重久龜次郎、後川畑平之助、

今日も和田氏へ出夜入時分帰ル、供川畑平之助ニ而候、

今日参候人、森川孫八郎殿、大鐘過上村半助殿、今晚迄永山覺右衛門殿、

六月廿九日、晴天、

今日も和田氏へ出夜入過帰ル、供角野喜之助、後川畑平之助ニ而候、

今日参候人、九ッ後鳥丸清保、

七月朔日、晴天、

今日寄詰ニ而致出勤、八ッより帰ル、供山次左衛門、後角喜之助ニ而候、

今日参候人、森川孫八郎殿、七ッ後より晚迄鎌田喜平太殿、

今日も和田氏へ出夜入過帰ル、供川畑平之助、

七月二日、晴天、

今日も寄詰ニ而四ツより致出勤八ツより帰ル、供山次左衛門、後角野喜之助、

今日参候人、八ツ後濱田本覺院、

七月三日、晴天今晚夜明時分前、

今朝は犬追物江は不出候事、

今日参候人、森川孫八郎殿、

今日も和田氏へ出、夜入過より桂宇右衛門様御方ニ而軍書有之筈ニ而参筈候処、間違ニ相成中山氏へ可参と取次之聞間違ニ而、中山氏へ参候処留居ニ而、夫より桂家へ参軍書有之、四ツ前帰ル、供角喜之助、後川畑平之助ニ而候、

七月四日、半天、

今日より詰前ニ而致出勤、八ツより帰ル、供角野喜之助、

今日も和田氏へ出夜入時分帰ル、川畑平之助ニ而候、

今日参候人、今晚上村半助殿、

七月五日、晴天、

今日は少々病氣ニ而詰前之儀は小林外記殿江其段申遣置候事、

今日病氣ニ而相良淡齋殿宅へ申遣候処、弟子久米田良仙殿被参候事、

今日参候人、今晚永山覺右衛門殿、

七月六日、晴天七ツ後一時雨雷ナル、

今日迄ハ詰前義岡藏人殿江相頼候事、

今日講釈式日病氣ニ而断申遣候事、

今日参候人、森川孫八郎殿、

七月七日、晴天、

今日は四ツ前より致出勤、九ツ御暇ニ而帰ル、出掛赤松主水様御方へ参候、供角野喜之助、

今日参候人、八ツ後相良氏、七ツ後上村半助殿、九ツ過湯地喜兵衛殿、

七月八日、晴天、

今日も四ツより致出勤、八ツより帰ル、供角喜之助、

今日参候人、七ツ後より永山氏、八ツ後濱田本覺院、

今日も和田氏へ出夜入過帰ル、供角喜之助、後川畑平之

助、

昨日鑑出し今日取入候事、

七月九日、晴天、

今日も和田氏へ出夜入過帰ル、供角野喜之助、後川畑平

之助、

今日参候人、今晚渡瀬玄伯、

七月十日、晴天、

今日参候人、七ツ後上村半助殿、夜入前より五ツ時分鐘

田甚助殿、

七月十一日、晴天、

今日参候人、森川孫八郎殿、

今日少々病氣ニ有之相良淡齋殿宅へ申遣候処、弟子久米

田良仙殿被参候事、

今日文書箱へしよふの入候事、

七月十二日、晴天、

今日九ツ前相良七郎左衛門殿被参候ニ付、致同道弓之事

江出、八ツ前森川孫太夫殿致同道帰ル、供川畑平之助、

今日は和田氏江出夜入時分帰ル、供川畑平之助、

今日参候人、今晚湯地助左衛門殿、初而鎌田十郎殿・桂

權七郎様ニ而候、

七月十三日、晴天八ツ時分雨、

今朝六ツ過より犬追物江出不射五ツ前帰ル、供重久龜次

郎ニ而候、

今日参候人、森川孫八郎殿、九ツ過永山覺右衛門殿、

七月十四日、晴天八ツ時分雨、雷少々鳴ル

今日福昌寺御手長ニ而五ツ過より參、八ツ過相すみ夫より(延カ)廷寿堂江參、墓江も參、嶋津右膳殿致同道帰ル、供角野喜之助、

今日参候人、上村半助殿、今晚鎌田藤次郎様、

七月十五日、晴天八ツ前一刻雨、

今日七ツ後より南林寺墓江馬ニ而參、桂家墓・伊地知氏墓、

(島津貴久)大中様後墓江も參、大鐘過帰ル、供角野喜之助ニ而候、

大鐘時分より森田喜助、福昌寺墓・興国寺墓江為参候事、

今日参候人、森川孫八郎殿、

七月十六日、晴天、

今日講釈式日ニ而黒田氏御出、外ニ中山次左衛門殿ニ而候、

今日参候人、森川孫八郎殿、今晚上村半助殿・鎌田十郎

殿、

七月十七日、雨天、

今朝は犬追物江出雨天ニ而直ニ帰ル、供角野喜之助ニ而候、

今日四ツ時分より相良七郎左衛門殿被参候ニ付、致同道弓之事江出不射八ツ過帰ル、供角喜之助ニ而候、

今日は和田氏へ出夜入時分帰ル、供川畑平之助ニ而候、

今日参候人、森川孫八郎殿・濱田本覺院、今晚相良七郎左衛門殿、永山覺右衛門殿、

七月十八日、曇天、

今日も和田氏へ出夜入過帰ル、供川畑平之助ニ而候、

今日参候人、森川孫八郎殿、七ツ後湯地喜兵衛殿、

今日参候人、八ツ前上村氏、

七月十九日、晴天今朝少々雨

今日参候人、八ツ前上村氏、

今日も和田氏へ出夜入時分帰ル、供重久龜次郎ニ而候、

七月廿日、半天夜明前雨、
昼時々雨

今朝六ツ時分より馬乘江出候処雨ニ而無之、夫より相良

七郎左衛門殿同道ニ而候ニ付、直ニ伊集院清右衛門殿宅

江弓稽古江参、五ツ過帰ル、供喜之助ニ而候、

今日参候人、森川孫八郎殿、四ツ時分相良氏、四ツ後上

村氏、

今日も和田氏へ出夜入過帰ル、供角野喜之助、後川畑平

之助ニ而候、

七月廿一日、半天時々雨、

今日米初而かる事、

今日参候人、森川孫八郎殿、

七月廿二日、雨天八ツ時分晴レ、
夜入前少々雨

今日参候人、

今日は和田氏江出夜入時分帰ル、供角野喜之助ニ而候、

七月廿三日、晴天、

今朝六ツ過より犬追物江出射四ツ後帰ル、供角野喜之助

ニ而候、

今日も和田氏江出夜入時分帰ル、供角喜之助、後重久龜

次郎、

今日参候人、森川孫八郎殿、八ツ後鳥丸清保、

七月廿四日、晴天、

今朝六ツ時より馬乘江出六ツ過帰ル、供重久龜次郎ニ而

候、

今晚軍書式夜之処ニ中山氏支ニ而七ツ後有之、桂式部様

中山氏御出、夫より手習式日も有之手習もいたし、夜入

前相すミ候事、

今日参候人、森川孫八郎殿・濱田本覺院、

七月廿五日、半天日入前少々雨、

今日茂和田氏江出夜入過帰ル、供重久龜次郎ニ而候、
今日参候人、森川孫八郎殿、八ッ後永山清兵衛殿、

七月廿六日、晴天、

今朝六ツ時より馬乗江出乗、五ッ前帰ル、供重久龜次郎
ニ而候、

今日は講釈は黒田氏支ニ而無之候、

今日も和田氏へ出夜入時分帰ル、供川畑平之助ニ而候、
今日参候人、今晚永山覺右衛門殿・相良七郎左衛門殿、

七月廿七日、晴天、

今朝六ツ過より犬追物江出射、四ツ時分相濟夫より弓之
事へ出不射、八ッ過帰ル、供角喜之助ニ而候、

今日も和田氏へ出夜入時分帰ル、供川畑平之助ニ而候、
今日参候人、上村半助殿、

七月廿八日、半天、

今朝六ツ時より馬乗江出、六ッ過帰ル、供重久龜次郎ニ
而候、

今日四ツ前より御礼日ニ而致出勤、四ツ後相濟夫より八
朔之持参太刀稽古有之、八ッ前相濟候ニ付寄詰いたし、

八ッより帰ル、供山次左衛門ニ而候、

八ッ過より原良屋鋪江中山次左衛門殿致同道手習道具持
越、夜入過帰ル、供喜之助、帰り懸中山氏御出ニ而候、

今日参候人、今朝堀四郎左衛門様、上村半助殿・中山次
左衛門殿、

七月廿九日、晴天、

今日より詰前ニ而出勤いたし、八ッより帰ル、供角喜之
助、

今日ハ和田氏へ出席いたし、夜入時分帰ル、供喜之助、
後平之助ニ而候、

今日参候人、

今日少々不快ニ而御隠居江ムキ生田シウケン被參候ニ付
相頼見候事、

七月晦日、半天、

今朝六ツ時より馬乘へ出六ツ過帰ル、供重久龜次郎ニ而
候、

今日も詰前ニ而四ツより致出勤、八ツより帰ル、供角の^(野)
喜之助ニ而候、

今日も和田氏へ出夜入時分帰ル、供川畑平之助ニ而候、
今日參候人、今晚渡瀬玄伯、

八月朔日、晴天、

今日五ツ時より出勤いたし持參太刀いたし、詰前ニ而九
ツより帰ル、供山次左衛門・角野喜之助ニ而候、

今日參候人、九ツ後鎌田權右衛門殿、八ツ後上村半介殿・
永山覺右衛門殿・相良七郎左衛門殿、南より八朔之祝儀
ニ永山和泉參候事、

八月二日、晴天今朝少々雨、

今朝六ツ時より馬乘江乘九ツ前帰ル、供重久龜次郎ニ而
候、

今日も詰前ニ而致出勤、八ツより帰ル、供角野喜之助ニ
而候、

今日日入前より大河平八次殿被參、致同道せんがん寺江
參、夜入時分帰ル、供喜之助ニ而候、

今日參候人、森川孫八殿、日入前大河平八次殿、
和田氏江は得不出候事、

八月三日、半天四ツ後雨、後半天、

今日谷山遠馬同席中有之、四ツ後より出張、日入過帰ル
供角喜之助、

今日詰前小林外記殿へ相頼、外記殿一人ニ而候、詰前今
日迄ニ而候事、
今日參候人、

八月四日、雨天、

今日晚暮時分より中山氏江參、九ツ過歸ル、供山次左衛門ニ而候、

今日參候人、

八月五日、半天、

今日は和田氏へ出夜入過歸ル、供角喜之助、後川畑平之助ニ而候、

今日參候人、森川孫八郎殿、七ツ後上村氏・永山氏・村田長左衛門殿、

八月六日、半天、

今朝馬乗ニ出、五ツ前歸ル、供川畑與八、

今日參候人、今朝上村氏・永山氏・相良七郎左衛門殿・

森川孫八殿、八ツ後も相良七郎左衛門殿、

今日講釈式日ニ而黒田氏御出、外ニ中山次左衛門殿・同才之丞殿・吉田孫右衛門殿ニ而候、

八月七日、半天少々雨、

今朝六ツ過より犬追物江出射候而四ツ後歸ル、供角野喜之助ニ而候、

歸り候而直ニ弓之事江出不射直ニかへる、供喜之助ニ而候、

今日參候人、

今日桂家軍書式日ニ而七ツ後より參、大鐘過相濟夫より和田氏へ出、夜入時分歸ル、供喜之助、後平之助、軍書

ハ式夜ニ而候得共昼有之候事、

八月八日、半天、

今朝馬乗へ出六ツ過歸ル、供重久龜次郎ニ而候、

今日參候人、今朝大河平八次殿、四ツ後森川孫太夫殿、

八ツ後永山氏、七ツ後大河平氏、

今日も稽古江出夜入過歸ル、供重久龜次郎ニ而候、

八月九日、晴天、

今日寄詰ニ而出勤いたし八ツより帰ル、供山次左衛門、

後角喜之助、

今日も和田氏江出夜入過帰ル、供角野喜之助、後川畑平之助ニ而候、

今日参候人、七ツ後上村半助殿、森川孫八郎殿、

八月十日、雨天朝ハ少々ノ雨、後半天。

今朝馬乘江出五ツ前帰ル、供川畑與八ニ而候、

今日も和田氏へ出夜入過帰ル、供重久龜次郎ニ而候、

今日参候人、森川孫八郎殿、七ツ後より晚迄相良七郎左衛門殿、

八月十一日、半天四ツ後より少々雨、

今日参候人、四ツ後角野喜左衛門、七ツ後上村氏、六ツ

時分鎌田藤之助殿、

今日は雨天ニ而稽古江は不出候事、

八月十二日、半天、

今日高章院様(鎌田正昌)十三年忌法事いたし、五ツ時より延寿堂江

参四ツ後相濟、夫より南林寺墓所へ参、九ツ時分帰ル、

供角喜之助、

外ニ用頼上村氏、役人山次左衛門参候事、

今日客人ニは桂宇右衛門様・森川孫六様・永山氏・上村氏、右人数ニ而候、鎌田權右衛門殿は一刻被参支ニ而被

帰候、

八月十三日、晴天朝少々雨、馬血差致候事。

今朝犬追物江出席いたし、郷犬入候得共不射、夫より山岡氏より詰前頼ニ而出席いたし、四ツ打取候より出八ツ

より帰ル、供角野喜之助ニ而候、

今日は和田氏江出夜入時分帰ル、供重久龜次郎ニ而候、

今日参候人、八ツ後一刻中山次左衛門殿、

八月十四日、晴天今日より馬乗、昼稽古ニ而候。

今日島津直江殿より詰前請合候得共山岡氏へ相頼候、

田藤之助殿ニ而候、

今晚軍書式夜ニ而候処晩ハ中山氏支ニ而、七ツ時分より

桂式部様・同多七郎様御出、次左衛門殿ハ八ツより御出

ニ而手習いたし、夫より軍書有之七ツ過相濟候、

八月十七日、半天七ツ後より雨、

今日より犬追物昼稽古ニ而四ツ時分より出不射、夫より

弓之事江出射八ツ過帰ル、供角喜之助ニ而候、

今日参候人、一刻鎌田甚助殿・湯地喜兵衛殿、八ツ後上

今日参候人、八ツ後一刻相良氏、七ツ後一刻上村氏、

村半助殿、

今日ハ御礼日ニ而候得共出す候事、

今日は雨天ニ而稽古へは不出候事、

八月十五日、晴天今日は御目見有之候事

今日も和田氏へ出夜入前帰ル、供重久龜次郎、

八月十八日、雨天、

今日参候人、八ツ後より七ツ後迄相良七郎左衛門殿、

今日参候人、七ツ後より晚四ツ過迄相良七郎左衛門殿、

雨天ニ而稽古へは不出候事、

八月十六日、晴天、

今日講釈式日ニ而七ツ後より黒田氏御出、外ニ中山次左

八月十九日、晴天、

衛門殿・同才之丞殿・吉田孫右衛門殿・湯地助左衛門殿

今日右膳殿より詰前頼ニ而致出勤、八ツより帰ル、今日

ニ而候、

は御目見ニ而席詰有之候ニ付上下ニ而致出勤候、

今日参(マ)、濱田本覺院、八ツ後永山覺右衛門殿、七ツ後鎌

今日は和田氏へ出夜入時分帰ル、供川畑平之助ニ而候、

出勤之供は角野喜之助ニ而候、

今日参候人、

八月廿日、半天夜明前雨、ハツ前より雨天

今日参候人、森川孫八郎殿、

八月廿一日、雨天朝雨、四ツ時分より、後雨天

今日参候人、今朝上村氏、八ツ後より晚迄永山氏、今晚
上村氏、七ツ後より夜入過迄相良七郎左衛門殿、八ツ後
角喜左衛門、

八月廿二日、半天今日は御目見有之候、

今日は和田氏へ出夜入過帰ル、供川畑平之助、
今晚北郷主膳殿・川上孫左衛門殿・平田平太左衛門殿・
嶋津直江殿・宮之原式部殿・島津久馬殿・山岡右京殿・
伊地知清之進殿、右人数脇より帰り掛ニ御出ニ而五ツ過
御帰りニ而候、

今日参候人、

八月廿三日、雨天、

今晚は桂家軍書ニ而大鐘過より参、夜入五ツ前帰ル、式
夜ニ而候得共、中山氏支ニ而昼七ツ後有之事、供角喜之
助、後山次左衛門ニ而候、

今日参候人、森川孫八郎殿、

八月廿四日、晴天、

今日参候人、今朝上村半助殿、
今日より詰前ニ而致出勤、出掛平田平太左衛門殿江用事
有之参、夫より出勤いたし八ツ前より御暇いたし、肝付
家ニ而刀目利有之参、夜入過帰り掛平太左衛門殿宅へ参、
九ツ前宮之原式部殿・山岡右京殿同道ニ而帰ル、供角野
喜之助ニ而候、

八月廿五日、半天、

今日も致出勤八ツより帰ル、供喜之助、

今日は和田氏へ出候得共稽古無之直ニ帰ル、供喜之助、

今晚礮前江花火有之、夜入過より相良氏同道いたし（備大）

中様下へ差越候得共相濟候ニ付直ニ帰ル、供山次左衛

門ニ而候、

今日参候人、森川孫八郎殿、八ツ後一刻相良氏、

八月廿六日、半天時々少々ツ、雨、

今日も致出勤八ツより帰ル、供喜之助、

今日参候人、八ツ後一刻上村氏、今晚桂權七郎様、

今日講釈式日ニ而黒田氏御出、外ニ中山才之丞殿・村田

長左衛門殿・吉田孫右衛門殿・湯地助左衛門殿ニ而候、

今晚四ツ時分少々不快ニ有之相良淡齋殿宅へ申遣候処、

弟子松山三卜殿被参候事、

八月廿七日、晴天、

今日は病気茂能候得共、詰前之儀は外記殿江病氣之段頼

遣置候事、

犬追物江茂不出候事、

今日参候人、森川孫八郎殿、

今日も相良淡齋殿宅へ申遣候処、弟子松山三卜殿被参候

事、

八月廿八日、晴天、

今日は四ツ前より致出勤八ツより帰ル、供角野喜之助ニ

而候、詰前今日迄、御出座有之候、初而之御目見有ル、

今日参候人、森川孫八郎殿、八ツ後永山覺右衛門殿、今

晚一刻平田平太左衛門殿、

今日は和田氏江出入時分帰ル、供川畑平之助ニ而候、

八月廿九日、晴天、

今日参候人、今朝相良氏、刀拭かた相頼候、八ツ後上村

氏・永山氏ニ而候、

今日も和田氏江出ル、供重久龜次郎、

九月朔日、晴天、

今日右京殿より詰前頼ニ而四ツ前より出勤いたし、八ツより帰ル、御出座有之候、供山次左衛門、

今日より冬袴ニ而候、

角野喜之助今日六日暇申候事、

今日参候人、今朝上村氏・永山氏、八ツ後一刻大河平八次殿、

今日も和田氏へ出ル、供重久龜次郎、

九月二日、晴天、

今日は川上孫左衛門殿より頼ニ而致出勤、八ツより帰ル、供山次左衛門、

今日参候人、今晚夜入過より四ツ過迄山岡右京殿・相良七郎左衛門殿、

九月三日、晴天晩半天、

今日四ツ時分より犬追物へ出、右京殿馬借用いたし一刻

射、八ツ前帰ル、供山次左衛門ニ而候、

今日も和田氏江出ル、供重久龜次郎、

昨日も和田氏へ出日入過帰ル、供重久龜次郎、留をくれ、今晚六ツ過より北郷家弓式夜江参、九ツ過帰ル、供山次左衛門、

今日参候人、八ツ後相良氏、

九月四日、晴天、

今日九ツ過より□木場々江魚取ニ相良七郎左衛門殿・森川孫八郎殿・鎌田甚助殿致同道差越、七ツ過帰ル、

今日参候人、四ツ後鎌田甚助殿・森川孫八郎殿・相良七郎左衛門殿、

今日は和田氏へは不出候事、

今日魚取候人は山次左衛門、下人一人、右二人ニ而取候、少々ハ取出し候、供は川畑平之助ニ而候、

九月五日、晴天、

昨日軍書式夜今日七ツ後有之、中山氏八ツ後より御出ニ
而手習いたし、七ツ後より桂式部様・同多七郎様御出ニ
而軍書読致、夜入前相濟候、中山氏ハ五ツ過御帰り、桂
氏ハ夜入前ニ而候、

今日中參候人、森川孫八郎殿、七ツ後より四ツ過迄上村
半助殿、今晚六ツ過より四ツ過迄初而桂長左衛門殿、
今日も和田氏へは不出候事、

九月六日、晴天、

今日參候人、森川孫八郎殿、七ツ後より大鐘過迄相良氏・
松山三卜殿、

当分黒田氏(編 池)とふちニ而講釈無之候事、

今日は和田氏へ出ル、供平之助、

九月七日、晴天、

今日四ツ時分より犬追物へ出不射、夫より弓之事江出不
射、八ツ前帰ル、供山次左衛門ニ而候、

今日參候人、今朝相良氏、八ツ後永山覺右衛門殿、今朝
一刻津留與右衛門殿、

今日も和田氏江出ル、供川畑平之助、

九月八日、晴天、

今日中參候人、今朝より八ツ前迄相良七郎左衛門殿、七
ツ後より晚四ツ過迄北郷主膳殿・重久猪八郎殿・相良氏
弓ニ御出、夜入過より右京殿江申被遣候処御出、一所ニ
御帰ニ而候、

今日は稽古へは不出候事、

九月九日、晴天、

今日五ツ半時分より致登城、

御出座有之、四ツ後相濟、夫より桂權七郎様・同宇右衛
門様・赤松主水様御宅江一刻ツ、罷出、九ツ過帰ル、供
山次左衛門・角野喜之助、

今日中節句祝儀參候人、今朝相良七郎左衛門殿、四ツ後

鎌田權右衛門殿、八ッ前上村半助殿、七ッ後鎌田仁仲太
殿、
今日は和田氏江出ル、供川畑平之助、

九月十日、晴天、

今日中参候人、森川孫八郎殿、七ッ過より大鐘過迄相良
氏、

今日茂和田六郎殿宅へ出ル、供川畑平之助ニ而候、

九月十一日、晴天、

今日参候人、八ッ後より晚四ッ過迄相良氏、夜入時分よ
り四ッ過迄大河平八次殿・上村半助殿・永山覺右衛門殿、
今日は稽古は無之候事、

九月十二日、晴天、

今日四ッ後より弓之事江出不射八ッ過帰ル、供角野喜之
助ニ而候、

今日中参候人、今朝一刻相良氏、九時分鎌田甚助殿、
今日は稽古江出候得共無之候ニ付、夫より中山氏へ参五
ッ過帰ル、供平之助、

九月十三日、晴天、

今日は犬追物へは不出候事、

今日中参候人、九ッ過鎌田甚助殿、夜入前より同過迄大
河平八次殿、夜入前一刻村田長左衛門殿、夜入過一刻河
野十太郎殿、村田氏・河野氏ハ鎧借ニ被参候ニ付二人共
遣候事、

今日茂稽古無之候事、

今日八ッ後より種子鳴直太郎殿江鉄炮弟子付いたし、津
留與右衛門殿被参致同道参、七ッ過帰ル、供角野喜之助
ニ而候、

九月十四日、晴天、

今日参候人、今朝相良氏・永山氏、八ッ後より夜入前迄

相良氏・森川孫八郎殿、

九月十七日、晴天、

昨日之桂家軍書今晚有之、暮時分より参五ツ時分帰ル、
供川畑平之助、

四ツ時分より犬追物へ出不射、八ツ時分より馬乗江出八
ッ過帰ル、川上家前ニ而有之候、供角喜之助、

今日も稽古は無之候事、

今日中参候人、今晚大河平八次殿、昼森川孫八郎殿、

九月十五日、晴天、

九月十八日、晴天、

今日は御礼日ニ而候得共不出候事、
昨大鐘時分鎌田甚助殿被参候、留をくれ、

今日五ツ時分より花尾江参、相良氏・大河平八次殿同道
ニ而帰り掛脇へ立寄、夜入五ツ時分帰ル、供角喜之助、

今日只今寄話申来候得共、病氣之段申遣置候事、
今日参候人、七ツ後より晚迄相良氏・森川孫八郎殿、
御か様中村川田家屋敷へ御出ニ而候、

今日参候人、今晚永山覺右衛門殿、脇より帰り掛ニ北郷
主膳殿・相七郎(良腕)左衛門殿、
当月十四日より山次左衛門暇申今日より出候事、

九月十六日、晴天、

九月十九日、半天後雨、

今日(島津久徳)道忍様(島津久徳)五百五十年御法事御能有之、五ツ時より致
登城七ツ過相濟帰ル、供角野喜之助、
今日参候人、今朝一刻相良氏、昼鎌田甚助殿、

今日参候人、八ツ後より七ツ後迄中山氏、七ツ後上村氏、
晚相良氏・森川孫八郎殿、

九月廿日、半天時々雨、

今日より詰前ニ而致出勤、八ツより帰ル、供角野喜之助、
今日中参候人、今晚相良氏、昼より七ツ後一刻大河平八
次殿、

九月廿一日、半天時々雨、

今日も致出勤、八ツより馬乗ニ出八ツ過帰ル、供角喜之
助、

今日参候人、八ツ後一刻相良氏・森川孫八郎殿、

日入前より桂權七郎様御方へ参夜入過帰ル、供重久龜次
郎、

九月廿二日、晴天、

今日も致出勤、八ツより帰ル、供喜之助、

今日中参候人、今朝上村氏、大鐘過より暮時分迄森川孫
太夫殿、昼同孫八郎殿、

九月廿三日、晴天、

今日弓之事大目附衆見分有之五ツ過より出、四ツ時分よ
り致出勤、四ツ後より犬追物別勤ニ而犬追物へも一刻出、
夫より弓之事へ出、七ツ前帰ル、供角喜之助、

今日方祭(ホゼマツリ)ニ而八ツ後より客人有之候人数、桂權七郎様・
町田孫右衛門殿・鎌田喜平太殿・上村氏・永山氏ニ而候、

九月廿四日、晴天、

今日も詰前ニ而致出勤、八ツより帰ル、供角喜之助、

今日ハ軍書式日ニ而日入前より桂式部様・同多七郎様御
出、夜入前より中山氏御出、夜入過相濟候事、

今日中参候人、森川孫八郎殿、八ツ後より七ツ後迄小森
八左衛門殿・永山覺右衛門殿、

九月廿五日、晴天、

今日鎌倉流谷山遠馬有之、四ツ時分より演武館揃ニ而差
越、日入前帰ル、供山次左衛門、

今日中参候人、鎌田喜平太殿・鎌田藤之助殿・上村半助

殿・角喜左衛門・濱田本覺院、当月廿二日も喜左衛門参候、

九月廿六日、晴天夜明前雨

今日寄詰ニ而致出勤、八ツより鉄炮場江一刻参七ツ過帰ル、供角喜之助、四ツ之供は山次左衛門、
今日中参候人、森川孫八郎殿、

九月廿七日、晴天、

今日四ツ時分犬追物江出射、弓之事へ茂出射、夫より馬乗ニも出七ツ前帰ル、供角喜之助、
今日中参候人、森川孫八郎殿、今朝相良七郎左衛門殿、今晚相良氏、

九月廿八日、晴天時々雨少々、

今日御礼日ニ而致出勤、夫より寄詰いたし、八ツより帰リ掛黒田新左衛門殿御役替ニ付祝儀ニ差越帰ル、供角野

喜之助ニ而候、

今日は和田氏江出日入過帰ル、供重久龜次郎、
今日中参候人、七ツ後一刻上村氏、

九月廿九日、晴天、

今日中参候人、今朝相良氏、九ツ後より八ツ後迄相良氏・森川孫八郎殿・永山氏・上村氏、
八ツ前より馬乗江出八ツ後帰ル、供角喜之助、
七ツ時分より鉄炮場へ出初而六筒射、弓場打はづし候事、
供同人、

九月晦日、半天夜入前より雨天

今日寄詰ニ而致出勤、八ツより帰ル、供角喜之助、
今日中参候人、今朝上村氏・永山氏、昼鳥丸清保、
昨日南村より用事ニ付森田主左衛門参候事、
今日は稽古江は不出候事、

十月朔日、半天後晴天、

今日は御礼日ニ而候得共不出候事、

今日は稽古江出ル、供川畑平之助、

今日中参候人、

八ッ前より馬乘江出八ッ後帰ル、供角野喜之助、

十月二日、晴天、

今日寄詰申来候得共小林外記殿江相頼候事、

今日も和田氏へ出ル、供川畑平之助ニ而候、

今日中参候人、

十月三日 雨天四ッ後より半天、九ッ過
より後晴天、後雨天、

今日犬追物犬取ニ而朝六ッ時分より出、雨天ニ而無之九

ッ過帰ル、供川畑平之助、後角喜之助ニ而候、

今晚は桂家軍書式夜ニ而夜入前より差越、五ッ過帰ル、

供喜之助、後平之助、

今日中参候人、四ッ後鎌田甚助殿、大鐘後上村半介殿、

十月四日、半天、

今日中参候人、今朝相良氏、八ッ後永山氏・上村氏・相

良氏、夜入時分より四ッ時分迄相良氏、

今日も稽古江出ル、角喜之助供也、後川畑平之助也、

十月五日、晴天、

今日馬乘大番頭見分有之、四ッ時より出八ッ前相濟、夫

より吉野江弓取ニ差越、正真軒江立寄七ッ過帰ル、供喜

之助也、伊地知權左衛門殿・相良七郎左衛門殿同道ニ而

候、

今日も稽古江出ル、供重久龜次郎也、

今日中参候人、今朝桂長左衛門殿、

今朝より黒田氏江素読江参候、供川畑平之助也、

十月六日、半天、

今朝も黒田氏江参候事、供平之助也、

四ッ後より天神場々川上家江用事有之一刻参、帰り懸中

山氏へ参八ツ時分帰ル、供角喜之助也、

今日講釈式日ニ而黒田氏御出、外中山才之丞殿・吉田孫右衛門殿・湯地助左衛門殿ニ而候、

今日中参候人、八ツ後上村氏、

十月七日、晴天、

今日犬追江四ツ後より出不射、夫より馬乗江出八ツ後帰ル、供角野也、

今日中参候人、七ツ後一刻相良氏、夜入過より四ツ時分迄柴助七殿・上村氏・相良氏、

今日も和田氏へ出、日入過帰り掛森川氏江一刻参帰ル、供重久龜次郎也、

十月八日、晴天、

今日は川上孫左衛門殿より頼ニ而致出勤、八ツより帰ル、供角喜之介也、

今日中参候人、今朝相良氏、八ツ後一刻柴助七殿・上村

半助殿、昼森川孫八郎殿、

今日は和田氏江出候得共無之直ニ帰ル、供角喜之助也、

十月九日、晴天、

今朝は黒田氏へ差越候、供川畑也、

八ツ前より馬乗ニ出八ツ後帰ル、供角也、

今日中参候人、八ツ後角喜左衛門、七ツ前より日入時分迄相良氏、夜入前より四ツ時分迄桂權七郎様・市來清次郎殿、七ツ後一刻湯地喜兵衛殿、

十月十日、晴天、

森田喜助代り長嶺喜兵衛、先達而参候付今日喜助帰候事、今日中参候人、森川孫八郎殿、八ツ後永山氏・上村氏、七ツ時分より夜入四ツ過迄弓ニ高橋務殿・鎌田勘左衛門殿・相良七郎左衛門殿、大鐘時分より暮時分迄森川孫太夫殿、

十月十一日、晴天、

今朝六ツ時より朝稽古江出、夫より黒田氏江差越帰ル、

供川畑平之助也、

今日中参候人、今朝相良氏、

八ツ前より馬乗江出、夫より上射納ニ付一刻参見直ニ帰

ル、供角喜之助也、

大鐘時分より稽古江出ル、供川畑平之助也、

十月十二日、晴天、

今日も和田氏江出ル、供重久龜次郎、後川畑平之助也、

夜入過市來清十郎殿座頭ビワ引有之参、七ツ過帰ル、供

山次左衛門也、

今日参候人、森川孫八郎殿、

(マ、)
十二月十三日、晴天、

今日四ツ時分より犬追物江出席いたし、九ツ時分より南

林寺墓江参、桂家墓・伊地知氏墓江も参、八ツ前犬追物

場へ差越不射八ツ後帰ル、供角野也、

馬乗は天神場々ニ而有之候ニ付不出候事、

御母様夜明前より華棚江御出被成候事、

今日中参候人、八ツ後より七ツ過迄相良氏、今晚森川孫

八郎殿、

十月十四日、晴天、

今朝六ツ時より朝稽古江出五ツ時分帰ル、供川畑平之助

也、

七ツ後より堀四郎左衛門殿宅江参、夫より稽古江出帰ル、

供角也、後川畑也、

今日参候人、今晚森川孫八郎殿、

十月十五日、半天、

今朝も稽古江出、夫より黒田氏江差越帰ル、供川畑平之

助也、

今日より詰前ニ而致出勤八ツより帰ル、供角喜之助也、

今日中参候人、八ツ後永山氏・上村氏、七ツ後森川孫八郎殿、

今日も和田氏へ出ル、供川畑平之助也、

十月十六日、晴天、

今朝も稽古江出、黒田氏江差越帰ル、供平之助也、

詰前ニ而致出勤、八ツより下射納ニ而出不射直ニ帰ル、

供角喜之助也、

今日中参候人、四ツ後鎌田藤之助殿、

今日も和田氏江出ル、供川畑平之助也、

十月十七日、晴天、

今日茂致出勤、九ツ過より犬追物別勤ニ而犬追物場へ出

不射、馬乗江出八ツ後帰ル、供角野喜之助也、

今日も和田氏江出ル、供川畑平之助也、

今日中参候人、七ツ後森川孫八郎殿、

十月十八日、晴天、

今朝茂和田氏江出、黒田氏へ参帰ル、供重久龜次郎、後

川畑平之助也、

今日も致出勤八ツより帰ル、供角也、

今日中参候人、八ツ後永山氏、

昨十六日講釈今日有之黒田氏御出、外ニ中山次左衛門殿・

同才之丞殿ニ而候、

十月十九日、半天、

今日茂致出勤、八ツより馬乗江出帰ル、供角野喜之助ニ

而候、

今日茂七ツ後より稽古江出ル、供川畑平之助也、

今日中参候人、森川孫八郎殿、今晚鎌田十郎殿、

十月廿日、半天、

今日和田家稽古大番頭見分有之、四ツ時分より演武館江

出四ツ後帰ル、供角喜之助ニ而候、

今日(麻射)きしや場ニ而だきう有之候ニ付、可出旨川上家より

通達有之候得共不出候事、

今日平田家門弟中弓出張有之候得共不出候事、

今日中参候人、森川孫八郎殿、今朝七ツ後大鐘後より晚

迄上村氏、

今日も和田氏江出ル、供川畑也、

十月廿一日、半天八ツ後晴天、夜入四ツ時分より雨、

今朝稽古江出黒田氏江差越帰ル、供重久龜次郎ニ而候、

今日中参候人、今朝相良氏、八ツ後永山氏、今晚森川孫

八郎殿、

今日和田氏江誓詞有之八ツ後より参、七ツ後帰ル、供角

野也、

八ツ前より馬乗江出八ツ後帰ル、供角野喜之助也、

今日茂稽古江出ル、供川畑也、

大鐘過曾木權之助殿刀見ニ一刻被参、夫より和田氏へ致

同道出ル、

十月廿二日、半天、

今朝は稽古江出候得共出ル人無之直ニ帰ル、供川畑平之助也、

今日平田平太左衛門殿より詰前頼ニ而致出勤、八ツより帰ル、供角野也、

今日も和田氏江出ル、供川畑平之助也、

今日中参候人、四ツ後鎌田甚助殿、七ツ後一刻中山次左

衛門殿、

十月廿三日、晴天、

今朝稽古へ出黒田氏へ差越帰ル、供重久龜次郎、後川畑

平之助也、

四ツ時分より犬追物江出不射九ツ過帰ル、供角喜之助也、

今日中参候人、今朝大河平八次殿、七ツ後森川孫太夫殿、

今晚相良氏・森川孫八郎殿、

今日も和田氏江出ル、供重久龜次郎、

十月廿四日、半天晴半晩少々雨也

今日嶋津直江殿より詰前頼ニ而致出勤、八ツより帰ル、
供角喜之助也、

今朝稽古江出ル、供平之助也、

今日軍書式日ニ而大鐘時分より桂式部様・同太七郎様御
出、中山氏は七ツ後より御出ニ而手習少々いたし、夫よ
り軍書読いたし候、暮過相濟候事、

今日中参候人、

十月廿五日、半天時々雨、夜入、過より大雨、雷ナル、

今朝茂稽古江出黒田氏差越帰ル、供川畑平之助也、

今日宮之原家江同席中客人有、八ツ後より山岡氏江参致

同道差越、五ツ過帰ル、供角喜之助也、

今日参候人、上村半助殿、

十月廿六日、半天時々少々雨、

今日中参候人、今朝相良氏、七ツ後曾木權之助殿・森川

孫太夫殿、昼同孫八郎殿、今晚永山氏、

今日和田氏江門弟中客有之、八ツ後より森川孫太夫殿・
同孫八郎殿・仁禮善左衛門殿・山本彌太郎致同道差越候
処、皆上下ニ而候ニ付袴ニ而参候間、無是非五人共ニ相
帰り候事、供角喜之助、

今日講釈は和田氏ニ参答ニ而断申遣候事、

十月廿七日、半天七ツ後より少々雨、

(島津重豪参)

今日慈光院様三十三回忌御法事ニ而、御手長ニ而六ツ過
より出相勤、八ツ後相濟帰ル、供角喜之助也、出懸犬追
物江一刻出ル、老人は山岡右京殿ニ而候事、

今日は稽古江出候得共雨天ニ而無之候、供川畑平之助也、

今日中参候人、今晚相良氏・森川孫八郎殿、

十月廿八日、半天時々少々雨、

今日は義岡藏人殿詰前頼ニ而致出勤、八ツより帰ル、供
角喜之助也、

今朝は黒田氏へ差越候、供川畑平之助也、

今日は和田氏江出候得共雨天ニ而稽古無之、直ニ帰り又出、稽古無之夜入時分帰ル、供川畑平之助、後重久龜次郎ニ而候、

郎ニ而候、

今日中参候人、七ツ後上村氏、今晚相良氏・森川孫八殿、

七ツ後角喜左衛門、

十月廿九日、半天、

今朝稽古江出五ツ過帰ル、供川畑平之助也、

廿六日講釈今日有之黒田氏御出、外ニ中山次左衛門殿・

同才之丞殿・湯地助左衛門殿ニ而候、

九ツ過より平田家演武館ニ而出、八ツより馬乘江出帰ル、

供角喜之助、

今日中参候人、

十一月朔日、半天七ツ後少々ツ、雨、

今朝茂稽古江出黒田氏へ差越帰ル、供川畑平之助也、

今日は御礼日ニ而候得共不出候事、

今日茂和田氏江出ル、供川畑也、

今日中参候人、森川孫八郎殿、

十一月二日、雨天、

九ツ過より馬乘江出候得共雨ニ而直ニ帰ル、供角喜之助也、

今日中参候人、今晚森川孫八殿、

十一月三日、晴天、

今朝は黒田氏差越候、供川畑平之助也、

四ツ後より犬追物江出不射、直ニ桂權七郎様御宅へ一刻

参、九ツ過帰ル、供角野喜之助也、

今日中参候人、八ツ後鳥丸清保・永山覺右衛門殿、大鐘

過相良氏、今晚同人、

今日稽古江出ル、供重久龜次郎、後川畑平之助也、

十一月四日、晴天、

今朝稽古江出黒田氏へ差越帰ル、供川畑平之助也、

八ツ前より馬乗江出八ツ後帰ル、供角喜之助也、

今日中参候人、七ツ後一刻中山氏、大鐘時分上村氏・永山氏・森川孫八郎殿、今晚茂一刻中山氏、八ツ後濱田本覺院、

今日桂家軍書式日ニ而大鐘時分より和田氏江一刻参候処出ル人無之、直ニ桂家江参五ツ時分帰ル、供川畑平之助也、

十一月五日、雨天、

今日は和田氏江出ル、供重久龜次郎ニ而候也、

今日中参候人、七ツ後相良七郎左衛門殿・角野喜左衛門、

十一月六日、晴天、

今朝和田氏江黒田氏江参候得共無之、又和田氏へ差越五ツ過帰ル、供川畑平之助也、

今日講釈式日ニ而黒田氏御出、外ニ中山次左衛門殿・同才之丞殿ニ而候、

八ツ前より馬乗江出八ツ後帰ル、供角喜之助也、

今日中参候人、

十一月七日、晴天、

今日寄詰ニ而致出勤、八ツより帰ル、供角野喜之助、

今日は和田氏江出ル、供平之助也、

今日中参候人、七ツ後相良氏、

十一月八日、晴天、

今日馬乗大目附衆見分有之、五ツ前より出八ツ半時分相

濟帰ル、供角野喜之助也、

今日中参候人、四ツ後鎌田藤之助殿、七ツ後角喜左衛門、

大鐘時分一刻森川孫八殿、今晚相良氏、

今日茂和田氏江出ル、供重久龜次郎也、

十一月九日、晴天、

今朝稽古江出五ツ時分帰ル、供川畑平之助也、

今日茂和田氏へ出ル、供重久龜次郎也、

今日中参候人、七ツ後相良氏、今晚相良氏、

十一月十日、雨天、

今日寄詰請合候得共嶋津直江殿江相頼候事、

今日中参候人、森川孫八郎殿、今晚相良氏、

十一月十一日、雨天水少々出ル、八ツ後より半天、

今日より詰前ニ而致出勤、八ツより帰ル、供角野喜之助也、

今日中参候人、今朝相良氏、今晚森川孫八郎殿、七ツ後

永山氏、

今日は和田氏江出ル、供川畑平之助、

十一月十二日、晴天、

今日茂致出勤八ツより帰ル、供角野喜之助也、

今日中参候人、今朝上村氏、八ツ後堀權四郎殿、七ツ後

永山氏・上村氏、晚森川孫八郎殿、

今日茂和田氏江出ル、供重久龜次郎ニ而候、

十一月十三日、半天時々少々、雨、

今日も致出勤八ツより帰ル、供角喜之助也、出懸犬追物

場へ出ル、

今日中参候人、七ツ後相良氏、

今日茂稽古江出ル、供重久龜次郎、

十一月十四日、雨天、

今日茂致出勤八ツより、供角野喜之助也、

今日中参候人、七ツ後永山氏、今晚相良氏・森川孫八郎

殿、

十一月十五日、半天、

今日も致出勤八ツより帰ル、供角野喜之助也、詰前今日迄ニ而候、

今日茂和田氏江出ル、供川畑平也、

今日中参候人、七ツ後森川孫八郎殿、今晚一刻中山次左衛門殿、

十一月十六日、晴天、

今日山岡右京殿より頼ニ而致出勤、八ツより馬乘江出帰ル、供角野也、

今日講釈式日ニ而黒田新左衛門殿御出、外ニ中山次左衛門殿ニ而候、

今日中参候人、今朝相良氏、

十一月十七日、晴天、

四ツ後より犬追物江出不射八ツ前帰ル、供角喜之助也、今日中参候人、九ツ後森川孫八郎殿、今晚同人・大河平八次殿、

今日茂和田家江出ル、供川畑也、

十一月十八日、半天、

今朝は和田氏江出候得共、出ル人少く候ニ付帰ル、供川畑平之助也、

今日氏神祭ニ而華棚より國生直記参候事、

八ツ前より馬乘江出八ツ後帰ル、供角野喜之助也、

先日軍書式日今日ニいたし、七ツ後より桂式部様・同太七郎様・中山氏ハ八ツ後より御出ニ而、手習もいたし候、左候而大鐘過御帰り、中山氏は夜入過御帰りニ而候、今日中参候人、七ツ後より五ツ時分迄上村氏・永山氏、

十一月十九日、半天、

今日寄詰ニ而致出勤、八ツより帰ル、供角野喜之助也、今日中参候人、今朝森川孫八郎殿、八ツ後同人、七ツ後一刻上村氏、今日茂稽古江出ル、供川畑也、

十一月廿日、半天八ッ後晴、

今朝六ッ前より稽古江出、夫より黒田氏江差越帰ル、供川畑也、

四ッ後より平田演武館ニ而出、八ッ前より馬乗江出帰ル、

川上家前ニ而有之候、供角野喜之助、

今日中参候人、八ッ後永山氏・角野喜左衛門、

今日茂和田氏江出ル、供川畑平之助也、前角野喜之助、

十一月廿一日、雨天、

今朝も黒田氏へ差越候、供川畑平之助也、

今日茂和田氏へ出ル、供川畑也、

今日中参候人、七ッ後相良氏・森川孫八郎殿、今晚相良

氏、

十一月廿二日、晴天、

今朝稽古江出ル、供昨ニ同シ、

今日中参候人、今晚相良氏・森川孫八殿、

今日も和田家江出ッ、供川畑也、

十一月廿三日、晴天、

四ッ後より犬追物江出不射八ッ前帰ル、供角野喜之助也、

今日中参候人、八ッ後鳥丸清保、今朝相良七郎左衛門殿、

七ッ後上村氏、

十一月廿四日、晴天夜入過より雨夜中雷ナル

今朝稽古江出黒田氏江参帰ル、供川畑平之助也、

今日中参候人、九ッ後濱田本學院、

昨日桂家軍書式日今日有之、夜入前より参五ッ時分帰ル、

供山次仲左衛門也、

十一月廿五日、雨天水少々出ル、

今日小林外記殿より詰前頼ニ而致出勤、八ッより帰ル、

供角野也、

今日は稽古江出ル、供重久龜次郎也、

今日中参候人、七ッ後森川孫八殿、

十一月廿六日、晴天、

今朝稽古へ出黒田氏江差越帰ル、供重久龜次郎也、

今日和田氏演武館江出四ッ時分より出八ッ前帰ル、供角野也、

今日講釈式日ニ而黒田新左衛門様御出、外ニ中山次左衛門殿・同才之丞殿ニ而候、

今日中参候人、八ッ後永山氏、

十一月廿七日、晴天、

今朝茂和田氏へ出黒田氏江差越帰ル、供川畑平之助也、

今日も和田氏へ出ル、供同人也、前角喜之助也、

今日中参候人、今晚相良氏、

十一月廿八日、雨天、

今日は御礼日ニ而出 御出座有之、九ッ前相濟夫より赤

松主水様御方へ一刻参り帰ル、供角喜之助也、
今日は初而之御目見有之候、

今日中参候人、八ッ後森川孫八殿、今晚相良氏、今朝上村氏、大鐘過一刻中山次左衛門殿、

十一月廿九日、半天、

今日中八ッ後永山氏・上村氏、
今晚中山氏式夜ニ而差越、四ッ過帰ル、供川畑平之助也、

十一月晦日、半天、

八ッ前より馬乗江出候処、日置前ニ而モレ有之差越七ッ時分帰ル、供角喜之助也、

今日は和田氏へ出ル、供川畑平之助也、

今日中参候人、

十二月朔日、半天、

今日は御礼日ニ而出 御出座有之九ッ過帰ル、供角野也、

今日は元服并初而之

御目見有之候事、

今日は稽古江出ル、供重久龜次郎也、

今日中参候人、大鐘過堀四郎左衛門様、

十二月二日、半天、

今朝稽古江出黒田氏へ差越帰ル、供川畑平之助也、

八ツ前より馬乗江出八ツ後帰ル、供角野喜之助也、

今日中参候人、七ツ後森川孫八郎殿、

今日茂和田氏江出ル、供川畑平之助也、

十二月三日、半天八ツ後より晴し、

今日四ツ後より犬追物江出不射、九ツ前より和田氏演武

館ニ而出八ツ後帰ル、供角野也、

今日中参候人、四ツ後永山覺太郎殿・永山覺右衛門殿、

今晚森川孫八郎殿、

今日も稽古江出ル、供川畑也、

十二月四日、半天四ツ後より雨

八ツ前より馬乗江出八ツ後帰ル、供角野喜之助也、

今日軍書式日ニ而七ツ時分より桂式部様・同太七郎様・

中山次左衛門殿御出ニ而、夜入前相済候、

今日中参候人、今朝永山覺右衛門殿、八ツ後森川孫八郎

殿、今朝湯地氏、

十二月五日、半天、

今日御か様少々御不快ニ而相良淡齋殿江申遣候処、久米

田良仙殿被参候也、

今日茂稽古へ出ル、供川畑平之助也、

今日中参候人、

十二月六日、晴天、

今朝和田氏江出黒田氏江参帰ル、供川畑平之助也、

今日より詰前ニ而候処、御歳男稽古ニ而寄詰有之候ニ付、

今日明日迄外記殿一人被出候也、

今日講釈式日ニ而黒田氏御出、外ニ中山才之丞殿・湯地
助左衛門殿ニ而候、

今日中参候人、夜入前より四ツ過迄桂權七郎様、
八ツ前より馬乗へ出八ツ後帰ル、供角也、

十二月七日、半天、

今朝黒田氏へ参ル、供川畑也、

今日中参候人、今朝永山清兵衛殿、今晚相良七郎左衛門

殿、

今日茂稽古江出ル、供川畑也、

十二月八日、雨天、

今朝も和田氏へ出ル、供川畑也、黒田氏江は不参候事、

今日より致出勤八ツより帰ル、供角喜之助也、

夜入時分より山岡氏江参四ツ過帰ル、供重久龜次郎、

今日中参候人、

十二月九日、晴天、

今日茂致出勤八ツより帰ル、供角野喜之助也、

今日は和田氏江出ル、供重久龜次郎、

夜入過より中山氏式夜江参九ツ過帰ル、供同人也、

今日中参候人、

今日 御直元服初而之

御目見有之候事、

十二月十日、半天、

今日茂致出勤八ツより帰ル、供角也、詰前今日迄ニ而候

事、

今日中参候人、八ツ後永山氏・今晚市來清十郎殿・中山

次左衛門殿、大鐘過上村半助殿、

今日茂和田氏江出ル、供重久也、

十二月十一日、晴天、

今朝稽古江出五ツ前帰ル、供重久龜次郎也、

今日有川氏へ能有之五ツ時分より差越、夜入時分帰ル、
供重久龜次郎、後角野喜之助也、

御か様ニ茂御出被成候、夫より上村氏江御出被成九ツ過
御帰りニ而候事、

今日中参候人、今晚相良七郎左衛門殿、

十二月十二日、雪天昨夜九ツ時分より今朝迄
降、二十計ニ而候、

今日中参候人、今朝森川孫八殿、大鐘時分より晚迄同人、

十二月十三日、晴天、

四ツ後より犬追物江出不射八ツ前帰ル、供山次仲左衛門、
郷犬入候、大鐘過より和田氏江出、夫より桂家軍書式日
ニ而参、五ツ時分帰り懸森川氏江参、四ツ時分帰ル、供
川畑平之助、後重久龜次郎也、
今日中参人、七ツ後相良氏・上村氏、

十二月十四日、半天、

今日中参候人、今朝大河平八次殿、七ツ後永山氏・上村
氏・相良氏、

今日夜入過より義臣伝読いたし、大河平八次殿・相良七
郎左衛門殿、右人数ニ而読方いたし夜明相済候事、

十二月十五日、雨天四ツ後より半、

今日御礼日ニ而出候得共少々刻限おそく候ニ付、小林外
記殿二人は相帰り候事、供角喜之助也、

御直元服初而之御目見有之候也、八ツ後より赤松御目見
ニ而参、夜入五ツ時分帰ル、供角也、

今日中参候人、八ツ後永山氏、今晚同人、

十二月十六日、晴天、

今日中参候人、九ツ後森川孫八郎殿、今晚永山氏・上村
氏、
今日講釈式日ニ而黒田新左衛門様御出、外ニ中山次左衛
門様・同才之丞殿・湯地助左衛門殿ニ而候、

十二月十七日、晴天雪少々あゆる、

今朝は黒田氏江参ル、供川畑平之助也、

四ツ後より犬追物江出不射、九ツ前より赤松家江昨日礼

ニ一刻参帰ル、供喜之助也、

今日中参候人、今朝湯地助左衛門殿、八ツ後大河平八次

殿、七ツ後相良氏、今晚中山才之丞殿・湯地助左衛門殿、

今日は和田氏江出ル、供重久龜次郎也、

十二月十八日、晴天、

八ツ前より馬乗江出八ツ後帰ル、供角野喜之助也、

今日は稽古江出候へ共無之則参ル、カエ供重久龜次郎、

今日中参候人、八ツ前鎌田甚助殿・赤松内藏様、今晚相

良氏、

今晚五ツ時分出火之様走働有之候得共火元不相知、吉野

辺之様聞及候、記置、

十二月十九日、雨天、

今日は和田氏江出ル、供川畑也、

今日中参候人、八ツ前森川孫八郎殿、七ツ後一刻相良氏、

今晚中山氏式夜ニ而参、四ツ時分帰ル、供重久龜次郎也、

十二月廿日、晴天、

今朝は和田氏江出候得共、出人無之直ニ黒田氏江差越

候、供川畑平之助也、

八ツ前より馬乗江出八ツ後帰ル、供角野喜之助也、

今日中参候人、八ツ後鳥丸清保、七ツ後永山氏、四ツ後

より九ツ過迄森川孫八郎殿、今晚一刻同人、

今日も稽古江出、供重久龜次郎也、

十二月廿一日、半天、

今日四ツ過より鉄炮場江相良氏同道ニ而参、一筒茂不射

候、相良氏は六筒ニ而候、左候而八ツ時分帰ル、供角野

喜之助、

今日中参候人、四ツ後一刻相良氏、七ツ過森川孫八郎殿・

永山氏、今晚も相良氏・森川孫八郎殿、

今日も和田氏江出、供川畑也、

十郎殿、

十二月廿四日、晴天、

今日有川氏江能有之五ツ時分より差越、夜入時分帰ル、

供重久龜次郎也、

十二月廿二日、半天、

明日御家老衆島津但馬殿犬追物御見分有之筈ニ而、今日四ツ後より犬追物場へ集り有之出、夫より馬乗江出八ツ後帰ル、供角野喜之助也、

十二月廿五日、半天今晚雨降

今朝は稽古江出、供川畑也、七ツ後茂出、供重久龜次郎也、

今日中参候人、四ツ後一刻森川孫八郎殿、七ツ後上村氏、今晚相良氏、八ツ後も一刻同人、

今日中参候人、今朝上村氏、今晚同人、

十二月廿三日、晴天八ツ後より少々雨、

今日五ツ過より犬追物御見分ニ而出射、八ツ過帰ル、供山次仲左衛門、後は角喜之助也、

今日和田氏江出候得共、出ル人無之直ニ帰ル、供重久龜次郎、

今日も和田氏江出、雨降出シ候ニ付少々稽つゝいたし夜入前、供川畑平之助也、

十二月廿六日、晴天、

今日中参候人、八ツ後永山氏、今晚森川孫八郎殿・同孫

今朝は黒田氏江参候、供川畑平之助也、

素読は今朝迄ニ而候事、講釈も今日は無之候也、

今日より稽古も無之候事、

今日中参候人、八ッ後上村氏、四ッ後萩原喜春、八ッ時
分松山三下殿、

十二月廿七日、晴天、

今日は来年当御受被成候ニ付持参太刀稽古有之、四ッ時
分より出候処、樺山小膳殿頼ニ而八ッ迄詰八ッより帰ル、
供山次仲左衛門、後角野喜之助也、

今日中参候人、今朝上村氏、八ッ後永山氏、七ッ時分一
刻相良七郎左衛門殿・萩原喜春、今晚も相良氏・永山氏
ニ而候、

十二月廿八日、晴天、

今日御礼日ニ而四ッ前より出、御出座相濟候而持参太刀
稽古有之、八ッ後帰ル、供角野喜之助也、

今日中参候人、今晚森川孫八郎殿・萩原喜春、

十二月廿九日、半天、

今日中参候人、今朝上村半助殿、八ッ後永山氏、七ッ後
桂權七郎様、夜入前より同過より森川孫八郎殿、

十二月晦日、雨天四ッ後より
半、其後晴

今日中参候人、四ッ後角野喜左衛門、八ッ後小森八左衛
門殿・堀四郎左衛門様、大鐘過鎌田藤之助殿、今晚永山
氏・上村氏、

当年中百十三枚、

〔表紙〕

天保五年甲午正月より

日記

正純



大 二 三 五 八 十 十二
小 正 四 六 七 九 十一



寄詰星
御手長星

此内ニ朱之かた引有ハ記後を先ニ記たる所也可心得、

丸星ハ珍敷事を記置所也、為心得こゝにかく記者也、

馬乗丁半之記、

正月丁 二月半 三月半 四月半 五月丁 六月丁、

七月半 八月丁 九月丁 十月半 十一月半 十二月丁、

正月元日、晴天、

今日四ツ後より西田方致礼廻之人數左之通記、森川孫六殿・丸田喜平太殿・有馬半左衛門殿・川田信濃様・佐々木後右衛門殿・和田中太夫殿・赤松主水様・桂宇右衛門様・嶋津主殿様・市來清十郎殿・比志嶋孫太郎殿・和田六郎殿・山本彌太郎殿右相廻、足之病ニ而九ツ過帰宅、供山次仲左衛門・角野喜之助・大迫庄之進・濱田直袈裟ニ而候事、

今日中内江参候人伊地知加右衛門殿・上村半助殿・鎌田賀吉殿・湯地助左衛門殿・伊地知良作・永山清兵衛殿ニ而候事、

今日より詰前ニ而候得共三ケ日は一人ツ、出候ニ付、今日は小林外記殿被出候事、

正月二日、半天雪少々アユル、

今日は致出勤九ツより上方江致年頭廻候人数左ニ記、北郷主膳様・嶋津内藏様・嶋津右平太様・貴嶋平八殿・伊藤壯之助殿・平田平右衛門殿・石原小十郎殿・若松平十郎殿・福昌寺・有川壯之丞殿・加藤權兵衛殿・新納徳之助殿・寺山四郎左衛門殿・新納十郎殿・伊地知清之進殿・國分一郎右衛門殿・高橋要人様・村橋彦九郎殿・川上郷右衛門殿・興国寺・嶋津賴母様右相廻、扁懸嶋津登様・嶋津丹波様・九良賀野平八様・鎌田典膳様・梅田十太郎殿・頼娃主膳様・諏訪治部様・桂權七郎様、右人数ニ而候、八ツ過帰宅、供大迫市次郎・大迫喜之太・大津與十郎・角野喜之助、朝は山次仲左衛門ニ而候事、

今日中内江参候人、桂長左衛門殿・森川孫八郎殿・同孫十郎殿・鎌田權右衛門殿・土橋休兵衛殿ニ而候也、

今日出掛日置吉左衛門殿・岸良清右衛門殿・相良淡齋殿
右見舞候事、

正月三日、半天今晚上荒田江出火有之走働ニ而候也

今日持参太刀ニ而四ツ前より出、八ツ前相濟夫より御能初ニ而席詰有之、大鐘時分相濟候而下方江少々致年頭廻候人数左ニ記、嶋津但馬様、

(島津實久)大中様・南林寺墓所・菱刈李之助様・川上十郎左衛門殿・

伊東加兵衛殿今朝出懸山次左衛門殿・木村平之丞殿・東郷十九郎殿・土橋休兵衛殿、右之人数ニ而候、供角野喜之助・大津與十郎・大迫喜之太・濱田直袈裟ニ而候、夜入時分帰宅之事、

今日中内江参候人渡瀬玄祝(祝カ)・小森八左衛門殿・桂權七郎様・鎌田仁仲太殿・佐々木五右衛門殿・森川孫六殿・永山覺右衛門殿・杉龜太郎・濱田本覺院、

正月四日、半天後晴天、

今日四ツ過より下方致年頭廻之人数左之通ニ記、新納半兵衛殿・西田次郎太殿・宮之原式部様・山岡右京様・赤松伴次郎殿・黒田新左衛門様・小森八左衛門殿・鎌田十五殿・樺山伊織様・同小膳様・鎌田八郎左衛門殿・澁谷

八郎殿・二階堂源太夫様・鎌田權右衛門殿・堀四郎左衛門様・川上源十郎様・種子嶋直太郎殿・上村半助殿・鎌田藤次郎様、右人数ニ而候、八ツ時分帰宅、供角野喜之助・志々目金次郎ニ而候事、

今日中参候人、赤松主水様・平山源八殿・敷根仲太殿、七ツ後より夜入過迄森川孫八郎殿、今日詰前は樺山小膳殿江相頼置候事、

正月五日、半天、

今日茂詰前ニ而致出勤、八ツより川上家馬乗初江出、夫より年頭廻少々致候人数左ニ記、東郷孫八殿・福嶋新左衛門殿・折田善庵殿・水間次右衛門殿、今朝出懸竹内善之進殿、右人数ニ而候、八ツ過帰ル、供山次仲左衛門・角野喜之助也、

今日は竹之間・杉之間江席詰四人ツ、有之候、昨日より今日明日迄右同断ニ而候事、詰前は今日迄ニ而候事、

今日中参候人、伊十院十藏様・相良七郎左衛門殿、今晚森川孫八郎殿・同孫十郎殿・平田清吉殿、

正月六日、半天、

今日寄詰ニ而致出勤、八ツより嶋津矢一郎殿江見舞直ニ帰宅、供山次仲左衛門・角野喜之助也、

今日中参候人、桂式部様・同太七郎様、八ツ後上村半助殿、

正月七日、晴天、

今日中参候人、市來清十郎殿、四後森川孫八郎殿・同孫十郎殿・平田清吉殿、大鐘過より晚迄相良七郎左衛門殿、今晚鎌田藤次郎様、

正月八日、半天、

今日中参候人、桂宇右衛門様・森川孫太夫殿、八ツ後湯地助左衛門殿・森川孫^(八脱カ)郎殿、四ツ過より八ツ後迄、

今日七ツ後より和田六郎殿宅江内稽古初致之筋ニ而参候

処、支ニ而此方ニ而同稽古初致候、出席人数仁禮善左衛門殿・山本彌太郎殿・森川孫八郎殿ニ而候也、十一日迄は此方ニ而致之筋ニ而候事、

今晚伊勢家流儀初申来候得共不出候也、

正月九日、雨天、

今日中参候人、鳥丸清保、夜入前より四ツ過迄森川孫八郎殿、

今日は雨天ニ而稽古出席人無之候也、

正月十日、半天、

今日中参候人、八ツ後上村氏・永山氏、七ツ後森川孫八郎殿・同孫十郎殿、今晚相良氏・永山氏、

今日は平田家演武館初ニ而候得共不出候也、

今日茂稽古出席人数無之候也、

正月十一日、晴天、

今日御用ニ而四ツ前より出候処、不断光院火消御免ニ而寿国寺火消被仰付候、且今日は御出座ニ付席詰有之、八ツ前相済犬追物初ニ出、住吉江参、川上家江差越八半分帰ル、供角喜之助・大津與十郎也、

今日は例年之通吉野花棚より家来共三人祝儀ニ参候事、

南村よりは今日迄は不参候、今晚役人森田主左衛門致着舟候事、

今日中参候人、八ツ後より晚迄永山氏、今晚森川孫八郎殿

今日は稽古江出席人数有之候、仁禮善左衛門殿・和田六郎殿・森川孫八郎殿・伊東加兵衛殿・同彦助殿・折田善庵殿・竹下愛之助殿・重久仲袈裟殿・市來十太郎殿、右人数ニ而候事、

正月十二日、晴天、

今日和田氏演武館初ニ而四ツ前より致出席、四ツ過相済夫より和田氏墓所江皆参、九ツ過帰宅、供角野喜之助ニ而候事、

今日中参候人、堀四郎左衛門様、八ッ後永山氏・上村氏・角野喜左衛門、

今日和田氏宅茂稽古初ニ而八ッ後より出大鐘過帰ル、供角喜之助也、都合出席人数六拾六人程有之候事、

今日南村役人森田主左衛門・隆香寺坊主江盃致候事、

正月十三日、晴天八ッ前より雨天ニ而候。

今日四ッ時分より犬追物江出不射、四ッ後帰宅、直ニ赤松家江先達而地頭くり替祝儀ニ参九ッ時分帰宅、供角喜之助、後山次仲左衛門ニ而候事、

九ッ過より森川氏江参稽古致八ッ過帰宅、供川畑平之助也、

今日中参候人、九ッ後一刻森川孫八郎殿、今朝角野喜左衛門、今晚吉田孫右衛門殿・湯地助左衛門殿、

今日は雨天ニ而稽古へは出席不致候事、

正月十四日、雨天朝より半天、

今日中参候人、八ッ後永山氏・上村氏、今晚一刻同人、南村江馬申遣置候処青毛馬今日参候ニ付、薬師場々ニ而大鐘過乗候事、

正月十五日、半天、

今日は御礼日ニ而候得共不出候事、

今日は和田氏江出、供重久龜次郎ニ而候事、

今日中参候人、中山次左衛門殿・赤松内藏様・同鐵之助様、

正月十六日、雪天雪少々積一部位ニ而候。

今日中参候人、講読ニ付濱田本覺院、八ッ後上村氏、

今日も稽古江出ル、供重久龜次郎ニ而候事、

正月十七日、晴天今朝雪四寸位積候事。

今日は犬追物ニ而候得共不出候事、

今日中参候人、四ッ後森川孫八郎殿、九ッ過より永山氏

晚迄同人、八ッ過より夜入四ッ過迄此方用事之儀ニ付、
桂權七郎様・鎌田賀吉殿・鎌田權右衛門殿・上村半助殿
ニ而候事、

正月十八日、半天雪今日迄
は少々有ル、

今日七ッ後より伊鋪御屋敷出来之場所江見物とし而、仁
禮善左衛門殿・森川孫八郎殿同道ニ而差越日入時分帰宅、
供角野喜之助ニ而候事、

今日より日数三日

(島津重豪)
大信院様御一年忌御法事ニ付諸稽古無之候事、

今日中参候人、八ッ後永山氏、七ッ過角野喜左衛門・鎌
田藤之助殿、今晚森川孫八郎ニ而候、

正月十九日、晴天、

今日寄詰ニ而致出勤八ッより帰宅、供角野喜之助ニ而候
也、

今日中参候人、七ッ後一刻森川孫八郎殿ニ而候、

日入時分南より参候馬、薬師馬場ニ而乗候事、

正月廿日、晴天、

今日五ッ前より

(島津重豪)
大信院様御法事御手長ニ而参七ッ過相済帰ル、一人は樺

山小膳殿ニ而候、供角野也、

今日中参人、

正月廿一日、半天、

今日より詰前ニ而致出勤、八ッより桂權七郎様御宅江参、
則帰宅、供角野喜之助ニ而候也、

此度詰前より川上孫左衛門殿御役替ニ而三与ッ、三人ニ
相成候、拙者与は宮之原式部殿・山岡右京殿ニ而候事、

今日中参候人、今晚相良七郎左衛門殿、

今日は稽古江出、供川畑平之助ニ而候事、

正月廿二日、半天、

今日は同席中谷山遠馬有之、四ツ後より出張大鐘過帰宅、

供角野喜之助ニ而候也、

今日中参候人、七ツ後上村氏、

正月廿三日、雨天、

今日四ツ前より犬追物場江出、夫より致出勤八ツより帰

宅、供山次仲左衛門、後は角喜之助、

今日中参候人、八ツ後森川孫八郎殿、

七ツ過より桂家軍書初ニ而参、夜入五ツ時分帰宅、供角

野喜之助、後は重久龜次郎也、

正月廿四日、半天、

今朝より黒田氏江参ル、供川畑平之助也、

素読初は十七日ニ有之候、其日は差支ニ而不参候事、

今日茂致出勤八ツより帰宅、供角喜之助ニ而候也、

今日より手習式日初いたし候、七ツ後より中山次左衛門

殿御出ニ而候事、

今日中参候人、

正月廿五日、晴天、

今朝も黒田氏江参、供川畑也、

今日茂致出勤八ツより帰宅、供角野喜之助ニ而候事、

今日中来候人、今晚相良七郎左衛門殿、

今日は和田氏江出、供川畑也、

正月廿六日、晴天講釈は今日より
小学者ニ而候

今朝茂黒田氏素読江参ル、供川畑平之助ニ而候事、

四ツ過より和田氏演武館ニ而出八ツ前帰宅、供角野喜之

助ニ而候也、

今日中参人、四ツ後一刻森川孫八殿、

今日より講釈初方致、七ツ後より黒田新左衛門様御出、

外ニ中山次左衛門殿・同才之丞殿ニ而候事、

今日中参候人、

正月廿七日、雨天、

今朝も黒田氏差越候、供重久龜次郎ニ而候事、

今日は犬追物ニ而候得共、雨天故出席不致候事、

今日中参候人、八ツ後七ツ過迄村田長左衛門殿、今晚森川孫八郎殿、

正月廿八日、晴天、

今朝は黒田氏江は不参候事、

今日御礼日ニ而四ツ前より出、

御出座有之四ツ過相濟、夫より浄光明寺江年頭ニ参、川上孫左衛門殿江先達而御役替之祝儀ニ参九ツ過帰宅、供角野喜之助ニ而候事、

今日中参候人、八ツ後永山氏、夜入前一刻村田長左衛門殿、

夜入時分より村田氏同道ニ而伊勢家式夜ニ出、請取渡并軍礼など有之四ツ過帰宅、軍礼之大将ニ成候、供角喜之助也、

今日は和田氏江出、供川畑ニ而候也、

正月廿九日、晴天、

今日は詰前小林外記殿より被相頼致出勤、八ツより帰宅、供角野喜之助ニ而候事、

今日中参候人、今朝湯地助左衛門殿、八ツ後永山氏、七ツ時分より鉄炮場江、嶋津直江殿江約束いたし候ニ付一刻出七ツ過帰ル、供角野喜之助ニ而候事、

大鐘過より森川氏江参、夫より稽古江出帰ル、供川畑平之助也、

夜入過より又森川氏江参四ツ時分帰宅、供重久龜次郎也、

二月朔日、晴天、

今日は御礼日ニ而候得共不出候事、八ツ前より馬乗江出八ツ後帰宅、供角野喜之助ニ而候事、今日中参候人、四ツ後森川孫八郎殿、今日茂和田氏江出夜入過帰宅、供川畑平之助ニ而候事、

二月二日、晴天、

今朝茂黒田氏は不参候事、

今日茂稽古江出夜入時分帰ル、供川畑平之助ニ而候事、

今日中参候人、

二月三日、晴天、

今朝犬追物、犬取ニ而六ツ時分より出四ツ後帰ル、供今

朝重久龜次郎ニ而候事、

八ッ前より又出犬追物相濟直ニ帰ル、供重久龜次郎ニ而

候也、

八ッ後より馬乗江出乗、夫より川上孫左衛門殿宅江目利

之由ニ而式部殿江被相頼参、四ツ過致同道帰宅、供前ニ

同人ニ而候也、

今日中参候人、八ッ過上村半助殿、

今日は右之通ニ付稽古江は不得出候事、

二月四日、半天夜入過より雨
天ニ而候

今朝は黒田氏江参候、供川畑平之助ニ而候事、

四ツ時分より和田氏演武館ニ而出八ッ前帰宅、供重久龜

次郎、後ニは角野喜之助ニ而候事、

今日は川上箭七郎殿など少人数、遠馬有之差越管候得共

断り申遣候事、

今日中参候人、今晚森川孫八殿、

今日は稽古江出夜入過帰宅、供川畑平之助ニ而候事、

二月五日、半天、

今朝も黒田氏江参候、供川畑也、

今日軍書式日ニ而中山氏御出、手習茂式日ニ而致、桂式

部様・同太七郎様御出被成候ニ付、軍書相初七ッ後より

夜入前相濟候事、昨日之式日今日ニ致候也、

稽古江は右ニ付不得出候事、

八ッ前より馬乗江出八ッ過帰宅、供角野喜之助ニ而候也、

今日中参候人、

二月六日、半天、

今朝は黒田氏江は不参候事、

今日講釈式日ニ而七ツ後より黒田氏御出、外ニ中山次左

衛門殿・同才之丞殿・吉田孫右衛門殿・湯地助左衛門殿

ニ而候事、

今日中参候人、八ツ後永山氏・上村氏、

二月七日、晴天、

今日より詰前ニ而致出勤、出掛犬追物江出、八ツより馬

乗江出帰ル、供角野喜之助ニ而候事、

今日中参候人、八ツ過渡瀬玄伯、今晚森川孫八郎殿、

今日は和田氏へ出夜入過帰宅、供重久龜次郎、後川畑平

之助也、

二月八日、晴天、

今朝稽古有之出、黒田氏江茂参ル、供川畑平之助ニ而候

也、

今日茂致出勤八ツより帰宅、供角野喜之助ニ而候事、

今日中参候人、今朝相良氏・森川孫八郎殿、

今日茂稽古江出、供川畑平之助也、稽古より夜入前帰り、

鳴津内藏殿馬取寄薬師場々ニ而乘見候事、

今日七ツ過永吉三山江火相付少々相ムエ候事、^(愁)

今晚伊勢家式夜ニ而村田氏致同道出五ツ過帰宅、供角野

喜之助、後は重久龜次郎也、

二月九日、半天八ツ前より雨、

今朝も稽古江出、黒田氏江参帰ル、供川畑平之助ニ而候

事、

今日茂致出勤八ツより帰宅、供角野喜之助ニ而候事、

今日中参候人、今晚相良氏、

二月十日、半天、

今朝は黒田氏江は不参候事、

今日茂致出勤八ツより帰宅、供角野喜之助ニ而候事、

今日中参候人、今晚森川孫八郎殿、

今日茂和田氏江出、供川畑平之助ニ而候事、

二月十一日、晴天、

今朝は黒田氏江は不参候事、

今日茂致出勤八ツより馬乗ニ出帰宅、供角野喜之助ニ而候事、

今日茂稽古江出、供重久龜次郎ニ而候事、

今日中参候人、

二月十二日、半天セツ過より雨
今晚大雨風

今朝は

今日寄詰ニ而致出勤八ツより墓江参、伊地知才吉様墓・

桂家墓江茂参八ツ過帰宅、供角野喜之助ニ而候事、

今日中参候人、四ツ後堀權四郎様、八ツ後上村氏・永山

氏・森川氏、

今日夜入時分より宮之原氏江参、大雨降候ニ付一時は休

ミ七ツ過帰宅、供重久龜次郎ニ而候也、

今日は雨天ニ而和田氏江は不出候事、

二月十三日、半天時々少々ツ
雨

今日犬追物式日ニ而四ツ過より出、夫より馬乗江出八ツ後帰宅、供角野喜之助ニ而候事、

今日は和田氏江出、日入時分より桂家軍書式日ニ而参、

夜入過相濟則帰宅、供重久龜次郎也、

今日中参候人、

二月十四日、晴天、

今朝は黒田氏江参、供川畑平之助ニ而候事、

今日同席中谷山遠馬有之四ツ後より参夜入前帰宅、供山

次仲左衛門ニ而候事、

今日は稽古は無之候事、

今日中参候人、

二月十五日、雨天夜明前よりヒヤフルイノモノフル、雷大ニナル、

夜明前より如此ニ有之四ツ前止ル、雷は五ツ前より止り候事、

今朝は黒田氏江は不参候事、

今日は御礼日ニ而候得共不出候事、

八ツ前より馬乗江出八ツ過帰宅、供角野喜之助ニ而候事、

今日茂和田氏江出、供重久龜次郎、後は川畑平之助也、

今日中参候人、今晚森川孫八郎殿、

二月十六日、晴天、

今朝は黒田氏へ参、供川畑也、

今日講釈式日ニ而七ツ後より黒田新左衛門様御出、外ニ

吉田孫右衛門殿・湯地助左衛門殿ニ而候事、

今日中参候人、今晚上村半助殿、

二月十七日、晴天八ツ後より半天、七ツより少々雨、

今朝は黒田氏江は不参候事、

今日は犬追物ニ而候得共不出候事、

今日中参候人、九ツ過森川孫八郎殿、

今日中参候人、

今日茂和田氏江出、供重久龜次郎ニ而候事、

二月十八日、晴天、

今日嶋津數馬殿より詰前頼ニ而致出勤八ツより帰ル、供

角喜之助也、

今朝は黒田氏江は不参候事、

今日参候人、七ツ後堀四郎左衛門様・角野喜左衛門、今

晚一刻森川孫八郎殿、五ツ時分より四ツ過迄村田長左衛

門殿、

今日茂稽古江出夜入過帰宅、供重久龜次郎ニ而候事、

二月十九日、晴天、

今朝は黒田氏江参候、供川畑也、

今日四ツ過より市江相良七郎左衛門殿・森川孫八郎殿致

同道参、夫より馬乗江出八ッ後帰宅、出掛大寺へチアン

殿江頭江出来物いたし候ニ付参相頼候、供山次仲左衛門

ニ而候也、

今日茂和田氏江出、供重久龜也、(龜次郎)

夜入過より中山氏式夜江参四ッ過帰宅、供同人、後川畑

也、

今日中参候人、

二月廿日、雨天、

今朝は黒田氏江は不参候事、

今日中参候人、四ッ後森川孫八郎殿、

稽古は雨天ニ而不出候事、

今日は雨天ニ而終日内江居候事、

二月廿一日、雨天、

今朝は黒田氏江参候、供川畑也、

今日は雨天故稽古江は不出候也、

今日中参候人、

二月廿二日、晴天、

今日より詰前ニ而候得共、頭ニ出来物いたし候ニ付其段

申遣候也、

今日中参候人、四ッ後森川孫八郎殿・鎌田甚助殿、七ッ

後角喜左衛門、夜入時分一刻中山氏、

二月廿三日、晴天、

頭出来物ニ付大寺氏江申遣候処弟子被参候事、

稽古江も右ニ付得不出候事、

犬追物ニ而候得共同前ニ而不出候也、

今日中参候人、七ッ後上村半助殿、今晚大河平八次殿、

今晚より八次殿申合素読式夜三三ニ相立候事、

二月廿四日、雨天、

今日中参候人、角野喜左衛門・濱田本覺院、

今日軍書式日ニ而、七ツ後より桂式部様・同太七郎様・中山次左衛門殿御出、夜入前相濟候、手習茂式日ニ而候得共不致候也、

二月廿五日、半天、

今日頭出来物ニ付相良淡齋殿江申遣候処、弟子松山三騰殿被參候事、

今日中參候人、四ツ後森川孫八郎殿、八ツ後永山氏、

二月廿六日、半天夜明前迄雨

今日有川氏江能有之、当分出来物ニ而詰前は相頼置候得共、桂權七郎様より茂可參之旨ニ而朝六ツ時分より參、夜入五ツ前相濟帰宅、見物ニ參候人数、桂權七郎様・松山三騰殿・森川孫八郎殿・永山覺右衛門殿ニ而候事、供重久龜次郎、後角野喜之助ニ而候也、今日中參候人、永山氏・鎌田藤次郎様、

二月廿七日、雨天、

昨日能見物ニ詰前病氣之筋ニ而差越候ニ付、同席中此方江可參旨問合有之候ニ付御出可被成旨返答致候処、八ツ後御出之人数左之通、嶋津直江殿・義岡藏人殿・小林外記殿・嶋津數馬殿・樺山小膳殿・宮之原式部殿・嶋津久馬殿・伊集院伊膳殿・關山糺殿、桂權七郎様は八ツ前より御出被下候様申上御出被下候、上村氏茂八ツ前より御出ニ而候、書役は平山源八殿・養田八郎殿・町田孫右衛門殿・加世田少兵衛殿・岸良藤助殿・久保喜藏殿、右人数ニ而候、夜入過皆々御帰りニ而候也、

二月廿八日、半天七ツ後アラレ少々フル

今日は御礼日ニ而候得共、出来物ニ而得不出候事、今日中參候人、九ツ後森川孫八郎殿、一昨廿六日式日今日ニ致七ツ後より黒田氏御出、外ニ中山次左衛門殿ニ而候事、

二月廿九日、晴天、

今日中参候人、森川孫八郎殿、八ッ後永山氏・上村氏出来物ニ付松山三騰殿、七ッ過濱田本覺院、今晚相良七左衛門殿、

二月晦日、半天、

今日は平田家弓、御家老衆御見分有之候得共、出来物ニ而得不出候事、
東郷家・伊十院家同日、高田家・平田家同日ニ而候事、
今日中参候人、森川孫八郎殿、

三月朔日、半天時々雨、

今日は御礼日ニ而候得共不出候事、
今日中参候人、八ッ後堀四郎左衛門様・鎌田藤之助殿、

三月二日、晴天、

今日中参候人、

三月三日、半天、

今日御祝儀ニは未出来物ニ而得不出候事、
今日中参候人、鎌田權右衛門殿・上村半助殿・柴助七殿・森川孫六殿・角野喜左衛門、

三月四日、晴天、

今日中参候人、四ッ後森川孫八郎殿、今晚大河平八次殿、昨夜式夜ニ而候処断候ニ付今夜ニ致候、

三月五日、雨天八ッ後より晴、

今日中参候人、今晚森川孫八郎殿、

三月六日、晴天、

今日中参候人、四ッ過鎌田甚助殿、
今日講釈式日ニ而黒田新左衛門様御出、外ニ吉田孫右衛門殿・湯地助左衛門殿ニ而候事、

三月七日、雨天、

今日より詰前ニ而候得共、いまた頭出来物快気不致候ニ
付相頼置候事、犬追物茂同断ニ而得不出候事、

今日中参候人、森川孫八郎殿、八ッ後上村氏、

三月八日、晴天、

今日中参候人、森川孫八郎殿、八ッ後濱田本覺院・永山
覺右衛門殿、

三月九日、晴天、

今日中参候人、日入前より四ッ過迄桂權七郎様、
出来物未少々は快気不致候得共今日月代致候、世間ニは
いまた不出候事、

三月十日、半天八ッ前より
雨天、雷少々ナル、

今日中参候人、八ッ前より永山覺右衛門殿・上村半助殿、

三月十一日、晴天、

今日中参候人、今朝永山氏・上村氏、七ッ後鎌田甚助殿、

三月十二日、晴天、

今日中参候人、八ッ過堀權四郎様、今晚森川孫八郎殿、

三月十三日、半天、

今日より出来物致快気候ニ付四ッ後より犬追物江出、八
ッより馬乗江出婦ル、犬追物は馬乗御見分前ニ而無之候、
供山次仲左衛門也、

出来物ニ而日数廿一日引入候事、未少々は残候得共今日
より出候事、

今日中参候人、今晚大河平氏、今日より稽古江茂出ル、
供重久龜次郎ニ而候事、

三月十四日、雨天四ッ前より雨、

今朝六ッ時より森川孫太夫殿致同道阿り釣ニ参、五ッ時

分婦宅、供重久龜次郎也、阿り七疋釣候事、

三月十七日、晴天セツ過より雨、

今日平田平太左衛門殿より詰前頼ニ而致出勤、八ツより

今日馬乘御家老衆御見分有之五ツ前より出、八ツ前相濟

中山氏江一刻參婦宅、供角野喜之助也、

婦宅、供山次仲左衛門、後は角喜之助ニ而候事、

今日中參候人、

犬追物は馬乘ニ而無之候事、

今日は稽古江は雨天故不出候事、

七ツ後より東郷市助殿宅江鎌田周左衛門殿被參入候ニ付

三月十五日、晴天、

助也、

今日御前江(島津齊興)太守様御位階御昇進之御能有之、諸役人迄

今日中參候人、八ツ後永山氏、

拝見被仰付六ツ過より出、夜入過相濟婦宅、供山次仲左

衛門、後は角野喜之助ニ而候事、

三月十八日、晴天、

今日中參候人、八ツより永山氏・上村氏、

今朝より黒田氏江素読江差越候、供川畑平之助ニ而候事、

三月十六日、晴天、

角野喜之助ニ而候事、

今日講釈式日ニ而黒田氏御出、外ニ中山次左衛門殿ニ而

今日は和田氏江出ル、供重久龜次郎ニ而候事、

候事、

今日中參候人、今晚永山氏、

今日中參候人森川孫八郎殿、

三月十九日、晴天、

今朝柙木場々江森川孫八郎殿致同道阿り釣ニ差越候、供重久龜次郎ニ而候事、

今日中参候人、八ッ前鎌田甚助殿・永山氏・森川孫八郎殿、

八ッ前より馬乗江出八ッ後帰ル、供角野喜之助ニ而候事、今日茂和田氏江出、供川畑平之助ニ而候事、

夜入過より中山氏式夜ニ参四ッ過帰宅、供同人ニ而候事、

三月廿日、晴天、

今朝は黒田氏江参、供川畑也、

四ッ過より柙木場々頭江阿り釣ニ森川孫八郎殿同道ニ而参七ッ過帰ル、三十余り釣候、供角野喜之助ニ而候也、

今日中参候人、森川孫八郎殿、今朝上村半助殿、今晚森川孫八郎殿、

今日茂和田氏江出ル、供重久龜次郎ニ而候事、

三月廿一日、晴天、

今朝茂黒田氏江参ル、供川畑平之助ニ而候事、

八ッ前より馬乗江出八ッ後帰宅、供角野喜之助ニ而候事、今日茂和田氏江出、(拱脱之)川畑平之助ニ而候事、今晚森川氏へ参也、

今日中参候人、

三月廿二日、晴天、

今日より詰前ニ而致出勤八ッより帰宅、供角喜之助ニ而候事、

七ッ後より中山氏御出ニ而川田家小路より相廻小幡氏かどより相別レ和田氏江出、供川畑平之助ニ而候事、

今日中参候人、七ッ後中山次左衛門殿、

三月廿三日、晴天、

今日四ッ時分より犬追物江出、夫より致出勤八ッより馬乗江出帰宅、供角喜之助ニ而候事、

今日中参候人、八ッ後上村氏、

今日茂稽古江出、供重久龜次郎ニ而候事、

詰前今日迄ニ而候事、

三月廿四日、雨天、

今日詰前は平田平太左衛門殿江相頼出勤不致候事、

今日講釈式日ニ而黒田新左衛門様御出、外ニ中山次左衛門殿・吉田孫右衛門殿、今日より鳥丸六右衛門殿・寺師新八殿ニ而候事、今日中参候人、

昨日桂家軍書式日今日有之候得共、風引気分ニ而不差越候事、

三月廿七日、雨天、

今日中参候人、八ツ時分上村氏、七ツ後鳥丸清保・濱田本覺院、

今日は犬追物式日ニ而候得共雨天故不出候事、今日中参候人、森川孫八郎殿、七ツ後上村氏、

三月廿五日、雨天八ツ後より晴ル、

三月廿八日、半天、

今日茂詰前ニ而致出勤、八ツより山岡右京殿宅江弓同席中有之参暮時分帰宅、八ツより一刻帰山岡氏江は参候、供角野喜之助、今朝は山次仲左衛門也、今日中参候人、八ツ時分より永山氏、

今日は御礼日ニ而候得共不出候事、今日四ツ後より同席中横井江遠足有之、四ツ半時分より宮之原家江参致同道差越、日入時分帰リ懸宮之原家江皆々参五ツ時分帰宅、供山次仲左衛門ニ而候事、今日中参候人、角野喜左衛門、

三月廿六日、晴天、

今日茂致出勤八ツより帰宅、供角野喜之助ニ而候事、

三月廿九日、半天大鐘過より少々雨フル

今日川上家稽古遠馬谷山江有之、四ツ時分より参大鐘前
帰宅、供山次仲左衛門、宿は宮之原氏・山岡氏同宿ニ而
候事、

今日中参候人、

今日は和田氏江出候得共、少々雨降候ニ付無之候事、供
川畑平なり、

今晚中山氏式夜江出、夜入過引取帰宅、供重久龜次郎ニ
而候事、

中山氏江参候而帰らなき切ニ参候、大小二疋取候事、

三月晦日、晴天、

今朝は黒田氏江参候、供川畑也、

今日は稽古江出候、供角喜之助也、

今日中参候人、八ツ後吉田孫右衛門殿、

四月朔日、晴天、

今朝は黒田氏は支ニ而候間被^{不之}参候也、

今日は御礼日ニ而四ツ前より出、

御出座有之四ツ後相濟則帰宅、供角野喜之助ニ而候事、

今日茂稽古江出、供川畑平之助也、八ツ前より馬乗江出
八ツ後帰ル、供角野喜之助ニ而候事、

今日中参候人、八ツ後上村氏、今晚角喜左衛門・森川孫
八郎殿、

四月二日、雨天、

今朝は黒田氏江は不参候事、

今日中参候人、八ツ時分鎌田甚助殿、

四月三日、雨天雷鳴ル、

今日犬追物式日ニ而四ツ時より出、雨天ニ而犬追物は無
之九ツ前帰ル、供角野喜之助ニ而候事、

今朝茂黒田氏江は不参候也、

今日中参候人、今晚佐野善次郎殿・東郷孫右衛門殿、七
ツ過森川孫八郎殿、

四月四日、晴天、

今朝茂黒田氏江は不参候也、

今日四ツ後桂宇右衛門様御方江用事有之参則帰、供角喜之助也、

今日軍書式日ニ而八ツ後より中山氏御出、手習も式日ニ而致、七ツ時分より桂式部様・同太七郎様御出ニ而軍書相初、大鐘過相済候事、

今日中参候人、八ツ後永山氏・上村氏、

四月五日、半天時々雨、

今朝は黒田氏江参候、供川畑也、

昨日稽古は大庭氏ニ而有之候ニ付和田氏ニ而は無之候ニ付得不出候事、

八ツ前より馬乗江出、供角野喜之助ニ而候事、

今日は稽古江一刻出ル、供重久龜次郎ニ而候事、

今日中参候人、森川孫八郎殿、八ツ後永山氏、大鐘時分より夜入四ツ時分迄桂權七郎様、

四月六日、晴天、

今朝も黒田氏江参候、供川畑也、

今日は講釈式日ニ而候得共、黒田氏差支ニ而無之候事、

今日中参候人、今朝^{（奥ノイ）}山氏・上村氏、七ツ後一刻上村氏、

七ツ時分より栢木場々辺江乗廻致候、帰り懸かわらけ屋前ニ而馬田之中江飛入、終ニ立なから落馬致候、七ツ過帰宅、供角喜之助也、

今日茂稽古江出候、供重久龜次郎也、

四月七日、半天八ツ前時分より雨、

今日より詰前ニ而四ツ前より犬追物場江出、夫より致出

勤四ツ過より御暇ニ而犬追物江出射候、犬追物より今日和田氏演武館ニ而一刻出候、犬追物より馬乗江出八ツ後

帰宅、雨天ニ而候得共馬乗は有之候、供角野喜之助ニ而

候事、

今日中参候人、

今日は雨天ニ而稽古ニは不出候也、

四月八日、半天、

今日茂致出勤八ツより帰宅、供角野喜之助ニ而候事、

今日茂和田氏江出ル、供川畑也、

今日中参候人、

事、

今日中参候人、

四月十一日、晴天、

今朝六ツ時より馬乗江出、夫より黒田氏江参候、供川畑

平之助也、

四月九日、晴天八ツ後より雨、

今朝より馬乗朝稽古ニ而六ツ前より出同過帰ル、供川畑

平之助也、

今日も致出勤八ツより帰宅、供角野喜之助ニ而候事、

今日中参候人、七ツ後寺師新八殿、

今日も稽古江出ル、供川畑平也。(平之助)

今日中参候人、

今日も稽古江出候、供川畑平之助也、

四月十二日、晴天、

今朝も黒田氏江参候、供川畑也、詰前は昨日迄ニ而候事、

今日御親父様御忌日ニ而九ツ時分より墓参いたし、桂家(黒田正昌)

墓江も参八ツ前帰宅、供角喜之助ニ而候也、

今日茂和田氏江出候、供川畑平之助ニ而候事、

今日七ツ後薬師場々ニ而馬ニ乗候事、

今日中参候人、今晚上村氏、

角喜之助也、

今日詰前は鳴津直江殿江我々同役三人より相頼候事、

今日も稽古江遠馬より帰宅則出候、供川畑平之助ニ而候

当月六日上村氏は此方南村松山之儀ニ付彼地ニ被差越、
今日帰りニ而候也、

四月十三日、晴天、

今朝六ツ過より馬乗へ出五ツ前帰ル、供角野喜之助ニ而
候事、

犬追物江は不出候、犬追物も今朝より朝稽古ニ而候事、

今日中参候人、八ツ後永山覺右衛門殿・鎌田甚助殿、今

朝鎌田藤之助殿、八ツ過上村半助殿、今晚式夜ニ而大河

平八次殿、

今日も和田氏江出、夫より桂家軍書式日ニ而差越夜入時

分帰宅、供川畑平之助ニ而候事、

四月十四日、半天四ツ後より少々雨、

今日四ツ後薬師場々ニ而馬ニ乗候也、九ツ前より和田氏

演武館ニ而出八ツ前帰宅、供角喜之助ニ而候也、

今日も和田氏江出候得共、出席人無之候ニ付則帰ル、供

川畑平之助也、

今日中参候人、大鐘過上村半助殿、七ツ後佐野善次郎殿・
東郷孫右衛門殿、

四月十五日、雨天、

今日は御礼日ニ而候得共不出候事、

今日拙者誕生日ニ而八ツ後より客人有之候、人数左之通、

鳴津主税様・赤松主水様・二階堂蕃様・堀四郎左衛門様

・桂權七郎様・小森八左衛門殿・中山次左衛門殿・和田

柳堂殿・平山源八殿・永山覺右衛門殿・上村半助殿、左

候而夜入過皆々御帰宅ニ而候事、

四月十六日、半天、

今朝は黒田氏江参候、供川畑也、

今日詰前義岡藏人殿・鳴津直江殿・小林外記殿、三人よ

り被相頼致出勤、八ツより帰ル、供角喜之助也、

七ツ前より馬ニ而荒田方へ乗廻し致、堀四郎左衛門様宅

江參、夫より鎌田藤次郎様宅江も參大鐘時分歸宅、供角喜之助ニ而候事、

大鐘過より稽古江出、供川畑平之助ニ而候事、

今日は講釈式日ニ而候得共、無抛差支ニ而此方より断候事、

今日中參候人、

四月十七日、半天今朝少々雨、

今朝六ツ過より馬乘江出、夫より犬追物江出不射、四ツ

前歸宅、供角野喜之助ニ而候事、

今日中參候人、八ツ後永山氏・上村氏・中山次左衛門殿、

今日七ツ後伊十院郷士鎌田甚左衛門と言者、糸図書次之

儀ニ付此方江糸図致持參候ニ付、此方へ請取書次調迄之

間糸図召置候事、

右甚左衛門江一刻合候事、

大鐘時分より稽古江出夜入過歸ル、供川畑平之助ニ而候

事、

四月十八日、半天、

今日九ツ時分薬師馬場ニ而馬ニ乘候事、

今日講釈有之筈候処、黒田氏支ニ而明日之筈ニ候事、

大鐘時分より稽古江出、日入過歸ル、供川畑平之助ニ而候事、

今日中參候人、八ツ後永山覺右衛門殿、

四月十九日、晴天、

今朝六ツ過より馬乘江出五ツ時分歸宅、供川畑平之助也、

今日講釈有之筈候処、又々黒田氏病氣ニ而無之候事、

大鐘時分より稽古江出夜入過歸ル、供川畑平之助ニ而候事、

今日中參候人、今晚上村氏、

四月廿日、雨天、

黒田氏素説は新左衛門様齒之痛ニ而兩三日は無之候事、

今日来ル之人、

昨日八ツ時分森川孫六殿一刻入来ニ而候事、

大鐘時分より山岡右京殿江用事有之差越候処、病氣ニ而候付、直ニ帰り懸和田氏江一刻出直ニ帰り候、供角野喜

之助ニ而候事、

日入時分より和田氏江亦出夜入時分帰宅、供川畑平之助

ニ而候事、

四月廿一日、半天、

今朝六ツ過より馬乗江出候処、明日馬追有之候ニ付無之

則帰ル、供重久龜次郎ニ而候事、

吉野御馬追今日有之筈候処、昨日雨ニ而明日ニ相成候事、

大鐘過より常陸流稽古江出夜入過帰宅、供川畑平之助ニ而候也、

今日八ツ後山岡右京殿一刻入来ニ而候也、

四月廿二日、晴天、

今日馬追ニ而六ツ過より義岡藏人殿宅へ参り同道ニ而差

越、八ツ時分帰宅之事、供山次仲左衛門ニ而候也、

今日より詰前ニ而候処、小林外記殿江我々同役兩人より相頼受合ニ而候事、

今日茂日入前より和田氏稽古江出候処、出席人無之直ニ

相帰り候、供川畑平之助ニ而候事、

四月廿三日、晴天、

今朝六ツ過より犬追物式日ニ而致出席五ツ前帰宅、供角

喜之助也、

四ツ前より詰前ニ而致出勤、八ツより

(南林寺)大中様江致参敬帰宅、供前ニ同シ、

八ツ後永山覺右衛門殿・上村半助殿被来候事、今朝角喜左衛門来候事、大鐘過より和田氏常陸流稽古江出夜入過

帰宅、供川畑平之助ニ而候也、

四月廿四日、晴天、

今日も四ツ時より致出勤八ツより帰宅、供角野喜之助ニ

而候事、

八ツ後濱田本覺院来候、

大鐘時分より和田氏稽古江出候処、出席人無之(ち)児達迄ニ而候ニ付、だし計いたし、日入時分帰り候、供川畑也、

四月廿五日、半天四ツ前より雨天、

今朝六ツ過より馬乗ニ而出、五ツ前帰宅、供川畑平之助ニ而候事、

今日詰前ハ谷山遠馬同役中有之筈ニ而樺山小州江相頼候然とも雨天故遠馬は無之候事、

今晚大河平八次殿書物式夜ニ付被来候、廿三日式夜今晚ニ致候事、

今晚佐野善次郎殿・東郷孫右衛門殿被来候得共、大河平氏被来候筈ニ而断候事、

四月廿六日、雨天四ツ後より曇、

今日も四ツ時より致出勤八ツより帰ル、供角喜之介ニ而

候事、

今日講釈式日ニ而黒田新左衛門様御出、外ニ鳥丸六右衛門殿・寺師新八殿ニ而候事、今日中来候人、上村半助殿、

四月廿七日、晴天、

今朝犬追物ニ而六ツ過より出射四ツ前帰宅、馬乗江も出候、供角野也、

大鐘過より和田氏稽古へ出夜入過帰宅、供川畑平之助ニ而候也、

今日中来候人、永山氏・上村氏、当月廿三日長嶺喜兵衛は南村ニ帰候、代りは川枝伊右衛門、先達而上村半助殿南村より被帰候時一所ニ来候事記後故、此所ニ記置也、

四月廿八日、晴天、

今日御礼日ニ而四ツ前より致 登城九ツ前退出、供角野喜之助ニ而候也、

大鐘比より和田氏常陸流稽古へ出、日入過帰宅、供川畑平之助也、

今日中参候人、大鐘過鳥丸清保・角野喜左衛門、

四月廿九日、晴天、

今朝馬乘ニ而日出過より出五ツ時分帰宅いたし候、供角

野喜之助ニ而候事、

大鐘比より和田氏常陸流江出夜入過帰ル、供川畑平之助

ニ而候事、

今日中入来之人、八ツ後濱田本覺院、

五月朔日、雨天、

今朝は黒田氏江は差支は無之候得共不参候事、

今日は御礼日ニ而候得共 登城不仕候事、

今日中入来之人、

今日は雨天故和田氏江は不出候也、

五月二日、雨天、

今朝馬乗前ニ而候得共稽古馬血差有^{アリ}之候ニ付、一七日は無之候事、

今日中入来ル人、森川孫八郎殿、今晚桂權七郎様、

五月三日、曇天、

今朝犬追物犬取ニ而六ツ時より出五ツ前帰宅、供角喜之

助ニ而候事、

今日寄詰ニ而四ツ時より出八ツより帰ル、供角野喜之助

ニ而候事、

今日初而田江目懸り之処、米うへ候事見合ニ記之者也、

今日中入来之人、

今晚大河平八次殿被来候得共断候也、

大鐘時分より和田氏稽古江出夜入過帰宅、供重久龜次郎

ニ而候事、

五月四日、晴天曇天、

今朝は黒田氏江參候、供川畑也、

五月六日、雨天、

当年は出米未相濟候処、今日漸々ニ相濟候事、已後見合ニ記之也、

今朝は黒田氏江差越候、供川畑平之助ニ而候事、

今日八ツ後より同席中嶋津主税殿宅ニ而ぶたころし有之

九ツ過より和田六郎殿演武館ニ而致出席候処、出席人数

差越夜入過帰宅、供重久龜次郎、後山次仲左衛門ニ而候事、

無之直ニ帰ル、供角野喜之助ニ而候事、

今日中入来之人、八ツ後永山氏・上村氏、

今日講釈式日ニ而七ツ後より黒田氏御出、外ニ中山才之承殿・鳥丸六右衛門殿・寺師新八殿ニ而候事、

五月五日、雨天時々曇、

五月七日、晴天、

今日四ツ前より致 登城寄詰いたし、九ツより桂權七郎

今朝犬追物日ニ而六ツ過より致出席四ツ前帰宅、供角野

様・同宇右衛門様・赤松主水様江当日之祝儀ニ參九ツ半時分帰ル、供山次仲左衛門・角野喜之助ニ而候事、

今日中入来之人、

今日中此方へ祝儀ニ入来之人、湯地助左衛門殿・森川孫六

五月八日、曇天時々雨降、今晚南林寺下へ出火有之候事

殿・永山覺右衛門殿・鎌田仁仲太殿・角野喜左衛門・榊原安右衛門・上村半助殿・湯地甚右衛門殿、今晚大河平

今日より詰前ニ而四ツより致出勤八ツより帰宅、供角野喜之助ニ而候事、

八次殿昨三日式夜相延延置候ニ付入来ニ而候事、

今日中入来之人、八ツ後永山氏、

大鐘過より和田氏稽古へ出、足江少々痛所有之稽古は不

得致候、夜入過皆々一所ニ帰ル、供重久龜次郎也、

五月十一日、雨天四ツ前より曇天、

今晚は伊勢家式夜ニ出筈大河平八次殿江約束いたし置候
処不得差出候事、

今日茂四ツ前より致出勤八ツより帰宅、供角野喜之助ニ
而候事、

五月九日、雨天、

今日は詰前ニ而候処足之痛ニ而雨天其段申遣相頼置候事

今日先達而伊敷屋敷松木御用ニ相成、玉里御茶屋江相な
おり候、右為御返越後しま一反拝領被仰付候ニ付、御隠
居江差上候事、用頼を以御内々ニ而 拝領被仰付候上村
氏より為持被遣候事、

今日中入来之人、八ツ後上村半助殿、

今日南村より森田關右衛門先年より世間江不出様差留有

今日中入来之人、八ツ後一刻上村氏、

之候ニ付、先達而世間江可出旨申遣候ニ付、右為礼今日

今日は和田氏江出ル考ニ而候処、雨降出し候ニ付不得出

参候事、

候事、

五月十日、曇天、

五月十二日、曇天、

今朝六ツ時より馬乗へ出五ツ前帰ル、供川畑平之助也、

今朝馬乗ニ而六ツ時より出五ツ前帰宅、供川畑平之助ニ

今日は四ツ時より致出勤八ツより帰ル、供角野喜之助ニ

而候事、

而候事、

今日も詰前ニ而候得共小林外記殿江相頼候事、

今日中入来之人、七ツ後中山氏、

詰前今日迄ニ而候事、

今日は和田氏稽古は無之候也、

今日中入来之人、森川孫八郎殿・永山覺右衛門殿、

今日は和田氏江出候処、出席人無之直ニ帰ル、供川畑平之助也、

八ッ過より御親父様御忌日ニ而致墓參、桂家墓へも參七ッ過帰ル、供角野喜之助ニ而候、馬ニ而參候事、

五月十三日、曇天、

今朝大追物稽古式日ニ而六ッ過より出四ッ前帰ル、供重久龜次郎也、

四ッ後山岡氏江今日鉄炮江出ル筈之処、無扨儀有之不得出候ニ付、其段頼ニ差越候而則帰ル、供角喜之助也、

大鐘時分より和田氏稽古江出日入時分帰り、桂家軍書ニ而直ニ參夜入過帰宅、供川畑平之助ニ而候也、

今日中入来之人、

五月十四日、曇天セツ後より雨天、

今朝馬乘ニ而六ッ過より出、五ッ前帰ル、供川畑平之助ニ而候事、

七ッ時分より天神場々川上家江木馬乘ニ參、大鐘過帰リ掛鎌田藤次郎様病氣ニ付見舞ニ差越則帰宅、供角喜之助ニ而候事、

今日中入来之人、

五月十五日、雨天、

今朝は黒田氏へ素説ニ差越候、供川畑平之助也、

今日は御礼日ニ而候得共不出候事、今日中入来之人、三日前森川利右衛門殿大嶋より着舟ニ而候ニ付、今日四ッ前入来ニ而候、七ッ後上村氏、

大鐘時分より稽古江出夜入過帰ル、供川畑平之助ニ而候事、

川上十郎左衛門殿先達而より田合ニ差越ニ而今日帰宅之筈ニ而、伊十院迄皆々馬ニ而參筈候得共、拙者ニは不差越候也、

五月十六日、晴天、

今朝六ッ過より馬乗江出候処、馬場ぬかり候ニ付無之、

川上家門前へ皆々參見候得共、無之筋ニ而夫より黒田氏

へ參候、供川畑平之助ニ而候事、

十郎左衛門殿は昨日は帰宅無之今日帰り之段承候事、

今日中入来之人、堀四郎様、

今日講釈式日ニ而黒田氏御出、外ニ鳥丸六右衛門殿・中

山次左衛門殿・同才之丞殿ニ而候、次左衛門殿は少し跡

迄被居候事、

今日十郎左衛門殿帰りニ付、箭七郎殿より此方馬借用ニ

而候得とも断候事、

五月十七日、晴天、

今朝犬追物ニ付六ッ過より出四ッ前帰宅、供角喜之助ニ

而候事、

大鐘過より和田氏稽古江出夜入過帰ル、供川畑平之助ニ

而候事、

今日中參候人、今晚永山覺右衛門殿・森川孫八郎殿・鳥

丸清保、

五月十八日、雨天、

今朝六ッ過より馬乗江出候処少々雨降候ニ付、馬乗初方

有之候得共、央ニ而取止ニ相成候ニ付五ッ前帰宅、供川

畑平之助ニ而候事、

今日中參候人、

五月十九日、雨天、

今日中入来之人、森川孫八郎殿、先達而家来大迫庄太郎

鉄炮脇方より細工ニ遣有之候処、二挺失候段届有之候ニ

付披露致置候処、今日同家来大迫市次郎取候段届有之候、

市次郎は未行衛不知段親類より届有之候事、見合ニ記之

置也、

七ッ後上村半助殿入来ニ而候事、

五月廿日、曇天今朝少々雨、今晚八ッ時分出火、

今朝馬乗江出候処、馬場ぬかり候ニ付無之候事、夫より
黒田氏江差越候、供川畑平之助也、

九ツ比より和田六郎殿演武館ニ而出、八ツ前より川上家
へ木馬乗ニ出、夫より七ツ後日置屋敷前ニ而もれ有之候

ニ付出乗、大鐘時分帰ル、供角喜之助也、

日入比より和田氏稽古江出夜入過帰宅、供川畑平之助ニ
而候事、

今日中入来之人、

五月廿一日、雨天夜入より雨、

昨夜八ツ時分大乘院脇寺辺江出火有之走働ニ而候事、見
合ニ記也、

今日中入来之人、今朝上村半助殿、

五月廿二日、雨天、

今朝馬乗江は雨天ニ而不出候事、

八ツ過より川上家江木馬乗ニ差越大鐘時分帰宅、供角野

喜之助ニ而候也、
今日中入来之人、

五月廿三日、雨天、

今朝は犬追物ニ而候得共雨天ニ而不出候事、

今日より詰前ニ而四ツ前より出勤八ツより帰宅、供角喜
之助也、

今日中入来之人、七ツ後上村半助殿、今晚式夜ニ而大河
平八次殿、

五月廿四日、曇天、

今朝馬乗ニ而六ツ過より出五ツ前帰ル、供川畑平之助ニ
而候事、

今日も詰前ニ而四ツより致出勤八ツより帰宅、供角喜之
助ニ而候事、

今日中入来之人、八ツ後永山氏、七ツ後上村氏、

今日軍書式日ニ而夜入前桂式部様・同太七郎様・中山次

左衛門殿御出、軍書相始五ツ前相濟候、中山氏一刻は跡迄御出ニ而候事、

今日は右故和田氏へは不得出候也、

五月廿五日、曇天時々雨降、

今日も話前ニ而四ツより出八ツより帰宅、供角野喜之助

ニ而候事、

今日は左近様御病氣之処極々ニ御座被成候ニ付伺 御機

嫌有之候得共、八ツ時迄は無之候間くし取いたし候処、

右京殿跡ニ被居筈ニ而拙者共は相帰り候事、

今日は和田氏剣術江大鐘過より出、夜入過帰ル、供川畑

平之助也、

今日中入来之人、

五月廿六日、曇天八ツ後一刻雨、

今日六ツ過より馬乗江出候処、無之候ニ付直ニ黒田氏江

参帰ル、供川畑也、

今日茂話前故四ツより出、八ツより川上千郎左衛門殿宅

へ木馬乗ニ参、夫より彼之方前ニ而もれ有之乗、亦川上

家江居候処、大鐘過左近様一卷ニ付、御殿より可出旨申

来候間直ニ出候処 (島津重豪男子) 左近様御卒去ニ而 (島津奇興) 中將様

若殿江伺 (島津奇彬) 御機嫌有之、日入時分帰ル、供角野喜之助ニ

而候也、

宮之原式部殿は八ツより不帰ニ伺 御機嫌迄之間被居候

ニ付、拙者共は八ツより致御暇、亦申来候ニ付出候也、

左近様御卒去ニ付、今日より日数二十日月代すり不申候

事、

殺生并遊興ケ間數儀日数同断御停止ニ而候、普請は三日

相止候事、

今日講釈式日は伺 御機嫌ニ付、黒田氏も此方も支無之

候事、

今日中参候人、

五月廿七日、晴天、

今日も詰前ニ而四ツ前より致出勤ハツより退出、供山次
仲左衛門、後は角野喜之助ニ而候事、

詰前今日迄ニ而相済候事、

今日中入来之人、ハツ後角喜左衛門・濱田本覺院、七ツ
後渡瀬玄伯、同時より晚迄桂權七郎様、

五月廿八日、晴天、

今日は御礼日ニ而候得とも不出候事、

今日中入来有之人、今朝永山氏、今晚は曾我夜討ニ而暮
過より中山才之丞殿・大河平八次殿入来ニ而、曾我物語
読方いたし夜明六ツ時分相済候、一冊は終ニ読不取候事、
ハツ後八次殿一刻入来ニ而候事、

五月廿九日、晴天、

今日中入来之人、

今日中入来之人、今晚上村半助殿、

今日より稽古有之大鐘過より出夜入過帰宅、供川畑平之
助也、

今日より角野喜之助一七日計暇申候事、

六月朔日、晴天、

今日は御礼日ニ而候得とも、少々腹くだしニ而不得出候
事、

同席中谷山遠馬有之候得とも、右同断ニ而得不参段宮之
原式部殿江頼遣置候事、

今日中入来之人、森川孫八郎殿、

大鐘過より和田氏劍術江出夜入過帰ル、供川畑平之助ニ
而候事、

六月二日、雨天四ツ比より曇天、時々雨、

今朝馬乗ニ而六ツ過より出、夫より黒田氏へ差越候、供
川畑平之助ニ而候也、

五月晦日、雨天四ツ前より曇天、
亦時々雨、

今日より馬乗木馬乗有之候也、
劍術稽古は昨日より有之候事、

今日中入来之人、八ツ後一刻森川孫六殿、

今日茂大鐘時分より和田氏劍術稽古へ出夜入過帰ル、供
川畑平之助也、

六月三日、曇天雨少々あゆる、

今朝犬追物ニ而六ツ過より出四ツ過帰ル、供川畑平之助、
後山次仲左衛門ニ而候事、

今日中入来之人、七ツ後上村半助殿、今日より山吹之間
鉄炮二十筒江出答候得とも、不得出候ニ付玉三拾計為持
差出候処、此度迄は届迄ニ而相濟候と之事ニ而玉は持帰
り候、使は角野喜之助江申遣、喜之助出候ニ付遣候事、
喜之助へ之使は川畑平之助也、
劍術稽古江は雨天ニ而不出候也、

六月四日、曇天、

今朝六ツ過より馬乗江出五ツ前帰宅、供川畑平之助ニ而
候事、

九ツ時分より和田氏演武館前ニ而出候処、出席人数無之
候ニ付、直ニ川上家江木馬乗ニ差越候処、是又出席人無
之直ニ帰ル、供山次仲左衛門ニ而候事、

大鐘過より劍術稽古江出夜入過帰ル、供川畑平之助ニ而
候事、

今日中入来之人、

六月五日、曇天時々雨、

今朝は黒田新左衛門殿宅へ素読江參候、(供脱カ)川畑平之助ニ而
候事、
大鐘時分より和田氏劍術へ出稽古不為、日入比より桂家
軍書式日今日有之候ニ付參五ツ過帰宅、供川畑平之助ニ
而候事、
今日中入来之人、八ツ後永山覺右衛門殿、

六月六日、曇天時々雨、

今朝六ツ過より馬乗ニ出五ツ前帰宅、供川畑平之助ニ而候事、

今日講釈式日ニ而黒田氏御出、外ニ中山才之丞殿・寺師新八殿ニ而候事、

今日中入来之人、永山氏・上村氏ニ而候、

六月七日、曇天、

今朝犬追物ニ而六ツ過より出射四ツ時分帰ル、供川畑平之助、後山次仲左衛門ニ而候事、

大鐘過より剣術稽古へ出夜入過帰ル、供川畑平之助ニ而候也、

今日中入来之人、

六月八日、曇天後晴、

今朝馬乗ニ而六ツ過より出五ツ前帰宅、供川畑平之助ニ而候事、

今日より詰前ニ而四ツより致出勤八ツより帰ル、供角野喜之助ニ而候也、

今日より喜之助出候事、

今日中入来之人、永山氏・上村氏、

六月九日、晴天八ツ後より雨、

今日も詰前ニ而四ツより出、八ツより山吹間鉄炮二十筒式日ニ而新寺迄参候処、未不調者有之、新寺より玉三十計出し拙者は相帰り候、供角野喜之助、後川枝伊右衛門亦新寺より角野喜之助ニ而候事、

今朝出懸森川利右衛門殿へ嶋より登之祝儀ニ参候事、

今日中入来有之人、

今日は日入前より剣術稽古江出、夜入前より雨降出帰ル、

供川畑平之助也、

六月十日、晴天八ツ前より雨、

今朝は馬乗ニ而候処不出候事、

今日も四ツ前より致出勤八ツより帰宅、供角野喜之助ニ
而候事、

今日中入来之人、今晚上村氏、今朝鳥丸清保、

六月十一日、雨天七ツ過より曇、

今日も四より致出勤八ツより帰ル、供角野喜之助ニ而候
事、

今日中入来之人、

大鐘過より劍術稽古へ出夜入時分帰ル、供川畑平之助也、

六月十二日、曇天、

今朝六ツ前より馬乗江出五ツ前帰ル、供川畑平之助ニ而
候事、

今日も四時より致出勤八ツより帰ル、供角野喜之助ニ而

候事、

今日中入来之人、永山覺右衛門殿・上村半助殿、今晚桂
權七郎様、永山和泉茂拝領山之儀ニ付御用申遣候処、当

分参居候而今晩も参候也、

今日茂劍術稽古へ大鐘比より夜入過帰ル、供川畑平之助
ニ而候事、

六月十三日、曇天四ツ後より晴、今朝
雷少々ナル

今朝は犬追物ニ而候処不出候事、

今日は七ツ時分より劍術稽古江出、大鐘過帰り又出夜入
過帰宅、供川畑平之助也、

今日中入来之人、今晚森川孫八郎殿・大河平八次殿、

今日鉄炮二十筒江は届申遣不出候也、

六月十四日、晴天今晚南林寺門前辺江出火
少々有之走働ニ而候事

今朝六ツ過より馬乗江出五ツ前帰宅、供川畑平之助ニ而
候事、

今日宮之原氏弓場ニ而同席中弓有之、八ツ後より山岡氏
へ参、致同道参、五ツ時分帰ル、供角喜之助ニ而候也、

今日中入来之人、八ツ後永山氏、

六月十五日、晴天雷少々鳴ル、夜入前一時雨夕立ニ而候、

今日は御礼日ニ而候得とも、風引気分ニ而不出、其段申遣候事、

今日中入来之人、八ツ後鎌田權右衛門殿・永山覺右衛門殿・上村半助殿、今晚森川孫八郎殿、

大鐘過より孫八殿被来、致同道和田氏稽古江出、風引気分而不為、夜入前雨降出帰ル、供川畑平之助ニ而候也、

六月十六日、晴天、

今日中入来之人、今朝永山氏・上村氏、昼森川孫八郎殿

今朝より馬乗は昨日より土用入候ニ付無之候事、

今日講釈式日ニ而七ツ後より黒田氏御出、外ニ中山才之丞殿・鳥丸六右衛門殿ニ而候事、

六月十七日、晴天雷少々鳴ル、

今朝犬追物ニ而六ツ過より出不射四ツ前帰宅、供川畑平之助ニ而候事、

今日中入来之人、

大鐘過より和田氏稽古江出候処、彼方ニ而は差支之儀ニ而無之、二三日は和田中大夫殿宅ニ而有之由ニ而、中大夫宅へ出夜入過帰ル、供川畑平之助ニ而候事、

六月十八日、晴天、

今日中入来之人、昼時分永山氏、今晚森川孫八郎殿、

大鐘過より和田中大夫殿宅へ稽古江出夜入過帰ル、供川畑平之助ニ而候也、

六月十九日、晴天、

今朝は黒田氏江參候処素読無之直ニ帰り候、供川畑平之助ニ而候也、

今日ばとくはんおん參有之、七ツ半時分より川上家江集り參夜入前帰ル、供川枝伊右衛門ニ而候事、

都合人数三十人余り有之候事、今日中入来之人、

六月廿日、晴天、

今日九ツ比より島津丹波様三日跡御死去被成候ニ付、悔

ニ(國)玄官迄参、則帰ル、供山次仲左衛門ニ而候事、

喪敷は昨夜有之候由、見立は遣後候事、

今日中入来之人、

日入比より和田中太夫殿宅へ稽古江出夜入過帰宅、供川

畑平之助ニ而候也、

六月廿一日、晴天、

今日明日二日平田平太左衛門殿より詰前被相頼、四ツよ

り出勤いたし八ツより帰宅、供川枝伊右衛門ニ而候事、

今日中入来之人左ニ記、鎌田藤九郎殿、

当年は今日より加世田踊江差越候旨、仁禮善左衛門殿江

同道致筋約束いたし置候得共、不得差越仁禮氏江は断申

遣候事、已後見合ニ記置者也、

六月廿二日、晴天、

今朝は黒田氏江差越候得とも、素説無之直ニ帰ル、供川

畑平之助也、

今日迄は平田氏より之被頼ニ而出勤いたし八ツより帰宅

供川枝伊右衛門ニ而候事、

今日中入来之人、

六月廿三日、晴天雨少々あゆる、

今朝六ツ過より犬追物ニ而出不射、四ツ前より宮之原式

部殿致同道

(南林寺)大中様江致参敬、夫より詰前ニ而出勤いたし八ツより帰

ル、供今朝は川枝伊右衛門、夫より山次仲左衛門、後角

喜之助ニ而候事、喜之助は喜左衛門病氣ニ而十四日より

暇申今日より出候事、

今日中入来之人、今晚大河平八次殿、

六月廿四日、雨天、

黒田氏素説は家内ニ病人有之無之由承候事、

今日茂詰前ニ而致出勤八ツより帰宅、供山次仲左衛門ニ而候事、

和田氏稽古は仁禮氏加世田江被差越候ニ付三日は無之候
今日は雨天故其上軍書式日ニ而不出候事、

今日軍書式日ニ而大鐘過より中山氏・桂式部様・同太七郎様御出ニ而候事、

今日中入来之人、森川孫八郎殿・濱田本學院、

六月廿五日、雨天時々曇風少々吹晚時
より中風位ニ而候

今日も致出勤八ツより帰宅、供角野喜之助ニ而候事、

今日中入来之人左ニ記、八ツ後鎌田藤九郎殿、

今日九ツ比荒田樺山家近方へ出火有之候由有之、九ツ時分ニ而候事、

七ツ後より宮之原式部殿入来ニ而、天神場々川上家江差越咎候処、平東郷家門ニ而川上家は差支之由、日置家来より承、夫より式部殿は義岡家江被参、拙者ハ相帰り候事、

六月廿六日、雨天後曇、

今日(島津重豪男子)日本光院様御四十九日百ヶ日御法事ニ而、福昌寺へ朝五ツ前より参七ツ過帰ル、供川枝伊右衛門ニ而候事、後は角野喜之助也、

今日詰前は右通ニ而相頼置候事、

今日中入来之人、永山氏・山岡右京殿、右京殿被参候儀は加世田踊へ被差越、詰前拙者江相頼置候と被申候得共、

拙者承候覚無之候ニ付其通返答致候処、其通ニ而被帰候事、

大鐘過より中太夫殿宅へ稽古へ出夜入過帰宅、供川畑平之助ニ而候事、

今日講釈式日ニ而候処、黒田氏親類ニ病人有之由ニ而御支ニ而候事、

六月廿七日、曇天四ツ時分雨、

今日六ツ過より犬追物江出、雨ニ而稽古無之、夫より致出勤八ツより桂權七郎様御宅へ一刻参則帰ル、供今朝川

枝伊右衛門、夫より山次仲左衛門、後角喜之助ニ而候事、

今日中入来之人、永山覺右衛門殿・上村氏、

今日は本光院様御法事首尾能相濟候ニ付伺 御機嫌有之

候也、

七ツ後より馬より天神馬場川上家江木馬乗ニ參、日入前

帰り直ニ中太夫殿宅稽古江出夜入過帰ル、供川畑平之助

川上家江之供は角野喜之助ニ而候事、

六月廿八日、晴天四ツ時分雨少々あゆる、

今日は御礼日ニ而四ツ前より出、九ツ前退出より赤松主

水様御方へ參九ツ時分帰ル、供山次仲左衛門ニ而候事、

今日中入来之人、八ツ比鎌田藤九郎殿・森川孫八郎殿、

大鐘過より中太夫殿宅へ孫八殿同道ニ而出夜入過帰ル、

供川畑平之助也、

六月廿九日、晴天、

今日は嶋津直江殿より詰前被相頼出、八ツより家来志々

目金次郎江御納戸御時計師見習仰付被置候処、御扶持米

十八俵被成下候ニ付、為御礼返島津但馬様、御側御用人

野崎良右衛門殿へ參、八ツ過帰り直ニ山岡右京殿、先日

加世田行之科有之參夜入五ツ時分帰ル、供角喜之助也、

志々目江御扶持被仰付候は昨日ニ而、直江殿名代被聞候

由触番江為持来候事、

今日は谷山江川崎氏大鉄炮有之候由、見物ニは得不參候

事、

七月朔日、晴天、

今日は御礼日ニ而候得共不出候事、

今日八ツ後より同席中此方弓場可借旨ニ而被来候人数、

嶋津相馬殿・嶋津久馬殿・義岡藏人殿・嶋津直江殿・小

林外記殿・宮之原式部殿・山岡右京殿、書役町田孫右衛

門・久保喜藏・加世田正兵衛・岸良藤助弓、外ニ桂權七

郎様、左候而五ツ時分皆御帰ニ而候也、

今日中入来之人、今朝上村、今晚永山氏、

七月二日、晴天、

今日 川氏大鉄炮有之六ッ過より義岡家江参、藏人殿并ニ同八次郎殿・宮之原式部殿・同徳之助殿同道ニ而差越、七ッ過相濟、夫柏原川脇向江立より夜入時分帰ル、供角野喜之助ニ而候也、見物所は義岡家場ニ而候事、

七月三日、晴天天氣今日迄ニ而候、

今朝犬追物ニ而六ッ過より出不射四ッ過帰宅、供川畑平之助ニ而候事、

今日鉄炮式日ニ而届申遣候、此跡式日科玉前出シ後候ニ付、今日二度分出シ候事、

昨日中入来之人、永山氏・濱田本學院、記後ニ而こゝニ記ス、

今日中入来之人、永山氏、今晚森川孫八郎殿、

七ッ後より天神場々川上氏江木馬乗ニ参、日入前帰り直

ニ中太夫殿宅稽古へ出夜入過帰ル、供川畑平之助也、

川上家供は角野喜之助ニ而候事、

七月四日、晴天、

今朝は黒田氏江参候、供川畑平之助ニ而候事、今日八ッより柘木場々借座敷へ当番頭詰衆出張有之、八ッ時分より参暮時分帰ル、供角喜之助ニ而候事、今日中入来之人、

七月五日、晴天、

今朝より馬乗有之六ッ時より出五ッ前帰宅、供川畑平之助ニ而候事、

今日小林外記殿・平田平太左衛門殿・樺山權十郎殿、三人より詰前被相頼致出勤八ッより帰ル、供角野喜之助ニ而候事、

大鐘過より中太夫宅稽古江出、稽古不為日入過より桂家群書ニ而参夜入過帰ル、供川畑平之助ニ而候事、三日之式日今日ニ延有之候事、

今日中入来之人、四ッ後鳥丸清保、

七月六日、晴天、

今日講釈式日ニ而日入時分より黒田氏御出、外ニは無之候事、

今日中入来之人、永山氏、

七月七日、晴天、

今朝は犬追物馬乗ニ而候得とも不出候事、

四ツ前より節句ニ而御祝儀ニ出、御殿ニ而詰前被相頼九ツより直ニ帰宅、供喜之助・山次仲左衛門、出ルニは川

枝伊右衛門ニ而候処、喜之助来代り候事、

今日鍔ぼし致候事、

今日中入来之人、森川孫八郎殿、

今日節句之祝儀ニ入来之人、鎌田權右衛門殿・鎌田藤九

郎殿、右人数ニ而候也、

今日は稽古ニは不出候事、

今日中入来之人、今朝永山氏・上村氏・森川孫八郎殿、

今日鍔取入候事、

日入過より稽古江出候処、出席人無之直ニ帰宅、供川畑平之助ニ而候事、

七月九日、晴天、

今朝馬乗ニ而出五ツ時分帰宅、供川畑平之助ニ而候也、

今日より詰前ニ而四より致出勤八より帰ル、供角喜之助ニ而候事、

今日中入来之人、

七月十日、晴天、

今日も四ツより致出勤八ツより帰宅、供角野喜之助ニ而

候事、

今日中入来之人、

七月八日、雨天曇天、

七月十一日、晴天今朝少々雨降、

今朝六ツ時より馬乗江出五ツ時分帰宅、供川畑平之助ニ而候也、

今日も四より致出勤八ツより帰宅、供角野喜之助ニ而候事、

今朝上村半助殿被来候事、

七月十二日、晴天、

今日詰前ハ平田氏は先達而より替二日出勤いたし置候ニ

付、今日・明日平太左衛門殿へ相頼候事、

九ツ時分永山覺右衛門殿被来候事、

七月十三日、晴天、

今朝六ツ時分より犬追物、馬乗両方共ニ出四ツ時分帰ル、

犬追物は不射候也、

詰前今日迄ニ而候、平田氏江頼候ニ付出勤不致候事、

今朝供は川枝伊右衛門ニ而候事、

大鐘過例年之通御しやろふ直シ上候事、

七月十四日、晴天、

今日七ツ時分より福昌寺墓所延寿堂、興国寺墓所へ参日入前帰、供角喜之助ニ而候事、

夜入時分しよふろふ祭致候事、

八ツ時分上村氏被来候事、

今日四ツ前より延寿堂小主靈膳上ニ参、八ツ時分相濟帰り候事、

七月十五日、晴天今朝雨少々、四ツ後雨少々、

今朝六ツ時より馬乗江出日過帰宅、供川畑平之助ニ而候

事、

今日も延寿堂より坊主参、晩飯は拙者御親父様江上候事、

大鐘時分より南林寺へ墓参いたし、桂家墓・伊地知才吉

殿墓、

大中様脇之此方墓江も参日入時分帰宅、供角喜之助ニ而

候事、

しやうろふ祭昨日ニ同断、

昨夜五ツ時分鎌田藤九郎殿被来候事、

七月十六日、晴天、

今日講釈式日ニ而黒田氏御出、外ニ鳥丸六右衛門殿ニ而候事、

今晚永山覺右衛門殿被来候事、
上村氏は外迄被来候事、

七月十七日、晴天、

今朝犬追物ニ而射馬乗江も出、犬追物は射中矢一ツ有之候、四ツ時分帰ル、今朝は六ツ過より出候事、供川畑平之助、後角喜之助ニ而候也、
大鐘過より森川孫八郎殿入来ニ而候也、

七月十八日、晴天、

四ツ後森川孫八郎殿被来候事、
大鐘時分和田六郎殿宅稽古江出夜入時分帰宅、供川畑平

之助也、

昨日より六郎殿宅ニ而有之候事、

今晚桂權七郎様御入来ニ而候事、

七月十九日、晴天、

今朝は馬乗ニ而六ツ前より出五ツ前帰ル、供川畑平之助ニ而候事、

今朝湯地助左衛門殿一刻入来ニ而候也、

八ツ前より天神場々川上家へ木馬乗ニ参、八ツ過より山吹之間鉄炮二十筒式日ニ而出、日入時分相濟帰り掛、式部殿同道ニ而川上家江一刻参暮時分帰付候也、供角喜之助ニ而候事、

今晚鎌田十郎殿・中山次左衛門殿入来ニ而候事、

七月廿日、晴天、

今日は雨永く不降候ニ付雨希踊有之候、見合ニ記之者也、
大鐘過より和田氏剣術江出夜入過帰宅、供川畑平之助ニ

而候事、

今晚大河平八次殿入来ニ而暫は式日支記読方有之候ニ付
今晚読方いたし候事、

七月廿一日、晴天、

今朝六ツ時分より馬乗ニ而出五ツ前帰宅、供川畑平之助
ニ而候事、

当年は諏訪神事居頭役此方勤前ニ而、鎌田勘九郎殿江先
達而申渡被勤答ニ而候、已後見合ニ記之置者也、

七ツ時分より天神場々川上家へ木馬乗ニ參大鐘過帰宅、
供角野喜之助ニ而候也、

大鐘過より和田氏剣術江出暮時分帰宅、供川畑平之助ニ
而候事、

七ツ時分榊原安右衛門と云者来候、今晚永山氏・上村氏
被来候事、

七月廿二日、晴天、

今朝六ツ過より馬ニ而中道より尾黒下辺江乘廻いたし、

夫より西田町後通ニ而馬は返し、拙者計黒田氏江參五ツ
時分帰宅、供川畑平之助ニ而候也、

昼森川孫八郎殿被来候事、

大鐘過より和田氏剣術江出夜入比帰宅、供川畑平之助ニ
而候事、

七月廿三日、晴天、

今朝六ツ前より馬乗犬追物江一刻ツ、出、六ツ過帰宅、
供川畑平之助ニ而候也、

四ツ後より山吹之間中鉄炮新射場ニ而、六筒之人數分ケ
有之出、七ツ時分相濟夫より借座敷へ皆々被差越候ニ付
無是非參、五ツ前帰り掛義岡藏人殿・小林外記殿・平田
平太左衛門殿・山岡右京殿・宮之原式部殿・島津數馬殿
宅江被差越候ニ付是又無是非參、夫より小林氏・義岡氏
・平田氏江も參八ツ過帰宅、供角喜之助ニ而候事、

七月廿四日、晴天雨少々あゆる、

今日詰前故四ツより出八ツより帰宅、供角野喜之助ニ而候事、

屋濱田本學院来候、森川孫八郎殿被来候事、暮前上村氏一刻入来也、

今日此方軍書式日前ニ而暮時分より桂式部殿・同太七郎・

中山次左衛門殿入来ニ而五ツ過相濟、桂氏は直ニ帰りニ而候事、中山氏は八ツ前帰りニ而候也、

七月廿五日、晴天、

今朝六ツ前より馬乗ニ而出五ツ前帰ル、供重久龜次郎ニ而候事、

今日も四ツ前より致出勤八ツより帰ル、供角野喜之助ニ而候事、

七ツ後より湯地助左衛門殿・野村善殿・吉田孫右衛門殿
弓射ニ被參候、暮時分帰りニ而候事、

七月廿六日、晴天八ツ後より雨、日入前より晴レ、

今日も四ツ前より致出勤八ツより帰ル、供角野喜之助ニ而候也、今日は講釈日ニ而候処、黒田氏不快故無之候事、

八ツ後より日入前迄森川孫八郎殿入来ニ而候事、
四ツ後永山清兵衛殿入来ニ而候、今朝永山覺右衛門被来

候事、

日入時分より和田氏劍術江出候処、出席之人無之則帰り掛森川氏江參四ツ過帰宅、供川畑平之助ニ而候也、

七月廿七日、晴天夜明雨、四ツ時分雨、
晚五ツ過より雨

今朝六ツ過より犬追物へ出馬乗江も出、犬追物は射、夫より致出勤八ツより帰ル、供角野喜之助、朝ハ重久龜次郎ニ而候也、

大鐘過より劍術江出夜入前帰宅、供川畑平之助ニ而候事、

暮時分より宮之原式部殿宅へ咄ニ參八ツ過帰宅、供山次仲左衛門ニ而候事、

七月廿八日、晴天暮時分より雨、

今日も四ツ前より致出勤八ツより帰宅、供角野喜之助ニ
而候事、

今日蒲生衆中鎌田次右衛門外二人諏訪御祭相済、届ニ日
入時分参候ニ付、一刻致対面茶一ツニ而帰り候事、

七月廿九日、晴天八ツ過より七ツ過迄
雨降ル、雷ナル

今朝は馬乗江出候得とも、夕部雨ニ而馬場不宜候ニ付無
之候事、供川畑也、

詰前ハ昨日迄ニ而候事、

八ツ過より天神場々川上家へ参、夫より直ニ鉄炮二十筒
江出ル考候処、雨降出し候ニ付見合居候処、七ツ過雨止
ミ川上家前ニ而もれ有之、鬪ニ不当候ニ付直ニ鉄炮江出
候処、二十筒は相済候ニ付則帰り候事、供角喜之助也、
日入時分より馬ニ而中通より尾黒下辺江乗廻しいたし、
川田家小路より帰り事、(候脱カ)供川畑平之助ニ而候、中間はつ
れず候也、

八月朔日、晴天大鐘過より日入前迄
雨降

今朝は黒田氏へ差越候得とも、素読無之直ニ相帰り候、
供川畑平之助也、

今朝御礼日且節句ニ而候得共不出候也、
昼森川孫八郎殿被来候事、
昨夜上村半助殿被来候事、

今日祝儀ニ参候人、上村半助殿ニ而候也、
日入時分より劍術稽古江出夜入過帰ル、供川畑平之助ニ
而候事、

八月二日、晴天雷少々ナル、雨不降、

今朝六ツ時より馬乗江出五ツ前帰ル、供重久龜次郎ニ而
候事、

今朝永山氏・上村氏入来ニ而候事、
四ツ後鎌田藤次郎様御入来ニ而候也、
七ツ比より天神場々川上家へ参大鐘前帰宅、供角喜之助
ニ而候事、

大鐘比より和田氏劍術江出夜入時分帰ル、供川畑平之助ニ而候事、
今晚相良七郎左衛門殿入来ニ而候事、

八月三日、晴天、

今朝六ツ過より犬追物ニ而出射四ツ過帰ル、供重久龜次郎、矢取ニ角喜之助参候也、
四ツ後湯地助左衛門入来ニ而候事、
今日は二十筒式日ニ而候得共科玉出シ候也、
大鐘時分より和田氏劍術江出暮前帰ル、供川畑平之助ニ而候事、

暮時分より天神場々川上家木馬式夜ニ而参四ツ過帰ル、
供山次仲左衛門ニ而候也、

八月四日、晴天、

今朝六ツ前より馬乗ニ而出五ツ時分帰ル、供川畑平之助ニ而候事、

大鐘過より和田氏劍術江出暮時分帰ル、供川畑平之助ニ而候事、

八月五日、晴天今日月掛り之所江初而田かり候事、

今朝六ツ過より黒田氏江参五ツ時分帰リ候、供川畑平之助ニ而候事、
大鐘時分より和田氏劍術江出暮過帰ル、供川畑平之助ニ而候事、

大鐘前森川孫八郎殿入来ニ而候、今晚同人入来ニ而候事、
上村半助殿夜入前入来ニ而候事、

八月六日、曇天、

今朝六ツ過より馬乗ニ而出、夫より黒田氏江参候、供川畑平之助ニ而候也、

四ツ後より森川孫八郎殿入来ニ而、永吉村弦差へ弦頼ニ差越九ツ過帰ル、供角喜之助也、

昨夜鎌田藤之助殿入来、一刻ニ而被帰候由、拙者へ他出

ニ而候事、

七ツ比より川上家江木馬乘ニ參大鐘時歸ル、供角野喜之助ニ而候事、

大鐘過藥師場々ニ而馬ニ乘、夫より和田氏劍術江出、晚迄仁禮善左衛門殿・折田善庵殿・森川孫八郎殿咄、九ツ過歸ル、供川畑平之助ニ而候也、

今日は講釈式日ニ而候得共、黒田氏未不快ニ而無之候事、大鐘時湯地助左衛門殿一刻入来ニ而候也、

八月七日、曇天後晴天、

今朝六ツ過より犬追物江出、拙者馬今朝致血差候ニ付不射、五ツ前歸り懸中山次左衛門殿宅へ一刻參歸ル、供川畑平之助ニ而候事、

昨夜永山覺右衛門殿入来ニ而候由、拙者ハ留守ニ而候事、今朝五ツ過上村氏入来ニ而候事、
今晚も永山氏入来ニ而候事、

大鐘過より和田氏劍術江出暮過歸ル、供川畑平之助ニ而

候事、

当年八朔は南より役人名代川枝源左衛門来候、朔日ニ役人庄屋家中相中森田郷左衛門致対面候事、留後故此所ニ記也、

八月八日、晴天、

今朝六ツ過より馬乘江出五ツ時分歸ル、供川畑平之助ニ而候也、

八ツ過より堀四郎左衛門様宅へ一刻參、七ツ過歸り懸和田氏江出稽古二遍いたし則歸ル、供角喜之助ニ而候也、
先日加治木十郎と云人江此方用頼上、聞平山源八殿を以桂權七郎様より御頼被成、今晚初而入来之筈ニ而權七郎様大鐘比より御出ニ而候、加治木氏は暮時分より入来ニ而候、外ニ小森八左衛門殿・鎌田權右衛門殿・永山氏・上村氏入来ニ而候、四ツ過皆々歸リニ而候事、

八月九日、晴天
四ツ後一刻雨、
雨時々曇
(より脱カ)
夫時々

今朝日出前より相良七郎左衛門殿致同道翰師梶屋江太刀
柅候ニ付頼ニ参、夫より黒田氏江参候処、新左衛門殿少
々病氣ニ而三日は無之由ニ而則帰ル、供重久龜次郎ニ而
候也、

大鐘前より和田氏劍術江出暮過帰ル、供重久龜次郎、後
川畑平之助也、
和田氏より帰り懸森川氏江参五ッ過帰ル、供同人也、

八月十日、雨天四ツ後晴、八ツ時分より雨、
七ツ前より曇、

今朝は馬乗ニ而候得とも雨天ニ而不出候也、
今日より詰前ニ而四ッ討過より致出勤、八ッより隆香様(鎌田正徳)
二百五十年忌ニ而福昌寺墓所へ参七ッ前帰宅、供角野喜
之助ニ而候事、

今日加治木十郎殿一刻入来之由、拙者ハ御殿ニ而候事、
大鐘過より和田氏劍術江出暮過帰ル、供重久龜次郎也、
今晚森川孫八郎殿入来ニ而候、鎌田藤次郎殿も入来ニ而
候事、

八月十一日、曇天四ツ前より雨、
後雨、亦止ミ、
晚九ツ過より雨、
今日も致出勤八ッより帰ル、供角野喜之助ニ而候也、
七ッ時分永山覺右衛門殿被来候也、

日入時分より和田氏劍術江出夫より式夜ニ而九ッ時分迄
座抜なといたし帰ル、供重久龜次郎也、式夜出席之人、
仁禮善左衛門殿・森川孫八郎殿・拙者ニ而候事、

八月十二日、曇天今朝六ッ時分雨フル、八ッ前雨、
夫より止ミ七ッ時分より大雨

今朝馬乗江は雨天ニ而不出候事、
今日御親父様御正忌日ニ而、九ッ比より墓参いたし八ッ
前帰宅、供角野喜之助ニ而候事、

八月十三日、雨天八ッ後より曇、

今朝犬追物江は雨天ニ而不出候也、
今日も四ッ前より致出勤八ッより肝付典膳殿宅へ当番頭
中被差越、拙者共ニも可参旨ニ而参暮過帰ル、供角野喜
之助ニ而候事、

昨日詰前は同組江頼合出勤不致候事、

今日上村半助殿被来候由、拙者ハ留主ニ而候事、

八月十六日、晴天、

今朝馬乗江六ツ時より出同過帰ル、供川畑平之助ニ而候事、

八月十四日、晴天、

今朝六ツ時より馬乗江出同過帰ル、供川枝伊右衛門ニ而候事、

今日は義岡藏人殿・嶋津直江殿・小林外記殿より詰前被相頼四ツより致出勤八ツより帰宅、供川枝伊右衛門、後角野喜之助ニ而候也、

今日も四ツ前より致出勤八ツより帰ル、供角野喜之助ニ而候事、

八ツ前より八ツ過(迄カ)より永山覺右衛門殿被来候事、七ツ比より中山次左衛門殿宅江一刻参、夫より川上家江

大鐘過より和田氏劍術江出暮過帰宅、供川畑平之助ニ而候也、

木馬乗ニ参日入前帰ル、供角喜之助ニ而候事、夜入前薬師場々ニ而馬ニ乗暮時分帰リ、則和田氏式夜ニ

八月十五日、晴天、

今日は御礼日ニ而候得とも不出候事、

而出九ツ時分帰宅、出席之人、仁禮善左衛門殿・拙者・六郎殿迄三人ニ而候、供川畑平之助也、

今朝四ツ前上村氏入来ニ而候也、

八月十七日、曇天四ツ比少々雨、九ツ前より雨天、

四ツ過より八ツ過迄森川孫八郎殿入来ニ而候也、大鐘過より和田氏劍術江出暮比帰ル、供川畑平之助ニ而

今朝犬追物ニ而五ツ前より出馬不為致候ニ付不射四ツ比帰ル、郷犬九疋入候、供川畑平之助、後角野喜之助ニ而

候事、

候也、

八過より川上家江木馬乗ニ参暮前帰ル、供川畑平之助、後角野喜之助ニ而候事、

八月十八日、雨天、

今朝は雨天故馬乗ニは不出候也、

八ツ前萩原喜春 御か様少々御不快ニ有之参候也、

七ツ後一刻中山次左衛門殿入来ニ而候也、

八ツより加治木十郎殿・上村半助殿・永山覺右衛門殿入来、暮前より内江被来暮過帰りニ而候事、

八月十九日、半天、

八ツ前より山吹之間鉄炮二十筒式日ニ而出、日入時分帰り掛川上家江一刻木馬乗ニ参暮時分帰ル、供角野喜之助ニ而候事、

八月廿日、半天、

今日は鎌倉流谷山江稽古遠馬有之、四ツ前より演武館揃

ニ而参、日入時分帰り直ニ嶋津矢市郎殿御借馬へ乗参候ニ付彼方へ乗参、夫より和田氏江一刻出、稽古は不為暮前帰り候事、供角喜之助、遠馬之供は山次仲左衛門ニ而候事、拙者馬は鷲崎喜兵衛殿乗被行候事、

八月廿一日、半天、

四ツ後森川孫八郎殿被来候事、

八ツ前永山覺右衛門殿一刻入来ニ而候也、

八ツ後中山次左衛門殿被成入来候事、

今朝湯地助左衛門殿一刻入来ニ而候也、

大鐘前より和田氏劍術江出大鐘過帰宅、供川畑平之助ニ而候事、

当月十四日之軍書式日今日ニ致、暮前より桂式部殿・同太七郎殿、暮過より中山才之丞殿入来、五ツ時分相済御帰りニ而候、才之丞殿は四ツ時分被帰候事、次左衛門殿江戸登前ニ而才之丞殿被替候事、

右故今晚和田氏式夜江は不得出候也、

八月廿二日、半天、

今朝馬乗江出候得とも、稽古馬血差有之一七日は無之由
ニ而候事、

今朝永山覺右衛門殿被来候事、

四ツ後森川孫八郎殿一刻被来候也、

七ツ前上村半助殿入来ニ而候事、

七ツ比より川上家江木馬乗ニ參大鐘前婦宅、供角野喜之

助ニ而候事、

大鐘時より和田氏劍術江出暮過帰ル、帰り供川畑平之助

ニ而候事、

今晚森川孫八郎殿一刻被来候也、

八月廿三日、半天、

今朝犬追物ニ而五ツ前より出不射、犬追物相濟より和田
氏演武館ニ而出六ツ前帰ル、供川畑平之助、後角野喜之

助ニ而候事、

今朝五ツ前より四ツ時迄永山覺右衛門殿被来居候事、

八ツ過より川上家江木馬乗ニ出大鐘過帰ル、供角野喜之

助ニ而候事、

日入時分川田家下ニ而拙者馬江乗、夫より森川氏江一刻

參、暮時分より桂家群書ニ而參五ツ過帰ル、供角野喜之

助ニ而候也、

八月廿四日、半天、

四ツ後森川孫八郎殿被来候事、

八ツ後より暮時分迄永山覺右衛門殿入来ニ而候事、

七ツ前より川上家江木馬乗ニ參、大鐘前婦り掛中山才之

丞殿致同道玉里御茶屋拜見ニ參暮過帰り候、供山次仲左

衛門ニ而候事、

右故和田氏江は不得出候事、

八月廿五日、晴天、

今日詰前ニ而初而之

御目見有之候ニ付席詰有之五ツ時より出、八ツより市田美作殿先達而着ニ付祝儀ニ参八ツ後帰宅、供山次仲左衛門、後角喜之助ニ而候也、

今朝四ツ過上村氏入来ニ而候由、拙者は留主ニ而候事、八ツ過より暮過迄鎌田喜平太殿入来ニ而候、七ツ過上村半助殿入来ニ而候也、

暮過鎌田藤之助殿被来候事、

暮時分より大河平八次殿被来四ツ時分帰りニ而候事、

大鐘過より和田氏江出候得とも、稽古無之直ニ帰り懸森川氏江一刻参暮前帰り候、供川畑平之助也、

八月廿六日、晴天、

今朝は黒田氏江参候得とも支ニ而無之候、供川畑平之助

ニ而候事、

三日跡より素読有之候事、

今日も致出勤八ツより帰ル、供川枝伊右衛門、後山次仲

左衛門ニ而候事、

八ツ後一刻加治木十郎殿入来ニ而候也、

今日は講釈式日ニ而候得とも、黒田氏支ニ而無之候事、七ツ比より川上家江参日入時分帰り、則和田氏劍術江出、式夜ニ而晚迄居四ツ時分少々は先ニ帰り候、供川枝伊右衛門、後川畑平之助ニ而候事、

式夜出席人数、仁禮善左衛門殿・折田善庵殿・森川孫八郎殿・拙者・六郎殿ニ而候事、

八月廿七日、晴天、

今朝五ツ時分より犬追物へ出不射、夫より致出勤八ツより帰ル、供川枝伊右衛門、夫より山次仲左衛門、後川枝伊右衛門ニ而候事、

八ツ後永山氏被来候事、

七ツ比より川上家江参大鐘過帰り候、供伊右衛門ニ而候也、

日入前川田家下ニ而馬ニ乗、夫より劍術江出、暮過帰り

懸森川氏江參四ツ時分歸ル、供川畑平之助也、

衛門ニ而候事、

八月廿八日、晴天七ツ後一刻雨(虫喰)雨止ミ候夜ル(虫喰)ツ時分

八月晦日、半天雨四ツ後少々あゆる、暮過より雨

今朝馬乗ニ而六ツ過より出五ツ比歸ル、供川畑平之助ニ而候事、

今朝六ツ過より馬乗江出五ツ比歸ル、供川枝伊右衛門ニ而候也、

今日も四ツより致出勤八ツより帰り候、供川枝伊右衛門ニ而候事、

九ツ過より和田氏演武館ニ而出、八ツ前より川上家江參七ツ前歸宅、供川枝伊右衛門ニ而候事、後川平也、

七ツ過より森川氏江參、日入前より翰師梶屋源左衛門江相良七郎左衛門殿・森川孫八郎殿同道ニ而參、夫より森川氏と和田氏劍術江出暮比歸ル、供川畑平之助ニ而候事、暮過より川上家木馬式夜ニ而參四ツ過歸宅、供山次仲左衛門ニ而候也、

七ツ過上村氏・永山氏内江一刻入来ニ而候、同時分相良七郎左衛門殿一刻入来也、大鐘過より和田氏劍術江出、暮前彼方門より相良氏致同道翰師梶屋江參暮比歸ル、供川畑平之助也、

八月廿九日、晴天今晚夜明前としよ江出火有之候、

九月朔日、半天今朝四ツ前迄雨

今日も四ツより致出勤、八ツより山吹之間二十筒ニ而出

今日は小林外記殿より被頼致出勤八ツより歸宅、供角野喜之助也、

十六筒ニ而引、日入前歸り懸川上家へ木馬乗ニ參暮時分歸ル、供山次仲左衛門ニ而候也、今朝出候ニは川枝伊右

八ツ後より大鐘時迄小森八左衛門殿入来ニ而候事、大鐘過より和田氏劍術江出、暮前歸り五ツ前より又式夜

故出八ッ過帰宅、供川畑平之助ニ而候事、

暮前より同過迄中山次左衛門殿入来ニ而候事、

九月二日、晴天、

今朝馬乘ニ而出六ッ時より同半時分帰宅、供川畑平之助

ニ而候事、

七ッ前より森川孫太夫殿致同道不知頭師鯨嶋と云者江参

夫より川上家江参大鐘過玄館迄帰り、則森川氏下ニ而出、

孫太夫より馬乗有之候ニ付見、夫より和田氏剣術江出暮

時分帰宅、供川枝伊右衛門、後川畑平之助ニ而候事、

大鐘比より四ッ過迄桂權七郎様御入来、永山覺右衛門殿

も入来ニ而候也、

九月三日、晴天、

今日は宮之原式部殿より詰前被相頼、四ッ時より犬追物

へ一刻出、夫より致出勤八ッより帰宅、供川枝伊右衛門

也、

今日より犬追物は昼稽古ニ而候也、

大鐘比より和田氏江出暮前帰宅、供川畑平之助ニ而候也、

暮過より川上家式夜ニ而出、木馬二廻半乘四ッ過帰ル、

供川畑平之助、帰りニは山次仲左衛門ニ而候事、

大鐘過より暮過迄堀四郎左衛門殿御入来ニ而候事、

九月四日、半天夜明前雨、夫より少々ツ、あゆる

今朝は馬乗江出候得とも、雨少々降り候ニ付無之候、供

川畑平之助也、

四ッ前赤松主水様御入来ニ而候事、

八ッ過より川上家江参、七ッ過より花岡屋敷前ニ而もれ

有之大鐘過帰ル、供川畑平之助ニ而候事、

日入過より中山次左衛門殿入来ニ而中道尾黒下辺江廻り

川田家小路より帰り候、供前ニ同人、次左衛門殿は又入

来ニ而四ッ時分帰りニ而候事、

大鐘過一刻上村氏入来ニ而候事、

九月五日、半天四ツ後雨少々一刻あゆる

今朝は黒田氏江参、帰り掛梶屋江寄帰宅、供川畑平之助ニ而候也、

跡月廿三日より素読有之候事、

今日は川上箭七郎殿など企遠馬有之、四ツ時分より川上家へ参、夫より差越暮時分帰宅、供山次仲左衛門ニ而候也、人数都合十四五人有之候事、

柏原川ニ而馬よりはねられ舟中江落馬いたし候事、暮過より五ツ時分迄鎌田藤次郎様御入来ニ而候事、

九月六日、半天四ツ前より雨天、

今朝馬乗ニ而六ツ過より出五ツ比帰宅、供川畑平之助ニ而候事、

今日は講釈式日ニ而候得共、黒田氏支ニ而無之候事、

暮前より中山次左衛門殿入来ニ而原良屋敷へ致同道参、九ツ時分帰り候、供川畑平之助、帰りニは川枝伊右衛門も供ニ而候也、

九月七日、晴天、

今朝は黒田氏江参候、供川畑也、

四ツ過より犬追物へ出不射八ツ前帰ル、供山次仲左衛門ニ而候事、

七ツ比より川上家江参大鐘比帰宅、森田勘左衛門ニ而候事、

勘左衛門は伊右衛門代りニ先日参候也、

大鐘過より和田氏江出暮過帰宅、供川畑平之助ニ而候也、

九月八日、半天、

今朝六ツ過より馬乗江出五ツ時分帰宅、供川畑平之助ニ而候事、

四ツ後より八ツ前迄森川孫八郎殿被来候也、

八ツ過より川上家江参大鐘過帰宅、供森田勘左衛門ニ而候事、

暮時分より式夜ニ而又出四ツ過帰ル、供右同人ニ而候事、暮比より五ツ時分迄永山覺右衛門殿入来ニ而候事、

九月九日、半天今朝雨、夫より止ミ亦少々八ッ過より大雨、

今日は節句ニ而候得とも御祝儀江は不出候事、

今日節句祝儀ニ内江入来之人、鎌田權右衛門殿・鎌田喜

平太殿・上村半助殿ニ而候事、

暮前より五ッ比迄森川孫八郎殿入来ニ而候事、

九月十日、晴天、

今日より詰前ニ而初而之

御目見有之、席詰有之候ニ付五ッ半時分より八ッより馬

乗江出八ッ半比帰宅、供山次仲左衛門ニ而候事、

馬乗今日より昼稽古ニ而候事、

大鐘比より和田氏劍術江出暮過帰ル、供川畑平之助ニ而候事、

今晚大河平八次殿被来暮過より四ッ過被帰候、先達而よ

り支記素読三々ニいたし置候得とも十々ニ相替候事、

九月十一日、晴天、

今朝は黒田氏江參候、供川畑也、

今日も致出勤八ッより帰宅、供森田勘左衛門ニ而候事、

昼永山覺右衛門殿被来候事、

八ッ過より川上家へ參大鐘過帰ル、供川枝伊右衛門ニ而

候事、

日入前より和田氏江出式夜ニ而晚迄居、拙者ハ五ッ過帰

り候、出席之人、仁禮善左衛門殿・木場清藏殿・折田善

庵殿・拙者ニ而候、六郎殿は病氣ニ而候也、供川畑平之

助、後川枝伊右衛門ニ而候也、

九月十二日、晴天、

今日は詰前ハ頼合不出候事、

大鐘前より和田氏劍術江出日入時分帰ル、供川畑平之助

ニ而候也、

和田氏より帰り直ニ拙者馬ニ川田家下ニ而乘候事、

八ッ前より馬乗江出、八ッ過帰掛桂權七郎様御宅へ一

刻罷出帰宅、供山次仲左衛門ニ而候事、

八ッ後より晚四ッ比迄永山覺右衛門殿入来ニ而候事、

九月十三日、雨天八ッ前より半天、夫より時々雨、

今日は四ッより致出勤、出懸犬追物場江出八ッより帰ル、

供森田勘左衛門、後川枝伊右衛門ニ而候事、

七ッ比より相良七郎左衛門殿致同道、鮫嶋傳右衛門と云

ふち頭細工人江参、夫より翰師梶屋江参大鐘比帰ル、供

川畑平之助ニ而候也、相良氏婦り懸一刻被来候事、

大鐘過より和田氏江出暮前帰ル、供同人ニ而候也、今朝

も六ッ前より出候事、

八ッ前より大鐘過迄永山氏入来ニ而候事、

九月十四日、晴天、

今朝五ッ比仁禮善左衛門殿鑑借ニ被来候事、

今日も四ッ前より致出勤八ッより馬乗江出則帰ル、供川

枝伊右衛門ニ而候事、

詰前今日迄ニ而候事、

大鐘比より和田孫右衛門殿鑑借ニ被来候事、

大鐘過より和田氏江出暮前帰宅、供川畑平之助ニ而候也、

暮時分仁禮善左衛門殿・丸田喜平太殿此方より鑑着被参

候事、

相良七郎左衛門殿・森川孫八郎殿・山本彌太郎殿・和田

六郎殿鑑着見ニ被来候事、

九月十五日、晴天暮過より雨天、

今日は御礼日ニ而候得とも不出候事、

五ッ比より桂權七郎様海魚釣ニ可参旨昨日御約束ニ而候

得とも、今朝断申上候処、又々可参旨御使ニ而候間四ッ

過より参候処、舟間違ニ及皆直ニ帰り候、拙者ハ婦り懸

川上家へ一刻参九ッ過帰宅、供山次仲左衛門ニ而候也、

八ッ比永山氏入来ニ而候也、

今晚軍書式夜いたし暮過より桂式部殿・同太七郎殿・中

山才之丞殿入来、四ッ前相済候事、

九月十六日、雨天八ツ前曇天、雨止ミ候

当分黒田氏素読は新左衛門殿湯治トフテニ而十三日より無之候事、

今日講釈式日ニ而候得とも右故無之候也、

八ツ前より馬乗江出候処、日置氏かどニ而森川孫太夫殿へ行合無之段承則帰ル、供森田勘左衛門ニ而候也、

八ツ過より川上家へ参、七ツ過より日置屋敷前ニ而もれ有之参、夫より種子ヶ嶋家鉄炮式日ニ而射場江出候処、

出席人無之日入時分帰宅、供同人、南林寺下より川畑平之助、夫より山次仲左衛門ニ而候也、

今晚は和田氏式夜ニ而候得とも不出候事、

九月十七日、晴天、

今朝犬追物犬取ニ而六ツ過より出四ツ後帰宅、供川畑平之助、後川枝伊右衛門ニ而候事、

七ツ過より大鐘過迄森川孫八郎殿被来候事、

大鐘過より孫八郎殿致同道和田氏江出候処、出席之人無

之則帰ル、供川畑平之助ニ而候事、

孫八郎殿又被来五ツ過被帰候也、

九月十八日、晴天八ツ過より雨止ミ亦晩前より雨

今朝和田孫右衛門殿鑑帰シニ被来候事、

四ツ前湯地助左衛門殿被来候也、

昨日御用触来候ニ付可覚記置候也、

御用之儀候間明後十九日四時可被出旨但馬殿依御差図申達候、以上、

九月十七日

嶋津主計

鎌田藤馬殿

御請書覚

私事御用之儀有之、明後十九日四時可被出旨但馬殿御

差図之段奉畏候、此段御請申上候、以上、

九月十七日

鎌田藤馬

嶋津主計様

八ツ前より馬乗江出八ツ過帰宅、供山次仲左衛門ニ而候

事、

七ツ比川田家下ニ而拙者馬ニ乗候也、

今晚川上氏式夜ニ而六ツ前より出四ツ時帰ル、供川枝伊

右衛門ニ而候也、

九月十九日、晴天、

今日四ツ前より御用ニ而出候処、家来森田主左衛門・永

山和泉・森田喜助去寅年御貸上金之儀被仰渡候処、致差

上金候御褒美之事ニ而候事、右之御書付写置候、

鎌田藤馬家来
大始良南村居住

森田主左衛門

森田喜助

永山和泉

右は去ル寅年御貸金之^(上脱之)儀被仰渡候処、致差上金御褒美被

思召上候、

右御格申通可申渡候、

九月

但馬

七ツ後上村半助殿入来ニ而候事、

日入前より和田氏江出暮過帰宅、供川畑平之助ニ而候事、

今日御用九ツ過致承知、嶋津但馬殿、御用人島津主計殿

江致御礼廻、夫より菱刈李之介殿江昨日御家老被仰付候

ニ付祝儀ニ參八ツ比帰ル、供角野喜之助ニ而候事、

喜之助は先達而帰、虫より被食不出候処、今日より出候

事、

九月廿日、晴天、

今朝和田氏江六ツ前より朝稽古へ出五ツ前帰ル、供川畑

平之助ニ而候也、八ツ前より馬乘江出、夫より犬追物木

馬稽古江出七ツ時分帰ル、供角野喜之助ニ而候也、

四ツ後一刻森川孫八郎殿被来候也、

日入比より小森八左衛門殿入来ニ而五ツ過帰リニ而候、

一昨日伊十院郷士鎌田甚左衛門系図之儀ニ付參候ニ付、

昨日手紙遣置候処、今日入来ニ而系図之儀も被相尋、已

後可相調旨ニ而候、甚左衛門茂八左衛門殿より少シ跡ニ

帰りニ而候事、

七ツ後より永山覺右衛門殿も被来、甚左衛門と一所ニ被
歸候事、

九月廿一日、晴天雲一ツもなし、

四ツ前森川孫八郎殿一刻被来候也、

九ツ比より八ツ過迄同人入来ニ而候事、

晩前より和田氏式夜ニ而出候処、出席之人無之直ニ帰宅、

供川畑平之助也、

大鐘過薬師場々ニ而拙者馬ニ乗候事、

九月廿二日、晴天、

今日八ツ前より馬乗江出八ツ過帰り候、供角野喜之助ニ
而候也、

今日より精学を勧之心起候事、

大鐘比より和田氏剣術江出暮過帰ル、供川畑平之助ニ而
候事、

八ツ過より大鐘前迄森川孫太夫殿・同孫八郎殿弓射ニ入
来ニ而候事、

九月廿三日、晴天、

今日四ツ比より犬追物江出八ツ前帰宅、供角野喜之助ニ
而候也、

九月廿四日、晴天、

今日も八ツ前より馬乗江出八ツ過帰ル、供角野喜之助ニ
而候事、

大鐘比より森川氏江参暮前帰り候、供川畑平之助ニ而候
事、

暮過より大河平八次殿式夜ニ而被来候事、

九月廿五日、晴天、

今日より詰前ニ而四ツ前より出八ツより帰宅、供角野喜
之助ニ而候也、

今日は詰衆より当番頭江義岡藏人殿・島津直江殿・宮之原式部殿御役有之候事、

無役より詰衆へ島津市十郎殿・高橋要人殿被入候事、

大鐘過より和田氏劍術江出暮過帰ル、供川畑平之助ニ而候事、

今晚森川孫八郎殿被来ニ而候也、

九月廿六日、晴天、

今日は右京殿江詰前は相頼不出候事、

今日は講釈式日ニ而候へとも、黒田氏へ(池)また湯地ニ而候事、

大鐘過より和田氏江出、夫より式夜ニ而四ツ過帰宅、供

川畑平之助也、

出席人数、仁禮善左衛門殿・六良殿・拙者ニ而候事、

九月廿七日、晴天、

今日は四ツ前より犬追物江出、夫より直ニ致出勤、八ツ

より高橋要人殿・島津直江殿・島津市十郎殿江祝儀ニ参七ツ過帰り候、仁十郎殿江も先達而大目附江御役替之祝儀も申候、供角喜之助、今朝は川枝伊右衛門也、

九月廿八日、晴天夜明前雨

今日も四ツ前より(島津貴久)大中様江参敬いたし、夫より致出勤

八ツより馬乗江出、夫より穎娃主膳殿今日詰衆被仰付候

ニ付祝儀ニ参、宮之原式部殿江も御役替之祝儀ニ参、夫

より赤松主水様御方へ一刻参七ツ比帰宅、供角野喜之助

ニ而候也、

大鐘比より和田氏劍術江出、暮時分より桂家江昨廿五日之軍書式夜今晚有之参五ツ過帰ル、供川畑平之助ニ而候

事、

詰前与合替り候ニ付今日迄ニ而相済候事、

數馬・右京・要人・外記・平太左衛門・主膳・權十郎・

藤馬・市十郎、右与合ニ而候也、

九月廿九日、晴天、

四ツ後森川孫八郎殿一刻被来候事、

今日九ツ過より義岡藏人殿へ御役替祝儀ニ參、夫より種子ヶ嶋直太郎殿宅へ一刻參八ツ前帰ル、供角野喜之助也、八ツ後より同席中宮之原式部殿宅へ可參旨ニ而參夜入五ツ過帰宅、供角野喜之助、後山次仲左衛門ニ而候事、

十月朔日、晴天、

今日は御礼日ニ而候得共不出候事、

八ツ前より演武館馬乘江出八ツ過帰宅、供角野喜之助ニ而候事、

四ツ過より八ツ前迄森川孫八郎殿被来候也、

大鐘比より和田氏劍術江出、夫より式夜ニ而四ツ前帰ル、供川畑平之助ニ而候也、

出席人、仁禮善左衛門殿・山本彌太郎殿・森川孫八郎殿・六郎殿・拙ニ而候事、

十月二日、晴天、

九ツ過一刻上村半助殿被来候事、

今日は谷山脇田ニ而山田權兵衛殿・川上郷兵衛殿・比志嶋長次郎殿右三人江川上家門弟中より饒別有之、可參旨候得とも不差越候事、

四ツ比中山次左衛門殿一刻入来ニ而候也、

跡月廿九日四ツ後鎌田藤次郎殿一刻御入来ニ而候也、

八ツ後鎌田權右衛門殿一刻被来候也、

大鐘比より和田氏江出暮過帰宅、供川畑平之助ニ而候事、大鐘過より桂權七郎様御出、四ツ比御帰りニ而候也、

十月三日、晴天、

今朝は六ツ前より和田氏へ稽古江出五ツ前帰ル、供川畑平之助ニ而候也、

四ツ比より犬追物江出、夫より馬乘江出七ツ前帰ル、供角野喜之助ニ而候事、

大鐘比より和田氏江出暮前帰ル、供今朝ニ同人ニ而候也、

暮時分より川上家木馬式夜ニ而出四ツ前帰宅、供川畑平之助、後山次仲左衛門也、

十月四日、晴天、

今朝六ツ時より和田氏江出同半時分帰ル、供川畑平之助ニ而候也、

四ツ後森川孫八郎殿一刻入来ニ而候也、

今日八ツ後より高橋要人殿宅へ同席中可参旨ニ而八ツ時分より島津縫殿殿・島津登殿御役替祝儀ニ参、夫より高橋家へ参暮過帰り候、供角喜之助ニ而候也、

当番頭詰衆計寄客不致様但馬殿より沙汰有之候由ニ而今日は詰衆計ニ而候事、

今月朔日嶋津縫殿・嶋津登殿若年寄へ御役替ニ而候也、

十月五日、晴天、

八ツ前より馬乗江出八ツ後帰宅、供角野喜之助ニ而候事、

八ツ後永山覺右衛門殿・上村半助殿被来候事、

今日より川枝伊右衛門勘定柴助七殿相頼有之候事、八ツ過より大鐘前迄森川孫八郎殿被来居候事、

大鐘比より和田氏江出暮過帰宅、供川畑平之助ニ而候事、

十月六日、半天、

今朝六ツ時より稽古へ出同半時分帰ル、供昨ニ同人ニ而候也、

四ツ後孫八郎殿一刻被来候事、

八ツ後永山氏被来候事、

今日も勘定有之候事、

大鐘比より和田氏江出暮前帰ル、暮過より式夜ニ而又出四ツ過帰宅、供川畑平之助ニ而候也、

今日は講釈日ニ而候得とも、黒田氏未湯治ニ而候事、

十月七日、曇天、

今日馬乗与頭見分有之四ツ時より出、犬追物江も出、森川孫太夫殿馬ニ而射候処落馬いたし候、八ツ時分相済、

夫より島津市十郎殿宅へ今日同席中可参旨ニ而候間参暮
過帰宅、供角野喜之助ニ而候事、

八ッ比堀四郎左衛門殿御入来之由、拙者へ留主ニ而候事、

十月八日、雨天九ツ比より晴、

今日は小林外記殿・平田平太左衛門殿より詰前被相頼、

四ッより致出勤八ッより帰ル、供川畑伊右衛門、^(後カ)後角喜

之助ニ而候也、

今日は勘定柴助七殿被来有之候、今日迄ニ而相濟候也、

八ッ後上村半助殿被来候事、

拙者馬不宜候ニ付今日能キ馬居候ニ付替候、青馬ニ而候

事、

川田家下ニ而替候馬ニ乗候事、

大鐘過より和田氏江出日入過帰宅、供川畑平之助ニ而候

也、

暮時分より川上家式夜ニ而出五ッ比帰ル、供同人ニ而候

也、

十月九日、晴天、

今日 ^(島津奔興) 太守様御発駕ニ付五ッ過より出、四ッ時 御発駕

有之跡ニ而御祝儀有之候、御祝儀前ニ御用人より申渡有

之候、一匁出銀当年迄は今通ニ而来年より厚キ以

御思召被成御免と之事ニ而候也、

八ッ前退出、夫より馬乘江出八ッ後帰宅、供山次仲左衛

門ニ而候事、

大鐘過より和田氏江出候処稽古無之、帰り掛森川氏江参

暮過帰宅、供川畑也、

十月十日、晴天、

今日より詰前ニ而四ッ前より出八ッより帰ル、供山次仲

左衛門、後角喜之助ニ而候也、

八ッ後永山氏・上村氏入来ニ而候也、

七ッ過小森八左衛門殿、今日御馬預郡奉行勤ニ御役替ニ

而礼ニ被来候事、

日入比より和田氏江出暮過帰ル、供川畑也、

今晚大河平八次殿被来候、式夜ニ而暮過より木場平左衛門殿同道ニ而被来候、四ツ過帰りニ而候也、

十月十一日、晴天、

今朝六ツ時より和田氏稽古へ出日出過帰ル、供川畑平之助ニ而候也、

今朝五ツ過森川孫八郎殿一刻被来候也、

四ツ比上村氏一刻被来候事、

御ぢゝ様今日より市來湯治江二三日之間御出ニ而候事、

八ッ前より馬乗江出、八ッ後より同席中鉄炮有之出暮過

帰ル、供角喜之助ニ而候事、

今日詰前ハ頼合不出候事、

暮過鎌田藤次郎殿一刻御入来ニ而候也、

今晚八ッ比平田平太左衛門殿・小林外記殿・檢見崎平太

殿・山岡右京殿宅へ被参候由ニ而帰り掛被来候事、

十月十二日、晴天、

今日は四ツより致出勤、八ッより南林寺江墓参いたし、

伊地知氏墓・桂家墓江も参八ッ過帰宅、供角喜之助ニ而候也、

日入比より和田氏江出暮過帰宅、供川畑平之助ニ而候事、

十月十三日、半天時々少々雨、

今日も四ツより致出勤、九ッ過より犬追物別働いたし犬

追物江出、夫より馬乗江も出八ッ後帰宅、供角喜之助也、

七ッ前より山吹之間二十筒式日ニ而出、暮過帰り掛川上

家式夜ニ而出四ツ過帰ル、供同人川上家より帰りニハ山

次仲左衛門ニ而候也、

今朝永山覺右衛門一刻被来候也、

十月十四日、半天時々少々雨、

今日も四ツより出八ッより帰宅、供角野喜之助ニ而候事、

詰前今日迄ニ而候事、

大鐘過より和田氏江出暮過帰ル、供川畑平之助ニ而候也、

十月十五日、晴天、

今日は御礼日ニ而候得とも不出候也、

四ツ後森川孫八郎殿一刻被来候事、

九ツ過より川上家へ木馬乗ニ參、夫より演武館馬乗へ出

八ツ後帰ル、供角野喜之助ニ而候也、

大鐘過より稽古江出候得とも無之則帰ル、供川畑平之助

ニ而候事、

和田氏より直ニ森川孫八郎殿被来暮時分被帰候也、

暮過より軍書式夜ニ而桂式部殿・中山才之丞殿入来ニ而

五ツ比御帰りニ而候事、

十月十六日、曇天時々雨、

四ツ後より八ツ比迄森川孫八郎殿入来也、

今日は講釈式日ニ而候得とも、黒田氏差支ニ而無之候事、

七ツ過より種子嶋家鉄炮山之射場式日ニ而出候処、平之

馬場より雨降掛候ニ付天神ば、川上家へ參、木馬ニ乗鉄

炮江は不出帰り候、供角喜之助也、

今晚ハ稽古江は不出候、式夜ニ而候得とも夫ニも不得出

候事、

七ツ過より晚四ツ比迄上村氏入来也、

十月十七日、晴天、

今日四ツ過より犬追物へ出、夫より馬乗江も八ツ後帰宅、

供角野喜之助也、

八ツ後永山氏一刻入来之由、拙ハ留主也、

七ツ後上村氏一刻入来ニ而候事、

大鐘比より和田氏劍術江出暮過帰ル、供川畑平之助ニ而

候事、

十月十八日、晴天後半天、時々少々雨

先達而より川上先生市來方へあれきニ而、今日帰リ之筈

ニ而横井迄むかひニ參候処、今日迄ハ帰り無之段ニ而む

なしく帰り候、供森田勘左衛門ニ而候也、

四ツ過より參大鐘過帰付候事、

同道ニ而參候人数左ニ記ス、澁谷八郎殿・増満與左衛門殿・川上助七郎殿・森川孫太夫殿・鎌田孫次郎殿・川上矢三太殿ニ而候事、

八ッ後永山氏一刻入来之由、拙ハ留主ニ而候事、

十月十九日、晴天、

今朝六ツ時より朝稽古へ出五ッ前帰ル、供川畑平之助ニ而候事、

今朝五ッ過永山氏・上村氏一刻入来也、

森川孫八郎殿今朝一刻入来ニ而候也、

四ッ過森川利右衛門殿一刻入来ニ而候也、

八ッ前より馬乗江出八ッ後帰ル、供角野喜之助ニ而候事、

大鐘過より和田氏劍術江出暮過帰宅、供今朝ニ同人ニ而候也、

十月廿日、晴天、

今朝森川孫八郎殿一刻被来候也、

大鐘比より和田氏江出日入過帰宅、供川畑平之助ニ而候事、

十月廿一日、曇天時々雨少々、

八ッ前より馬乗江出八ッ後帰宅、供角喜之助ニ而候事、

七ッ後上村半助殿入来ニ而候事、

大鐘過より和田氏劍術江出暮過帰ル、供川畑平之助ニ而候事、

今晚和田氏式夜ニ而候得とも、六郎殿舎弟(宿禰)ほふそふニ而無之候事、

十月廿二日、晴天、

今日四ッ後島津主殿殿一昨廿日死去ニ付悔ニ參則帰ル、供角喜之助也、

和田氏稽古はほふそふニ而無之候也、

大鐘過より暮過迄森川孫八殿被来候也、

十月廿三日、晴天、

今日四ツ後より犬追物へ出、夫より馬乗江出八ツ後帰ル、

供角野喜之助ニ而候也、

八ツ後永山氏入来、上村氏は外迄入来之由ニ而候事、

七ツ過より森川氏江参暮前帰り候、供川畑平之助ニ而候

事、

七ツ後小森八左衛門殿入来之由、拙ハ不居候事、

今日も和田氏稽古は同断也、

十月廿四日、晴天、

今日は頼娃主膳殿より詰前被相頼四ツより致出勤、八ツ

より主膳殿宅江同席中可参旨ニ而参暮過帰ル、(供腕カ)角喜之助、

今朝は山次仲左衛門ニ而候事、

十月廿五日、曇天、

今日より詰前ニ而致出勤、八ツより演武館馬乗江出八ツ

過帰ル、供角喜之助也、

七ツ後森川孫八郎殿一刻被来候也、

十月廿六日、晴天、

今日も四ツより致出勤八ツより帰宅、供山次仲左衛門、

後角喜之助ニ而候也、

七ツ前より鉄炮江出夜入五ツ過帰ル、供角喜之助ニ而候

事、

詰衆中人数分之鉄炮ニ而、拙者ニも稽古ニ可出旨ニ而出

候事、

鉄炮江出掛黒田氏江参候処留主ニ而則鉄炮江出候也、

今日は講釈日ニ而候処黒田先生差支ニ而候、拙ニも少々

は差支候也、

十月廿七日、曇天、

今日四ツ後より犬追物江出、夫より馬乗江出八ツ後帰ル、

供角喜之助也、

十月廿八日、曇天、

今日は四ツより致出勤、八ツより島津内藏殿先日死去ニ

付悔ニ参八ツ過帰ル、供角野喜之助ニ而候事、

昨日詰前は頼合不出候事、

大鐘過中山次左衛門殿一刻入来也、

十月廿九日、晴天、

今朝四ツ比上村氏一刻入来ニ而候也、

昨夜暮過より川上家式夜ニ而参候処無之則帰り候事、

昨夜鎌田甚助殿被来候事、

八ツ前より馬乗江出八ツ後帰宅、供角野喜之助ニ而候事、

十月晦日、晴天、

昨日詰前ハ高橋要人殿へ相頼不出候事、

昨日迄ニ而詰前相濟候事、

十一月朔日、曇天、

今日は御礼日ニ而候得とも不出候也、

八ツ前より馬乗江出八ツ後帰宅、供角野喜之助ニ而候事、

八ツ後より山岡右京殿宅江同席中弓有之参暮過帰宅、供

同人也、

八ツ前より永山氏入来ニ而候事、

十一月二日、雨天、

四ツ後森川孫八郎殿一刻入来候也、

十一月三日、曇天、

四ツ後より犬追物式日ニ而出、夫より馬乗江茂八ツ後帰

ル、供角喜之助ニ而候也、

八ツ前より上村氏・永山氏入来ニ而夜入四ツ前帰りニ而候事、

今日御か様少々御不快ニ有之仙田伊仙殿江申遣候処、暮

被来五ツ過被帰候事、

御か様御不快故、今日山吹之間二十箇江は病氣之届申遣

候也、

十一月四日、曇天時々雨、

八ツ時分森川孫太夫殿一刻入来也、

四ツ後同孫八郎殿一刻入来ニ而候也、

十一月五日、曇天時々雨アラレ
マジル

八ツ前孫八郎殿被来候事、

今日は馬乗ニ而候得とも、雨少々あへ候ニ付不出候事、

十一月六日、雨天、

今日は講釈式日ニ而黒田先生七ツ後より御出ニ而候、外

ニは無之候也、

七月廿六日より跡月廿六日迄十度無之候事、

七ツ後孫八殿一刻入来ニ而候事、

四ツ後赤松主水殿宅江先日和田次郎兵衛殿死去ニ付悔ニ

参、帰り掛和田仲太夫殿へも門迄悔ニ見舞帰ル、供角喜

之助ニ而候事、

十一月七日、曇天、

今日九ツ過より桂宇右衛門様宅江一刻罷出、夫より川上

十郎左衛門殿嫡子二男(痘孫)ほふそふニ付、見舞ニ孫太夫殿致

同道参、夫より馬乗江出、犬追物江も出八ツ後帰ル、供

角喜之助也、

十一月八日、雨天アラレマジル、

御か様御不快ニ付、萩原喜春参候、一昨日も昨日も来候

事、

七ツ過より暮比迄孫八郎殿入来ニ而候也、

八ツ後永山氏一刻入来ニ而候事、

十一月九日、雨天雪もあゆる、

大鐘過より和田六郎殿宅江舍弟之(痘孫)ほふそふ見舞ニ参、夫

より桂左右衛門様御宅へ参暮時分帰ル、供角喜之助ニ而

候事、

十一月十日、半天、

今日より詰前ニ而致出勤八ツより帰ル、

犬取(マツ)ニは四ツ討取候事、供角野喜之助ニ而候也、

八ツ後永山氏入来ニ而候事、

暮時分孫八郎殿一刻被来候事、

今晚式夜ニ而暮過より四ツ前迄大河平八次殿入来ニ而候

事、

十一月十一日、晴天、

今日も四ツより致出勤、八ツより演武館馬乗江出八ツ過

帰ル、供角喜之助、四ツニ出ル之供は山次仲左衛門ニ而

候也、

大鐘過孫八郎殿一刻被来候也、

十一月十二日、晴天、

今日も四ツより致出勤八ツより南林寺墓所江参、伊地知

才吉様墓・桂家墓江も参、夫より川上先生ニ男死去ニ付

悔ニ一刻参帰ル、供角野喜之助事、

今朝六ツ過ニ起候事、今朝より留ル、晚四ツ過ニね候事、

日入過薬師場々ニ而拙馬ニ乗也、

日入過より五ツ比過孫八郎殿入来ニ而候也、

十一月十三日、曇天暮時分より雨、雷なる

今日も四ツより犬追物江一刻出、夫致出勤八ツより馬乗

江一刻出帰ル、供角野喜之助ニ而候事、

八ツ後孫八郎殿一刻被来候事、

七ツ過より宮之原式部殿乗廻し之約束いたし置候処、門

迄被来候ニ付致同道、千石馬場方へ廻り西田町より別レ

帰ル、供角喜之助ニ而候也、

十一月十四日、曇天、

今日も四ツより致出勤八ツより帰宅、供角野喜之助ニ而

候也、

七ツ過より晚五ツ過迄孫八郎殿入来也、暮過より相良七

郎左衛門殿入来、孫八郎殿一所ニ被帰候事、

今朝六ツ過ニ起晚四ツ過ね候事、

昨朝六ツ過ニ起晚四ツ比ね候事、

十一月十五日、晴天、

今朝六ツ半比起四ツ比ね候事、

今日は御礼日ニ而候得とも不致登城候也、

四ツ後赤松主水様一刻御出ニ而候事、

八ツ前薬師場々ニ而拙馬ニ乗候也、

八ツ前より馬乗江出、夫より相良七郎左衛門殿・森川孫

八郎殿致同道市見物江参、先ニ而ハ森川利右衛門殿も致

同道候、左候而日入過帰宅、供山次仲左衛門ニ而候也、

今晚上村氏入来ニ而候事、

角野喜之助今日より三日暇申候也、

十一月十六日、晴天夜ル雨フル、暮過より夜明過迄、

四ツ後鎌田甚助殿一刻入来也、

四ツ後より八ツ後迄孫八郎殿入来也、

九ツ比一刻頼娃主膳殿入来ニ而候也、

今日は講釈式日ニ而候処黒田先生病氣ニ而無之候事、

暮比孫八郎殿一刻被来候也、

十一月十七日、曇天朝雨、

今朝六ツ過起晚四ツ過ニね候事、

昨朝六ツ過ニ起晚四ツ過ニ休ミ候也、

四ツ比より犬追物式日ニ而出八ツ比帰ル、供森田勘左衛

門ニ而候事、

今日は馬乗ニ而候得とも演武館馬場ぬかり無之候、七ツ

後より日置屋敷前ニ而もれ有之出大鐘過帰ル、供山次仲

左衛門也、

十一月十八日、晴天、

今朝六ツ過ニ起晚九ツ前ね候事、

今朝氏神祭ニ而吉田より國生直記六ツ過來候、拙者氏神江參候也、

八ツ後永山氏・上村氏入来、夫より外江被參暮比より氏神祭故被来、四ツ比被帰候事、

暮前鎌田藤九郎殿被来、永山氏・上村氏一所ニ被帰候事、

十一月十九日、晴天、

今朝六ツ過ニ起晚四ツ過ね候也、

八ツ前より馬乘江出、八ツ過より馬乘より直ニ山吹之間二十筒式日ニ而出暮過帰ル、供山次仲左衛門、後森田勘左衛門ニ而候事、

十一月廿日、晴天、

今朝六ツ過ニ起四ツ過ニね候事、

今日より詰前平田平州よりくり替ニ而四ツより致出勤八ツより帰ル、供山次仲左衛門、後森田勘左衛門ニ而候事、

詰前五日共々くり替候事、

十一月廿一日、晴天、

今日も四ツより致出勤八ツより演武館馬乘江出八ツ後帰ル、供森田勘左衛門也、

今朝も日出前起晚八ツ時分ね候也、

七ツ過より桂權七郎様御宅へ氏神祭ニ而可參旨ニ而罷出座頭うた有之(名中)やふじう參候、九ツ過帰宅、供森田勘左衛門、後山次仲左衛門ニ而候也、

十一月廿二日、晴天、

今朝日出過ニ起四ツ過伏候事、

今日も詰前ニ而候処桂宇右衛門様ニ死去ニ付、いとこニ而三日忌中ニ而候間右之届申遣置候事、

大鐘過より悔ニ桂家へ參、西田町中程迄見立ニ參五ツ前帰ル、供山次仲左衛門也、

七ツ後上村氏一刻被来候事、

七ツ過より暮比迄鳥丸清保来候也、

十一月廿三日、雨天、

今朝日出過ニ起四ツ過ニ伏候也、

今日迄は忌中ニ而不致出勤候也、

夜九ツより内死去有之候人ニ而候得は、其日より忌構請

候段承候、為心得記者也、

九ツ過より七ツ時迄孫八郎殿被来候也、

八ツ後より萩原喜春御か様御不快ニ有之参候事、

昨夜四ツ過も右同断ニ而同人来候也、

昨日八ツ後右同断ニ而四ツ後千田伊仙殿江申遣候処、弟

子二人被来候事、

大鐘過より暮過迄鳥丸清保来候事、

今日は朝大鐘時より演武館揃ニ而、蒲生江稽古遠馬有之

候得とも、忌中故被差越候事、

十一月廿四日、晴天、

今日より致出勤四ツ八ツ相勤帰宅、供森田勘左衛門ニ而候也、

繰替之詰前今日迄ニ而候事、

今朝日出前ニ起四ツ過伏候事、

御か様御不快ニ付相良淡齋殿江申遣候処、弟子久米田良

仙殿暮過被来候事、

同断ニ付萩原喜春も来候事、

暮過鎌田藤次郎殿御出ニ而候也、

五ツ前嶋津直江殿・町田孫右衛門殿、永吉屋敷江被参候

由ニ而帰り懸被来候事、

十一月廿五日、晴天、

八ツ前より天神馬場先生宅前ニ而馬乗有之出、夫より頼

娃主膳殿・諏訪八郎次殿致同道市江参、大鐘比帰り懸桂

左右衛門殿御方へ罷出暮前帰ル、供山次仲左衛門也、

八ツ後永山氏被来候由、上村氏も被来候事、

今朝日出比起晚四ツ過伏候事、

十一月廿六日、晴天、

今朝日出前起晚四ッ過伏候事、

今日南林寺下ニ而馬寄有之、九ッ比より額娃主膳殿さし

き江見物ニ參大鐘比帰ル、供山次仲也、

御か様未少々御不快ニ付萩原喜春来候也、

今日は講釈式日ニ而候得とも、黒田先生病氣故此方より

断遣候事、

十一月廿七日、晴天、

今朝日出前ニ起、晚九ッ前伏候也、

四ッ過より犬追物へ出、夫より馬乘江出八ッ後帰ル、供

川畑平之助也、四ッ前永山清兵衛殿被来候事、暮前市來

清十郎殿被来候也、鳥丸清保も一所ニ来候事、

大鐘過より四ッ比迄孫八郎殿被来候也、

来ル廿九日柏氏ニ而能有之筈ニ而、桂左右衛門様より寄

合さしき可付旨御沙汰ニ而、市來清十郎殿場せわ被致候

付、永吉屋敷よりさしき道具借用いたし、今日付方へ森

田勘左衛門相付遣候事、

十一月廿八日、晴天、

今朝六ッ過ニ起晚九ッ前伏候也、

今日は御礼日ニ而四ッより出九ッ前帰ル、供森田勘左衛

門ニ而候事、

今日和田六郎殿 目之御礼申上候ニ付可參旨ニ而、八ッ

後より參五ッ過帰ル、供森田勘左衛門、後川畑平之助也、

八ッ比鎌田藤九郎殿入来ニ而候事、

十一月廿九日、曇天雪少々アユル、

今日桂氏ニ而能有之、六ッ過より孫八郎殿致同道、額娃

主膳殿も致同道參、八ッ前より彼方より馬乘江出、又能

江參主膳殿も馬乘江被出致同道候、暮前相濟其より川上

箭七郎殿・廻源左衛門殿・嶋津新五郎殿・入江七太郎殿・

額娃主膳殿・川上孫八郎殿宅江參候ニ付、可參旨ニ而無

是非參四ッ過帰り候、供森田勘左衛門也、

今朝六ツ前起晚九ツ過伏候事、

十二月朔日、晴天、

今朝日出比起、晚九ツ比伏候也、

今日は御礼日ニ而候得とも不出候事、

四ツ後孫八郎殿一刻入来、晩も同人入来ニ而候事、

八ツ比鎌田藤九郎殿入来ニ而候也、

七ツ過より森川孫太夫殿同道ニ而荒田方へ乗廻しいたし

堀四郎左衛門殿宅へ瘡瘡人有之見舞ニ參、樺山家少し先

より(高懸)こふらい町江廻り帰ル、供森田勘左衛門ニ而候事、

十二月二日、曇天八ツ前より雨、

今朝日出過起晚九ツ比伏候事、

今朝一刻相良七郎左衛門殿入来ニ而候也、

八ツ前より馬乗江出八ツ後帰ル、供角野喜之助ニ而候事、

今日より角喜之助出候事、

七ツ後村田長左衛門殿一刻入来也、

同時分上村氏入来ニ而候事、

今晚穎娃主膳殿宅江、川上箭七郎殿なと同道ニ而、參筈

約束いたし置候得とも、断申遣不參候事、

今晚孫八郎殿被来候事、

十二月三日、雨天、

四ツ後より犬追物江出、雨天ニ而稽古無之八ツ前帰宅、

供角野喜之助ニ而候事、

今朝六ツ過比起晚九ツ比伏候也、

八ツ後上村氏・永山氏入来ニ而候事、

大鐘過より加治木十郎殿外迄被来五ツ過帰リニ而候、上

村氏は又内江被来四ツ過帰ニ而候事、

今晚は川上箭七郎殿宅江參筈候処、堀四郎左衛門殿二男

死去ニ付得不參断申遣候事、

十二月四日、曇天、

八ツ前より馬乗江出、夫より堀甚太郎殿瘡瘡ニ付見舞ニ

參候処、大鐘比死去ニ而候ニ付、無是非暮時分帰宅、供

角野喜之助ニ而候也、

右ニ付三日忌中ニ而候事、

七ツ後永山氏入来之由、拙ハ留主也、

今朝日出時分起晚九ツ比伏候事、

十二月五日、曇天、雨少々アユル、

今朝六ツ過ニ起、晚四ツ過伏候事、

四ツ後伊十院より鎌田甚左衛門參候ニ付致対面候事、

昨日鶏老羽致持參あたへ候事、

系凶一卷ニ付度々甚左衛門ハ參候也、

四ツ過より七ツ比迄孫八郎殿入来也、

八ツ後加治木十郎殿一刻入来也、

七ツ前上村氏入来ニ而候也、

大鐘比より堀甚太郎殿喪數ニ付參、新上橋迄見立ニ參新

上橋より相帰り候事、供角喜之助也、

今晚暮過より四ツ比迄中山次左衛門殿入来ニ而候事、

十二月六日、雨天、

今朝六ツ半比起、晚四ツ過伏候事、

今日は講釈式日ニ而候得とも、黒田氏病氣ニ而無之事、

四ツ過より八ツ過迄孫八郎殿入来也、

十二月七日、雨天、

今朝六ツ過おき、晚

四ツ後より犬追物江出、雨天故稽古無之八ツ前帰り候事、

大鐘比より暮過迄孫八郎殿入来也、

十二月八日、曇天、

今朝六ツ過ニ起、晚九ツ比伏候事、

今日島津數馬殿より詰前被相頼出勤致管候処、又々出勤

ニ不及との事ニ而不出候事、

明後十日和田氏劍術御家老衆御見分有之筈ニ而、七ツ後

より彼方へ集り有之、仁禮善左衛門殿・森川孫八郎殿同

道ニ而參、稽古も有之暮過帰、供角野喜之助也、

八ツ前より馬乗江出八ツ後帰宅、供角野喜左衛門ニ而候事、

今日角野喜之助名代之願申出、喜左衛門と名代致候事、

七ツ过上村氏入来ニ而候也、

暮過より五ツ過迄中山次左衛門殿入来、市來清十郎殿も

一所ニ入来也、

暮過孫八郎殿一刻入来ニ而候也、

跡月廿日より和田氏稽古有之候へとも、色々ニ而不得出

候、其内ニ無日も多有之候事、

七ツ過相良七郎左衛門殿一刻入来也、

七ツ過鎌田藤次郎殿一刻御入来也、

十二月九日、曇天雨あゆる、雪あゆる、

今日柏氏江能有之、六ツ過より差越暮過相濟帰宅、供山

次仲左衛門、後森田勘左衛門也、

さしき江参候人数、桂權七郎様・市來清十郎殿・同十左

衛門殿・永山清兵衛殿・森川孫八郎殿・額娃主膳殿・上

村半助殿・中山次左衛門殿・次左衛門殿母との・西郷吉兵衛殿・同人嫡子殿・上村氏嫡子殿・御か様・拙者ニ而候事、

今晚仁禮善左衛門殿一刻入来也、

十二月十日、曇天雪あゆる、

今日和田氏剣術御家老衆見分有之、五ツ過より出八ツ前

帰ル、供山次仲左衛門、後角喜左衛門也、

今日出席之人数二十三四人有之候也、

今日は馬乘天神馬場ニ而有之八ツ過より出候処、馬乗は

相濟候ニ付演武館犬追物木馬稽古へ出七ツ過帰ル、供角

野喜左衛門ニ而候事、

七ツ後上村氏入来ニ而候事、

四ツ前中山次左衛門殿入来之由、拙者不居候也、

十二月十一日、晴天、

今朝日出過起晩四ツ過いね候事、

昨朝日出前起晩四ツ伏候事、

今日より詰前ニ而致出勤、四ツ八ッ相勤八ッより帰ル、
供角喜左衛門也、

大鐘過より和田氏江出候処、出席之人無之候ニ付、桂式
部殿抱瘡見舞ニ参暮時分帰ル、供川畑也、

十二月十二日、曇天雨少々あゆる、

今朝日出過起、晩

今日も四ツ前より致出勤、八ッより馬乗江出、夫より墓
参いたし伊地知才吉殿墓桂家江も参、八ッ過帰宅、供森

田勘左衛門、後角喜左衛門也、

暮過より五ツ前迄森川孫八郎殿・同孫十郎殿入来ニ而候

事、

大鐘過中山次左衛門殿一刻入来也、

今日馬乗より伊勢家故実式日ニ而、今村市太郎殿致同道

一刻出、夫より墓参いたし候事、

十二月十三日、晴天、

今日は御(兼持)すゞさげニ而、一人一刻出勤致候而宜候ニ付、
下拙出勤致管候得とも、小林外記殿江相頼不出候事、

今朝日出前起晩九ッ過伏候事、

四ッ比より犬追物江出八ッ前相済帰ル、供角野喜左衛門
ニ而候事、

四ッ過より上村氏入来ニ而候事、

暮前より同過迄源八郎殿入来也、

暮過より四ッ過迄中山次左衛門殿入来ニ而候事、

十二月十四日、晴天、

今朝日出過起、晩九ッ比伏候事、

今日は四ッより致出勤八ッより馬乗江出帰ル、供角野喜
左衛門也、

暮過より四ッ比迄孫八郎殿入来也、

十二月十五日、晴天、

今朝日出過起 晚四ツ過寝候也、

今日も四ツより致出勤八ツより帰ル、供角野喜左衛門ニ
而候事、

八ツ比鳥丸清保来候事、

七ツ後犬追物木馬稽古江出則帰り候、供角野喜左衛門也、
大鐘過より稽古江出暮過帰ル、供川畑平之助ニ而候也、
暮過より四ツ前迄大河平八次殿入来ニ而候事、

十二月十六日、雨天、

今日は六ツ過起、晚九ツ比伏候事、

今日講釈式日ニ而候処、黒田先生病氣ニ而無之候事、

八ツ過より伊勢兵部殿昨日着ニ付祝儀ニ玄館迄参、夫よ
り嶋津右平太殿母様先日死去ニ付、悔ニ内迄参大鐘過帰
宅、供角野喜左衛門ニ而候事、

大鐘過より五ツ過迄鎌田喜平太殿入来ニ而候事、

暮過より四ツ過迄村田長左衛門殿入来ニ而候事、

今晚ハ和田氏式夜ニ而出ル筈候得とも、村田氏入来ニ而

不出候事、

十二月十七日、晴天、

今朝六ツ過ニ起、晚四ツ過寝候事、

四ツ比より犬追物江出八ツ比帰ル、供角野喜左衛門ニ而
候事、

四ツ後湯地助左衛門殿入来之由、拙者ハ不居候事、

八ツ後永山覺右衛門殿被来候也、

大鐘過より和田氏剣術江出暮過帰宅、供川畑平之助ニ而
候也、

十二月十八日、晴天、

今朝五ツ前起、晚九ツ過寝候也、

今日詰前山岡右京殿より被頼候得とも、頼娃主膳殿へ相
頼候事、

昨日南村より川枝源左衛門寒中年暮之祝儀ニ参候付、今

日致对面候事、

八ッ前より馬乗江出八ッ後帰ル、供角野喜左衛門ニ而候事、

八ッ後角野道性来候事、

日入前より和田うち剣術江出暮時分帰ル、供川畑平之助、後角也、

暮時分上村氏入来ニ而候也、

暮過より川上家式夜ニ而出、木馬へ二編乗四ッ過帰ル、

供山次仲左衛門ニ而候也、

今晚より式夜有之候事、

十二月十九日、曇天雨少々あゆる、

今朝五ッ前起、晚八ッ比寝候事、

四ッ後八ッ比迄孫八郎殿入来也、

暮比より九ッ比迄川上矢三太殿・額娃主膳殿・森六郎兵

衛殿、(豊州平長盛)長盛之刀見ニ入来ニ而候事、

十二月廿日、雨天朝之内ハ少々フル、

今朝六ッ時ニ起、晚四ッ時分寝候事、

今日柏行衛殿所ニ而能有之、六ッ過より孫八郎殿致同道參、六ッ前未一番は不相濟候得とも帰り候、帰り懸犬追

物木馬稽古へ名書迄ニ出六ッ過帰り付候、供山次仲左衛門ニ而候也、

今日上村氏入来之由、拙ハ留主ニ而候也、

十二月廿一日、雨天、

今朝六ッ過ニ起、晚四ッ過寝候事、

四ッ後孫八郎殿一刻入来ニ而候也、

八ッ後鎌田藤九郎殿入来ニ而候也、

七ッ過より天神場々川上氏江木馬乗ニ參大鐘過帰ル、供

角喜左衛門也、

今晚上村氏入来ニ而候事、

今晚孫八郎殿被来候事、

今晚は和田氏式夜ニ而候得とも得不出候事、

十二月廿二日、雪天今朝少々雪積候

今朝六ツ半比起晚九ツ比寝候事、

昨朝サク四ツ前加治木十郎殿一刻入来也、

八ツ後桂宇右衛門様一刻御入来ニ而候也、

八ツ後より夜五ツ過迄小森八左衛門殿、伊十院郷士鎌田

甚左衛門、系図之儀ニ付入来ニ而候事、

十二月廿三日、曇天、

今朝六ツ半比起、四ツ過寝候事、

四ツ過より犬追物江出、修之犬ニ而七ツ前相濟、夫より

住吉江参 (島津實久) 大中様江茂致参敬七ツ後帰ル、供角野喜左衛

門ニ而候事、

郷犬二十八疋入候、鑰之犬茂有之射候也、治之犬ニ而上

下着服ニ而候事、

七ツ後永山氏入来ニ而候事、

暮前鎌田甚助殿入来ニ而候也、

今晚ハ天神式夜ニ而候得とも不出候也、

十二月廿四日、晴天、

今朝六ツ半比起、晚四ツ過寝候也、

八ツ前より馬乘ニ而出、夫より穎娃主膳殿宅江同席中参

候、其分は昨日詰前之儀ニ付不調法有之可参旨候、八ツ

前問合有之候ニ付参候、供角野喜左衛門ニ而候也、

八ツ後永山氏・上村氏入来之由也、

暮過加治木十郎殿入来之由、拙者ハ留主也、

十二月廿五日、晴天今晚雪少々アユル

今朝六ツ半比起晚四ツ過寝候事、

今日肝付典膳殿荒田屋敷ニ而同席中弓有之、八ツ前より

川上家江木馬乘ニ一刻参、夫より小林外記殿宅江参致同

道、平田平太左衛門殿宅江茂致同道参、暮過帰り掛嶋津

市十郎殿宅へ一刻参五ツ過帰ル、供角野喜左衛門也、

今日上村氏入来之由、拙ハ留主也、

濱田本覺院来候由、拙者右同、

十二月廿六日、曇天雪少々あゆる、

今朝六ツ半ニ起、晩八ツ前寝候事、

今晚は和田氏式夜ニ而候得とも弓有之得不出候事、

今日は鎌倉流稽古遠馬谷山江有之候得とも、同席中弓又

々有之得不差越候事、

四ツ後拙者馬借用ニ薬丸半兵衛殿一刻被来候事、

拙者馬ハ四ツ前演武館へ為引遣置候事、

四ツ後より同席中伊勢兵部殿伊敷屋敷ニ而弓有之、九ツ

前山岡右京殿被来候ニ付致同道参、暮過帰り候、供角野

喜左衛門ニ而候事、

今日之弓は人数分ニ而拙者共方勝利ニ而候、昨日弓も拙

者共勝候事、

十二月廿七日、晴天、

今朝六ツ半比起、晩八ツ前ニ寝候事、

今日は同席中谷山遠馬有之候得とも、病氣之筋ニ而不参

候也、

八ツ後永山氏入来ニ而候事、

七ツ後上村氏外迄入来ニ而候事、

七ツ後より孫八郎殿被来暮前被帰候也、

暮過より川上箭七郎殿・廻源左衛門殿、出水郷士松元甚

兵衛三人入来ニ而四ツ半比被帰候事、

四ツ後鎌田甚助殿一刻入来也、

十二月廿八日、晴天、

今朝六ツ半ニ起、晩五ツ過寝候也、

一昨廿六日より詰前之処遠馬等ニ而頼合置候事、

今日より四ツより致出勤八ツより帰ル、供角喜左衛門ニ

而候事、

今日は九ツ過比市田美作殿より大番頭以下詰衆迄御用有

之、島津市十郎殿被出候処、於台子之間達有之候由、来

年

中将様御下向ニ付、皆々被召候而御咄等有之筈候間、皆

々其心得可有之、且又学問武芸は各其心得有之筈候得と

も、上たる者ハ第一学問なく而は下々迄も其風儀不行、
与頭などは猶以其心得可有之 中将様御隠居後風俗悪く
有之由被聞召上、御なげかしく被思召上事候間、学問等
第一心懸風俗宜様可有之、上たる者学問無之し而下々ニ
申共、其セン無之間折角可心懸と之由、且又造士館之儀
は (島津重豪) 大信院様学問修行之為立被置候事候間、各務間ニは
出席有之度様御頼申との事ニ而候由、務を欠出席ニは不
及、務之間ニ出席可有と之由、きつと違ニは非ス、為
心得御咄申置との事ニ而候由承候、以後為心得記置者也、
右之段口達ニ而候ニ付触は不覚候得とも、あらまし記置
候事、
今晚鎌田藤次郎殿一刻御入来ニ而候事、
暮前孫八郎殿被来候事、

十二月廿九日、曇天雪少々あゆる、

今朝六ツ時ニ起、晚四ツ過寝候事、

今朝六ツ時より天神馬場ニ而馬乗有之筈ニ而孫太夫殿致

同道参、三 乗五ツ過帰ル、供川畑與八ニ而候事、
今日も四ツより出八ツより帰ル、供角喜左衛門ニ而候事、
八ツ後上村氏・永山氏入来ニ而候事、

十二月晦日、曇天、

今朝五ツ前起、晚九ツ過寝候事、

今日四ツ前出勤掛赤松主水殿宅江一刻年暮之祝儀ニ参、
夫より致出勤八ツより帰ル、供角野喜左衛門ニ而候事、
七ツ過赤松主水殿一刻御入来也、

年頭名札先日川上箭七郎殿へ切方相頼、御細工所ニ而切
方相調候ニ付、今日相良七郎左衛門殿へ書方相頼候也、
先日廻源左衛門殿被来候節、札札書方拙江被頼候ニ付、
是非断候得とも、是非々々との事ニ而書調置候処、今暮
比ニ取ニ玄館迄取^(符カ)ニ被来候事、

今晚永山氏入来ニ而候事、

今晚上村氏入来ニ而候事、